

事業概要

令和2年版



東京都北多摩南部建設事務所

【街路整備事業】 三鷹 3・2・2 (東京八王子線)



【街路整備事業】 三鷹 3・2・6 (調布保谷線)



【街路整備事業】 西東京 3・2・6



【街路整備事業】 調布 3・2・6 (神代植物公園前)



【道路整備事業】 主 1 1 (国領Ⅱ期)



【橋梁整備事業】 関戸橋

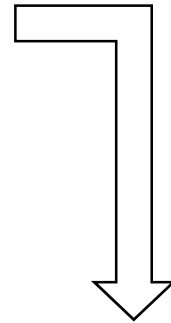


【交通安全施設事業】 交差点改良工事

市民球場前交差点（主 17 号）府中市寿町二丁目～三丁目



施工前



令和元年度完成



施工後

【路面補修事業（歩道改善）】

主 7（五日市街道）西東京市新町二丁目付近



施工前



施工後

【自転車通行空間の整備】

一 2 2 9（旧甲州街道）府中市宮西町二丁目付近



施工前



施工後

【道路施設（擁壁）の整備】

主 1 5（小金井街道）小金井市前原町三丁目付近



施工前



施工後

【河川整備事業】 野川大沢調節池 三鷹市大沢五丁目地内



ま え が き

北多摩南部建設事務所は、多摩地域東部の7市（武蔵野、三鷹、府中、調布、小金井、狛江、西東京）の区域を所管し、多摩地域の建設事務所の中で、区部と接する地域を管轄する唯一の建設事務所です。管内人口は約125万人で、多摩全体のおよそ3割を占め、多摩地区の発展のためにも重要な役割を担っています。

東京都は、平成28年12月に「都民ファーストでつくる『新しい東京』～2020年に向けた実行プラン～」を策定し、「3つのシティ」を実現し「新しい東京」をつくることを目指して、都民ファーストの視点に立った、今後の都政の具体的な政策を展開しています。

北多摩南部建設事務所は、多摩地域の発展を目指し、未来につながる都市基盤の効果的・重点的な整備と効率的・計画的な管理、高度防災都市づくりの実現に向けた総合的な施策の展開に取り組んでいます。

具体的には、多摩の道路ネットワークの形成に向け、主要な多摩南北道路である調布保谷線の整備、多摩東西道路である東京八王子線の延伸整備などを推進し、首都東京の渋滞解消、環境改善、防災性の向上を図っています。

また、交差点すいすいプラン事業、無電柱化の推進、自転車走行空間の整備、街路樹の防災機能強化など安全で快適な道路環境の提供に取り組むとともに、石神井川の改修、野川の調節池規模拡大整備など災害に強く潤いのある河川整備を行っています。

さらに、これらの整備に必要な事業用地の取得に重点的に取り組んでいます。

道路・河川の整備、管理にあたっては、引き続き、地元市との連携の下、地域住民・都民の皆様の参加・協働も得ながら事業を積極的に推進してまいります。

目 次

I 概 要	
1 所管区域及び所掌事務	1
2 事務所の沿革	2
II 機 構	
1 所管区域及び分掌事務	3
2 職員配置表	6
III 事 業 費	
1 令和2年度事業別予算	7
2 令和元年度事業別決算	8
IV 道 路	
1 道路の現況	9
2 道路の管理	9
(1) 区域決定（変更）等	10
(2) 道路占用	11
(3) 道路台帳整備	12
(4) 境界確認・確定	12
(5) 道路監察	12
(6) 道路上占用工事等の調整	14
(7) 通行車両の車幅の制限	15
(8) 事業予定財産等の管理	15
3 道路・橋梁の維持補修	16
(1) 道路維持事業	16
(2) 橋梁維持事業	16
(3) 路面補修事業	17
(4) 道路緑化事業	17
(5) 道路施設整備事業	18
(6) 橋梁整備事業	18
(7) 橋梁長寿命化事業	18
(8) 交通安全施設事業	18
(9) 電線類地中化事業（現道内）	18

4 道路・橋梁の整備	19
(1) 用地取得のあらまし	19
(2) 道路整備事業	21
(3) 街路整備事業	23
ア 多摩東西幹線【東京八王子線】	24
イ 多摩南北幹線【調布保谷線・府中清瀬線・府中所沢線】	28
【調布保谷線】	29
【府中清瀬線】	34
【府中所沢線】	36
ウ 一般の街路整備	36
(4) 橋梁整備事業	54
(5) 交通安全施設事業	57
(6) その他当所関連事業	65
Ⅲ 河川	68
1 河川の現況	68
2 河川の管理	69
(1) 河川占用等	69
(2) 河川及び急傾斜地の監察	71
3 河川の整備	72
(1) 中小河川整備事業	73
(2) 河川環境整備事業	78
(3) 河川防災事業	79
(4) 河川維持事業	79
(5) 流域連絡会	79
4 水防	80
資料編	82

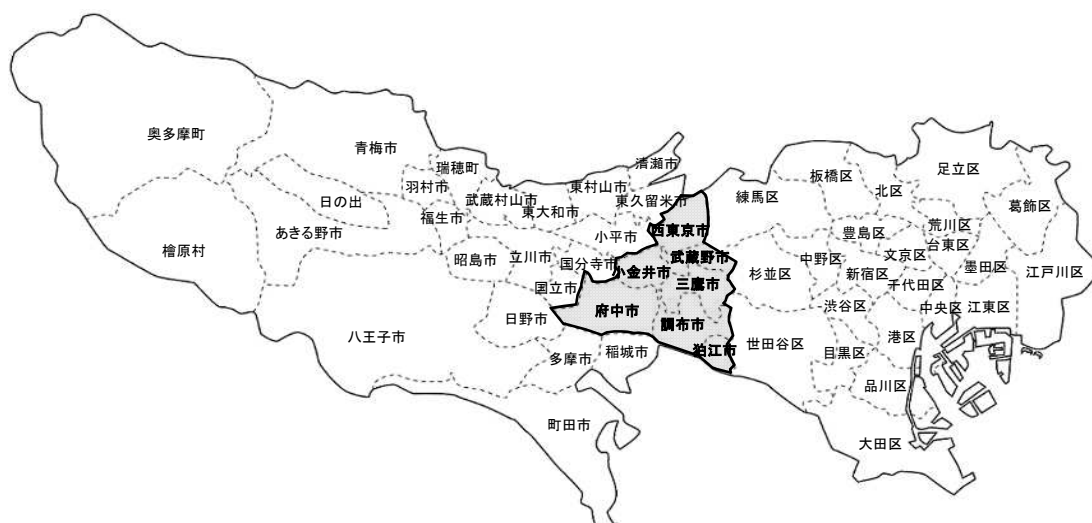
I 概 要

1 所管区域及び所掌事務

(1) 事務所の所管区域

所管しているのは、武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市及び西東京市の7市である。

北多摩南部建設事務所は東京都のほぼ中央に位置し、東側には練馬区、杉並区、世田谷区に接し、西には東久留米市、小平市、国分寺市、国立市に接し、南に多摩川が流れている。



(2) 事務所の所管区域

表－1 面積と人口

令和2年4月1日現在(東京都総務局「東京都の人口(推計)」による。)

地域 区分	管内	多摩部	区部	都全体	都全体 との比率	多摩部 との比率
面積 (km ²)	111.85	1,159.81	627.57	2,194.07	5.10%	9.64%
世帯数	616,367	1,961,021	5,160,824	7,157,358	8.61%	31.43%
人口 (人)	1,263,321	4,263,210	9,682,088	13,982,622	9.03%	29.63%
人口密度 (人/km ²)	11,295	3,676	15,428	6,373	—	—

※ 所管管内の各市の詳細は、「資料編(1)面積と人口」を参照。

(3) 所掌事務

- ① 道路、橋梁の建設・整備
- ② 知事の管理に係る道路維持・管理
- ③ 河川の改修、維持・管理
- ④ 道路事業及び河川事業に係る用地の取得

2 事務所の沿革

- 大正 9年 5月 1日 北多摩郡役所内に、「東京府府中土木出張所」として併設された。
- 昭和17年 6月30日 北多摩郡役所及び東京府府中土木出張所を廃止された。
- 昭和17年 7月 1日 東京府北多摩地方事務所が府中町9,264番地（旧北多摩郡役所）に設置され、同所土木課として発足した。
なお、改修部門は、三多摩工事事務所として、西多摩・南多摩の同種部門と合併し、立川市錦町に新設された。
- 昭和18年 7月 1日 東京都制施行に伴い、東京都北多摩地方事務所土木課に名称変更し、北多摩全域を所管した。その後、三多摩工事事務所の廃止に伴い、改修工事部門が併合された。
- 昭和39年 1月 1日 東京都北多摩地方事務所が東京都北多摩事務所に改称された。
- 昭和39年 8月 1日 北多摩事務所の土木部門（土木管理、土木改修の二課）が分離独立し、建設局の組織に編入され、東京都北多摩建設事務所（庶務・管理・用地・工事第一・工事第二・工事第三の6課23係6工区）として同地に発足した。
- 昭和45年12月 新庁舎建設のため、府中市8,220番地に移転した。
- 昭和47年 2月 新庁舎完成のため、同地にて業務を開始した。
- 昭和48年 4月 1日 建設局の組織改正により、北多摩建設事務所及び第三特定街路建設事務所を統廃合し、現在地に東京都北多摩南部建設事務所（次長・庶務・管理用地第一・用地第二・用地第三・工事第一・工事第二・補修の8課22係23主査7工区）、立川市に東京都北多摩北部建設事務所を設置された。
- 昭和55年 4月 1日 組織改正により用地第三課が廃止され、その業務は用地第二課に統合された。
- 昭和60年 4月 1日 組織改正により次長が廃止され、副所長が設置された。
- 平成 2年 2月 1日 府中市区画整理事業に伴い、住居表示が府中市緑町一丁目27番地1となる。
- 平成 8年 4月 1日 組織改正により専門副参事（用地取得担当）が新設される。
- 平成14年 4月 1日 組織改正により用地第三課が新設される。
- 平成16年 4月 1日 組織改正により5工区から3工区に再編される。
- 平成19年 4月 1日 組織改正により用地第三課が廃止される。
- 平成22年 7月16日 管理職制度改正により専門副参事（用地取得担当）が用地専門課長へ改名された。
- 平成27年 4月 1日 組織改正により用地第二課が廃止された。
- 平成28年 4月 1日 「都庁人事・改革ポリシー」に基づき、係制が廃止された。
- 平成29年 3月31日 「主要施設10か年維持更新計画」に基づき、庁舎改修工事が完了。

Ⅱ 機 構

1 所管区域及び分掌事務

組織は、所長、副所長（庶務課長兼務）、6課、1用地専門課長、42課長代理、3工区であり、職員数は142名（うち再任用7）、会計年度任用職員は24名である。
（管内市からの派遣研修生1名を含む。）

主 な 分 掌 事 務

北 多 摩 南 部 建 設 事 務 所	庶務課	（庶務担当）	人事、給与、福利厚生、文書、公有財産・自動車管理、広報・広聴、その他庶務
		（経理担当）	歳入歳出予算、現金・有価証券・物品の出納保管、物品・資材の調達、契約、貸与被服、不用品の処分、進行管理
		（検査担当）	工事及び工事事務材料等の検査
	管理課	（道路管理担当）	道路区域の決定・変更、供用開始、道路の占用許可、道路占用料・負担金の徴収、事業用資産の管理、その他道路管理
		（道路台帳担当）	道路台帳の整備・保管、道路統計、道路区域・敷地の調査・測量、道路幅員証明、道路区域の標示・証明、境界確認・確定
		（河川管理担当）	河川等の調査・占使用許可、流水の占用料・負担金の徴収、河川敷地の処理、その他河川等管理
		（監察担当）	道路・河川等の監察、不法占用の取締り、道路管理瑕疵による紛争処理
		（工事調整担当）	道路工事・道路占用工事の調整
	用地課	（調整担当）	事業用地の取得及びこれに伴う損失補償に係る連絡調整
		（用地担当(9)）	事業用地の取得及びこれに伴う損失補償
		用地専門課長	用地取得事務に係る専門的事項の助言・助力 特に所長の命を受けた事項
	工事第一課	（工務担当）	道路・橋梁等の工事に係る工程管理・連絡調整・資料収集、市町村土木補助、都市計画法に規定に基づく周知及び相談
		（環境対策担当）	事業計画上の環境対策、工事施工上の環境問題等に係る協議・調整
		（設計総括担当）	道路・橋梁等の新設・改築に係る計画、調整、設計
		（設計担当(2)）	道路・橋梁等の新設・改築に係る計画、調整、設計

工事第一課	(工事総括担当)	道路・橋梁等の新設・改築に係る工事、工事設計変更・精算の照査及び占用物件の移設、損害賠償
	(工事担当(2))	道路・橋梁等の新設・改築に係る工事の施行及び監督、工事設計変更及び精算
	(測量担当)	道路・橋梁等の新設・改築に係る工事の測量、建築に係る道路境界線等の測量
工事第二課	(工務担当)	河川・急傾斜地崩壊防止・交通安全施設（一種事業）の工事に係る工程管理・連絡調整・資料の収集、河川関係の市町村土木補助工事・都市計画法の規定に基づく周知及び相談
	(設計担当)	河川・急傾斜地崩壊防止の工事に係る調査・設計
	(安全施設担当)	交通安全施設（一種事業）の工事に伴う調査・設計
	石神井川 (上流調節池 整備担当)	石神井川上流調節池整備事業に係る調査、調整、設計
	(工事総括担当)	河川・急傾斜地崩壊防止・交通安全施設（一種事業）の工事、工事設計変更及び精算の照査並びに占用物件の移設、損害賠償
	(工事担当)	河川・急傾斜地崩壊防止・交通安全施設（一種事業）の工事の施行及び監督、工事設計変更及び精算
補修課	(維持担当)	河川の防災・しゅんせつ等の維持工事、災害復旧工事、工事設計変更及び精算の照査並びに占用物件の移設
	(測量担当)	河川・急傾斜地崩壊防止・交通安全施設（一種事業）の工事に係る調査、建築に係る河川境界線及び道路境界線の測量
	(工務担当)	道路・橋梁等の維持補修工事に係る連絡調整・資料収集、道路占用・道路掘削の技術的指導
	(設計担当)	道路・橋梁等の維持補修及び交通安全施設（一種事業を除く）の工事に係る調査設計
	(工事担当)	道路・橋梁等の維持補修及び交通安全施設（一種事業を除く）の工事、街路樹・緑地帯等の調査設計・工事、公設設計変更及び精算の照査並びに工事に係る地下埋設物及び占用物件の移設
	(街路樹担当)	街路樹・緑地帯等の調査設計・工事

事務所・工区の所在地

表Ⅱ－１

名 称	所 在 地	管轄区域	分 掌 事 務
北多摩南部建設事務所	〒183-0003 府中市緑町 1-27-1 042(330)1802		
小 金 井 工 区	〒184-0015 小金井市貫井北町 5-18-18 042(326)8862	府 中 市 小 金 井 市	1 工区内の測量及び調査並びに 工事の施行及び監督 2 前号工事の設計変更及び精算
調 布 工 区	〒182-0034 調布市下石原 1-19-4 042(483)5011	三 鷹 市 調 布 市 狛 江 市	3 道路及び河川の構造及び 機能の保全 4 道路及び河川に係る占用・ 使用許可申請書等の受理
西 東 京 工 区	〒202-0022 西東京市柳沢 2-18-31 042(465)4170	武蔵野市 西東京市	5 工区内所管事業用地及び 建物の監視

2 職員配置表

表Ⅱ-2

令和2年5月1日現在

課・担当名	管理職		一般職員					再任用 (再掲)	合計	会計 年度 任用 職員	総計
	事務	技術	事務		技術		技能 業務				
			課長代理	担当	課長代理	担当					
庶務課	1	1	2	7	1			3	12	2	14
庶務担当	1	1	1	3				2	6	1	7
経理担当			1	4					5	1	6
検査担当					1			1	1		1
管理課	1		3	6	2	1		3	13	11	24
道路管理担当	1		1	3				2	5	3	8
境界確定担当										3	3
道路台帳担当					1	1			2	1	3
河川管理担当			1	2					3	1	4
監察担当			1	1					2	3	5
工事調整担当					1			1	1		1
用地課	2		10	11		1			24	1	25
調整担当	2		1	2		※1	1		6	1	7
用地担当			9	9					18		18
工事第一課		1			9	15			25	2	27
工務担当		1			1	2			4	1	5
環境対策担当					1	1			2		2
設計総括担当					1	※2	3		4		4
設計担当					2	5			7		7
工事総括担当					1				1	1	2
工事担当					2	2			4		4
測量担当					1	2			3		3
工事第二課		1			8	6			15	2	17
工務担当		1			1	1			3	2	5
設計担当					1	2			3		3
安全施設担当					1				1		1
石神井川上流調節池整備担当					1	1			2		2
工事総括担当					1				1		1
工事担当					1	1			2		2
維持担当					1				1		1
測量担当					1	1			2		2
補修課		1			4	8			13	3	16
工務担当		1			1	1			3	2	5
設計担当					1	3			4	1	5
工事担当					1	※1	4		5		5
街路樹担当					※1	1			1		1
※3					3	11	2	1	16	3	19
工区					1	3			4	1	5
小金井工区					1	4	2	1	7	1	8
調布工区					1	4			5	1	6
西東京工区											
合計	4	4	15	24	27	42	2	7	118	24	142

※1 一般職員(技術)には、用地課調整担当(建築職(1))、補修課工事担当(電気職(1))、同課街路樹担当(造園職(1))を含む。

※2 工事第一課(設計総括担当)には管内1市(一名)の派遣研修生を含む。

※3 工区長は「課長代理」欄に計上。

Ⅲ 事 業 費

1 令和2年度事業別予算

表Ⅲ-1

(単位：千円)

事業種別	執行予定額	内 訳			摘要	
		用地補償	工事	その他		
道路事業費	17,291,163	8,078,000	6,531,834	2,681,329		
建設	道路整備費	285,000	195,000	66,000	24,000	
	街路整備費	9,007,040	6,438,000	1,718,840	850,200	
	橋梁整備費	1,848,000	0	1,797,000	51,000	
	交通安全施設費	2,107,500	1,445,000	489,600	172,900	
	計	13,247,540	8,078,000	4,071,440	1,098,100	
維持補修	道路管理費	29,000	0	0	29,000	
	道路維持費	1,178,423	0	325,194	853,229	
	橋梁維持費	192,700	0	171,700	21,000	
	道路補修費	1,734,500	0	1,638,500	96,000	
	橋梁整備費	52,100	0	0	52,100	
	交通安全施設費	856,900	0	325,000	531,900	
	計	4,043,623	0	2,460,394	1,583,229	
河川事業費	1,230,000	344,000	440,000	446,000		
建設	河川防災費	48,000	0	38,000	10,000	
	河川環境整備費	10,000	0	0	10,000	
	中小河川整備費	991,000	344,000	361,000	286,000	
	計	1,049,000	344,000	399,000	306,000	
維持補修	河川維持費	181,000	0	41,000	140,000	
	水防費	0	0	0	0	
	計	181,000	0	41,000	140,000	
公園事業費	849,500	835,000	13,000	1,500		
建設	公園整備費	848,000	835,000	13,000	0	
維持補修	公園管理費	1,500	0	0	1,500	
合計	19,370,663	9,257,000	6,984,834	3,128,829		

2 令和元年度事業別決算

表Ⅲ－2

(単位：千円)

事業種別	執行済額	内 訳			摘 要	
		用地補償	工 事	そ の 他		
道路事業費	9,303,319	2,827,953	4,644,742	1,830,624		
建設	道路整備費	37,558	25,447	3,509	8,602	
	街路整備費	4,428,617	2,469,638	1,406,620	552,359	
	橋梁整備費	1,220,468	0	1,188,440	32,028	
	交通安全施設費	638,053	332,868	228,326	76,859	
	計	6,324,696	2,827,953	2,826,895	669,848	
維持補修	道路管理費	32,101	0	0	32,101	
	道路維持費	1,259,805	0	265,817	993,988	
	橋梁維持費	123,434	0	110,666	12,768	
	道路補修費	1,129,107	0	1,081,329	47,778	
	橋梁整備費	19,132	0	0	19,132	
	交通安全施設費	415,044	0	360,035	55,009	
	計	2,978,623	0	1,817,847	1,160,776	
河川事業費	1,486,130	73,959	1,206,600	205,571		
建設	河川防災費	20,147	0	10,467	9,680	
	中小河川整備費	1,309,449	73,959	1,179,827	55,663	
	計	1,329,596	73,959	1,190,294	65,343	
維持補修	河川維持費	152,644	0	16,306	136,338	
	水防費	3,890	0	0	3,890	
	計	156,534	0	16,306	140,228	
公園事業費	339,104	329,566	8,288	1,250		
建設	公園整備費	338,243	329,566	8,288	389	
維持補修	公園管理費	861	0	0	861	
合 計	11,128,553	3,231,478	5,859,630	2,037,445		

その他	市町村土木補助費	1,135,329	0	0	1,135,329	
	用地会計	0	0	0	0	
合 計	1,135,329	0	0	1,135,329		

総 計	12,263,882	3,231,478	5,859,630	3,172,774	
-----	------------	-----------	-----------	-----------	--

※執行済額には、繰越額・本庁執行分も含む。

IV 道 路

1 道路の現況

道路は、交通機能という基本的な機能により都市基盤を形成し、都民の日常生活を支える基礎的な都市施設である。また、道路は各種の収容機能をもった公共空間であり環境形成空間としても重要な役割を担っている。しかし、東京都の道路の整備状況は、未だその役割を十分に果たすことが出来る状態には至っていない。

東京都の都市計画道路の完成率は区部が 65.4%※、多摩地区全体は 61.0%※であり、多摩地区は区部よりも整備が立遅れており、道路の早期整備が強く望まれている。※平成 31 年 3 月末現在、道路率でみた場合、東京都全体で 8.6%、区部で 16.5%、市部は 9.3%と低い状態である（表Ⅳ－1 参照）。当所管内の国道、都道及び市道を含めた公道面積は、管内面積の約 12.0%（道路率）であり、図Ⅳ－1 のとおりである。

このうち、当所で管理する都道は、主要地方道 17 路線、一般都道 25 路線（保谷狭山自然公園自転車道を含む）で、延長 171.654 km であり、表Ⅳ－2 に示すとおりである。

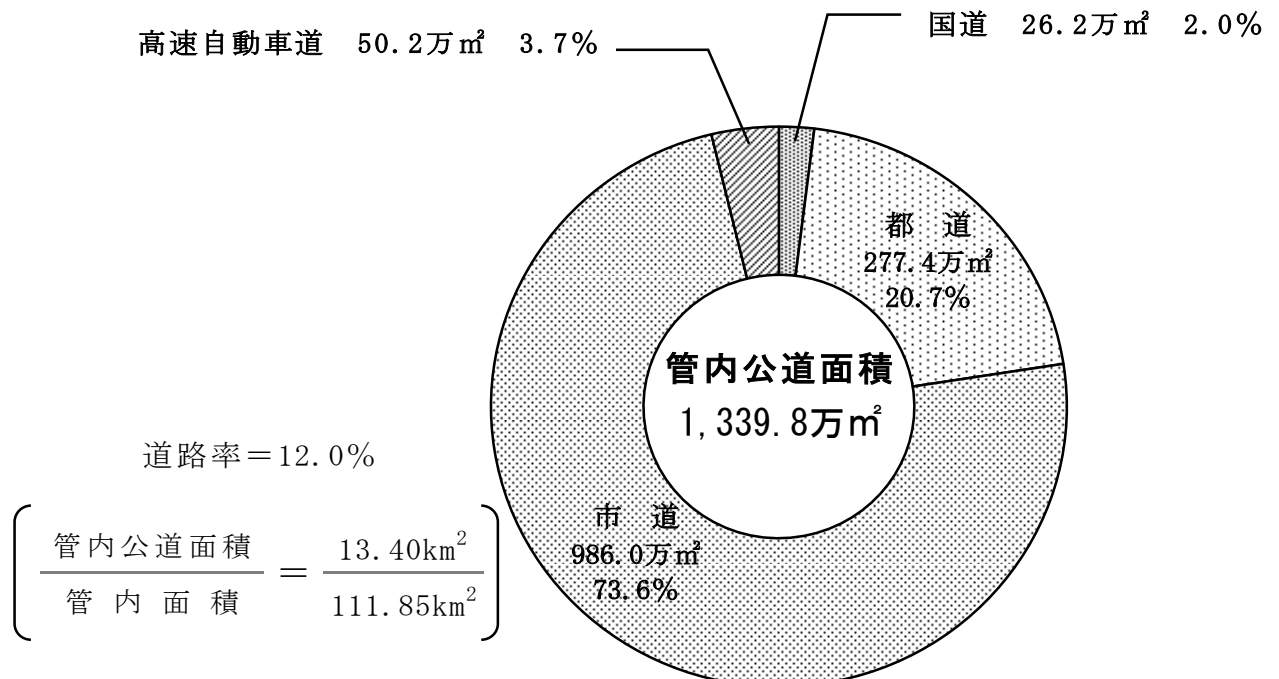
2 道路の管理

道路管理の目的は、道路を常に良好な状態に保ち、道路本来の機能を十分に発揮させるものである。

そのためには、道路の新設、拡幅、維持補修などの道路整備や適正な占・使用等の許・認可、都市計画事業に伴う道路管理者の同意、安全かつ適正な使用状況の点検などの監察等の管理業務が密接に連携することにより万全を期することができる。

また、都道の快適な環境づくりを目指し、これまでもさまざまな手法により都民との協働体制を行ってきている。平成 15 年度からは「東京ふれあいロード・プログラム」の導入により、歩道の清掃活動や緑化活動など、より一層の協働体制が図られ、現在 7 団体が認定されている。

図Ⅳ－1 管理者別道路面積割合
(平成 31 年 4 月 1 日現在)



表Ⅳ－１

道路率・道路平均幅一覧表

(平成31年4月1日現在)

各 市		武蔵野市	三 鷹 市	府 中 市	調 布 市	小金井市
道 路 率 (%)		10.5	11.9	13.0	12.7	9.5
道平均 路幅	全公道 (m)	7.7	6.6	7.9	6.2	6.0
	都 道 (m)	14.8	15.4	19.6	16.7	16.3

各 市		狛江市	西東京市	当所管内	市 部	都 全 域
道 路 率 (%)		12.9	11.6	12.0	9.3	8.6
道平均 路幅	全公道 (m)	6.4	6.6	6.9	7.0	7.7
	都 道 (m)	15.8	13.5	16.2	15.9	18.6

表Ⅳ－２

管内都道の実延長及び面積

(平成31年4月1日現在)

種別 市名	主 要 地 方 道		一 般 都 道		計	
	延長 (m)	面積 (㎡)	延長 (m)	面積 (㎡)	延長 (m)	面積 (㎡)
狛 江 市	6,651	110,673	3,922	55,970	10,573	166,643
小 金 井 市	6,510	115,416	10,705	165,428	17,215	280,844
調 布 市	9,512	230,264	14,482	170,734	23,994	400,998
府 中 市	22,895	531,597	13,851	190,348	36,746	721,945
武 蔵 野 市	14,623	227,693	6,562	85,854	21,185	313,547
三 鷹 市	6,090	157,153	21,814	271,329	27,904	428,482
西 東 京 市	19,794	299,705	14,243	161,396	34,037	461,101
合 計	86,075	1,672,501	85,579	1,101,059	171,654	2,773,560

(1) 区域決定(変更)等

道路の拡幅や旧道に替えて新道を築造する場合、新たに道路となる部分を道路区域に編入し、不用となる部分を廃止することになる。

また、拡幅及び新道の築造工事がしゅん功すると、建設部署から引継ぎを受け、その道路を一般の交通の用に供するため供用開始の手続きを行う。

当事務所管内で令和元年度に告示された区域変更及び供用開始の件数は、次のとおりである。

種 別		件 数 (件)	延 長 (m)	面 積 (㎡)
区域変更	編入	4	1,200.77	8,008.88
	廃止	1	72.49	5.46
供 用 開 始		1	43.18	89.33

(2) 道路占用

① 占用許可

道路は、本来一次的には一般交通の用に供されるものであるが、電気、ガス、水道等の施設を収容する場所としての機能をもつ空間ともなっている。

これらの道路占用に際しては、道路本来の機能を阻害しないように十分検討し、必要な条件を付して占用を許可するとともに、これに伴う占用料の徴収事務を行っている。令和元年度の実績は、表Ⅳ－３及び表Ⅳ－４のとおりである。

② 占用工事の監督

道路の掘さくを伴う占用工事（東日本電信電話・東京ガス・水道局等）は、各工区の指導監督のもとに施行している。原則として道路占用者の費用で原形復旧をし、監督に要する費用を占用者から監督事務費として徴収している。

表Ⅳ－３

令和元年度道路占用許可及び承認件数調書

企業別その他	工区別	小 金 井	調 布	西 東 京	計
水	道	81	112	73	266
下	水 道	41	71	39	151
東 京	電 力	149	175	107	431
東 京	ガ ス	80	118	61	259
東 日 本	電 信 通 話	65	75	54	194
そ の 他	認 定 電 気 通 信 事 業 者	15	32	17	64
一 般	占 用	206	214	283	703
自 費	工 事	73	80	41	194
沿 道	掘 削	5	8	6	19
計		715	885	681	2281

表Ⅳ－４

令和元年度道路占用料収入額調書

年度	件数・金額	許 可 件 数	収 入 額	備 考
令 和 元 年 度		838 件	287,984 千円	※許可件数は、調定件数による。

表Ⅳ－５

令和元年度掘削復旧・監督事務費収入調書

年度	件数・金額	許 可 件 数	収 入 額	備 考
令 和 元 年 度		503 件	25,781 千円	

(3) 道路台帳整備

道路台帳は、道路の戸籍に相当するもので、図面と調書からなり、道路法の適用を法的に裏付けるもので、道路管理の基本となっている。

道路台帳は、道路台帳平面図、地下埋設物台帳平面図、道路敷地構成図及び各調書からなっており、当所における道路台帳平面図はおおむね整備されてはいるが、なお区域線等が不明の箇所もあるので、道路工事並びに民間からの申請等による境界確定、道路区域線標示の実施、工事による台帳平面図を補正する際、明確にするよう努めている。

道路敷地構成図は、昭和 49 年度から道路敷地調査測量を実施し作成を進めており、整備率は管内道路の 91%に達している。

地下埋設物台帳平面図は道路工事、地下埋設工事の実施に伴い、各施行者からしゅん功図面及び調書の提出を求め、次年度に補正している。

表Ⅳ－6

道路区域証明等実績表

年度	種別	道 路 区 域 証 明		道 路 幅 員 証 明
		件 数	延 長	
令和元年度		12 件	157 m	11 件

(4) 境界確認・確定

建設局が所管する公有地の土地境界確認・確定事務が、平成 20 年 5 月に各建設事務所に移管されたのに伴い、当事務所が所管する道路や河川といった公有物との土地境界確認・確定事務を公有物に隣接する土地所有者からの申出に基づき行っている。

表Ⅳ－7

境界確認・確定申出受理件数

年度	種別	道 路	河 川	計
		令和元年度	127 件	12 件

(5) 道路監察

道路監察は、当所が管理している道路及び橋梁を常時良好な状態に保ち、道路本来の機能を維持し、安全かつ円滑な交通の確保をはかるため「道路・河川パトロールカー」で定期的に巡回し、異常の発見、通行の阻害除去を目的としている。

総延長 171.65 kmを 5 区域に分け、各区域を週 1 回巡回することを目標としており、具体的な業務内容は道路法に定める禁止行為の排除、各種道路上工事の違法・違反行為等の改善指導、道路及びその附属物の損傷の早期発見・早期処置、道路上の不法占用物件の撤去や改善指導などである。また、道路上の管理瑕疵事故、各種の苦情・要望の処理も行っている。

令和元年度における道路監察は、延べ走行距離 14,680 kmを実施し、具体的な内容は別紙のとおりである。(表Ⅳ－8)

なお、占用工事等の夜間工事について、特別夜間監察を令和元年度は 4 回(延べ走行距離 255 km)実施した。

表IV-8

令和元年度 道路監視実績表

実況		内容		回数	時間	延長	合同パトロール(内書き)		
平 常 時	日	非常時	夜間	331	1,033	14,680	警	その他	
	異常時		署				署		
	32.1.1		2	0		4	20	255	2
32.1.4	4	0		0	0	0			
32.1.6	16	0	2						
7.1	70	0	2						
その他の不法占有物件	139	2	23						
禁止行為	2,595	13	14					2,572	
沿岸区域の監視	10	0	0					10	
車幅違反									
その他違反									
道路の損傷の監視									
区分	内容	発見件数	処理状況	パトロール	その他	緊急処理	その他		
道路		9		13		0	21		
付属物		19		22		0	33		
その他の特記事項									
放置自転車対策				路上生活者警告件数	3台	バイク警告		0台	
撤去回数	1回			特車取締指導	1回	家電4品目撤去		2台	
撤去台数	1台			自転車警告	5台				

区分	監視箇所数	指摘箇所数	指摘件数	指導内容			措置状況		
	掘削	掘削		その他	現場指導	呼出指	始末書	警告書	措置
		路面覆	保安						
管理者工事	1								
承認工事									
東日本電電	2	4	4		2	1	2		
水道局	10	8	10		5	3	5		
下水道局									
交通営団									
東京電力	3	2	2		1	1			
東京ガス	2	3	3			1	3		
区市町村	1	1	1			1	1		
その他(交通局含む)									
計	19	18	20	3	0	8	0	9	7
				3	0	8	0	9	11

(6) 道路上占用工事等の調整

道路の掘削を伴う占用工事は、沿道住民の生活環境や道路利用者の交通等に与える影響が大きく、無秩序に占用許可等を与えれば、生活環境の悪化や激しい交通渋滞を招くばかりではなく、道路の維持管理にも大きな支障となる。このため、占用工事を行う企業者間や道路管理者等との間で調整を行い、さまざまな合理化や効率化を図っている。北南建管内では、四半期ごとに道路管理者である当事務所が主催し、交通管理者や占用企業者等が参加する道路工事調整会議を開き、道路の無駄な掘り返しを規制したり、シールド工法や推進工法に代表される非開削工法の導入や複数の企業者が共同で工事を行う共同施工の採用を助言するなど、合理的で効率的な路上工事の施工を目指して調整している。

しかしながら、依然として住民や道路利用者からの道路上工事に関する改善を求める声が多く、更なる合理化や効率化に向けて、「(新)東京都内の路上工事対策五箇年計画(2018～2022年度)」に基づき、以下の取り組みを行っている。

- ① 路上工事時間の管理徹底（道路工事調整会議での調整、交通混雑期間の工事抑制）
- ② 掘り返し抑制施策の推進（非開削工法等の導入促進、共同溝・電線共同溝の整備促進）
- ③ 路上工事の現場改善（工事現場関係者のスキルアップ等）
- ④ 路上工事の情報提供改善（工事看板や事業説明看板の改善等）

昨年度の道路工事調整会議で調整された工事のうち、交通規制を伴う路上工事日数を月別に集計した結果は、下表のとおりである。

また、道路管理者が行う道路の新設・改築区間や再開発等沿道の大規模事業により占用工事が競合する区間では、別途調整会議を適宜開催することで、より細かい調整を図っている。

令和元年度道路上工事に伴う月別交通規制日数

工事種別	令和元年									令和2年			合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
道路管理者工事 (市施工含む)	184	143	146	97	114	102	104	77	91	70	38	47	1213	
占用工事	212	240	236	266	235	252	266	327	320	280	374	246	3254	
内 訳	上水道	115	119	100	150	123	128	154	224	228	187	255	153	1936
	下水道	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	7
	NTT	21	17	49	45	37	43	54	31	33	29	51	36	446
	NCC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電力	37	46	19	35	12	31	29	12	19	37	18	13	308
	ガス	32	41	53	31	63	50	29	60	33	27	50	44	513
	その他	7	17	15	5	0	0	0	0	0	0	0	0	44
合計	396	383	382	363	349	354	370	404	411	350	412	293	4467	

※ NCC:NTT以外の電気通信事業者

令和2年4月1日現在

(7) 通行車両の車幅の制限

交通の危険を防止し、道路と通行車両の合理的調和を図るため、車両制限令に基づき車両制限箇所を設置し、通行車両の認定や適時指導を行っている。

路線名	規 制 箇 所		規制区間延長 (m)	規 制 幅 (m)
	起 点	終 点		
主25号	西東京市下保谷4-14地先	西東京市下保谷4-6地先	330	1.30
一110号	府中市若松町3-5地先	府中市紅葉丘3-42地先	1,700	2.00
一114号	狛江市元和泉2-13地先	狛江市元和泉2-1地先	550	1.70
一118号	調布市仙川町1-14地先	調布市仙川町2-5地先	400	2.00

(注) 「主」は主要地方道 「一」は一般都道

(8) 事業予定財産等の管理

管理する財産には、事業予定財産、先行取得地、事業残地等がある。

これらの財産については、「公有財産規則」及び「局所管公有財産管理要綱」に基づき本来の行政目的に供するまでの間、ゴミの投棄や不法使用を防止するため管理柵を設置し、除草を行い、定期的な監察により適正な管理を行っている。

なお、事業予定財産等については、歩行者用通路、駐車場等に活用し、有効利用を図っている。

3 道路・橋梁の維持補修

道路、橋梁の維持補修事業は、道路を常時良好な状態に保つことにより、一般交通に対して安全、かつ、円滑で快適な道路空間を提供するとともに沿道環境の保全を目的としている。

近年、車両の大型化により、道路の損傷やこれに起因する騒音、振動の発生が道路管理上の大きな課題となっている。

このような状況下にあつて、沿道環境の保全を図るため、道路・橋梁の維持補修はもとより、道路付属物の保守に努めるとともに環境整備の一環として道路緑化を推進している。

なお、道路占用工事等においては、復旧方法の良否が舗装等の耐久性や騒音・振動等に著しく影響するため、事故防止を含め適切な技術指導を行っている。

(1) 道路維持事業

道路維持事業は、道路の機能を保持するために行うものであり、小さな破損のうちに修理し、交通の安全と環境の保全を図るために日常的に行う事業である。

この事業は、道路機能保持による環境保全はもとより道路の破損による交通事故の防止からも、一日も疎かにできない重要な業務である。

その業務内容は、路面の局所的な破損や道路付属物（道路照明・防護柵・街路樹等）の不具合箇所を緊急に修理する維持工事とともに側溝、ます類の浚渫、路面清掃、緑地管理、降雪対策等の広範囲の委託作業を実施している。また、街路灯の管理の効率化のため、消費電力が少なく耐用年数も長い、道路照明のLED化を機器の更新に合わせて計画的に取り組んでいる。

ア 巡回点検

調布工区配属の職員による直営巡回点検班と民間委託された西東京工区の巡回点検班の2班集体により管内全ての都道を巡回車で定期的に巡回し、道路・橋梁の破損箇所の早期発見に努めるとともに事故防止のための緊急処置を行っている。

イ 単価契約等による請負施工

巡回点検班や関係機関から報告のあった道路や道路付属物の破損箇所の修理を行うための維持工事は、総価契約及び単価契約による請負施工により実施している。また、単価契約では休日や夜間の応急措置等に対応するため、請負業者が緊急出動できる体制を整えている。

(2) 橋梁維持事業

近年、車両の大型化により、橋梁の構造に与える影響は過酷なものとなってきている。特に、橋面舗装及び伸縮継手等の破損が甚だしいため、これらを重点的に修繕している。

また、鋼橋（歩道橋含む）の腐食防止等を図るため、計画的に塗り替えも行っている。

本年度は、北原歩道橋ほか7橋の塗装塗替及び橋面舗装工事を予定している。

(3) 路面補修事業

道路は、自動車及び歩行者・自転車等の通行に支障のないよう常に良好な状態に保全するため、維持修繕することが求められている。

しかしながら、舗装は一般の交通に供用された時点から、交通や気象条件等の外的作用を常に受けており、一旦舗装体に破損が生じると加速度的に損傷が増大していく。このため、耐用年数が過ぎて維持作業が困難になった箇所、交通量の増大に伴う路床・路盤の支持力不足や大型化した車による舗装の変形等により、供用性の低下した箇所について路面性状調査の結果や沿道状況、陳情苦情等をもとに総合的に判断し、計画的に補修を行っている。

本年度の路面補修は、主 3 号（世田谷通り）ほか 19 箇所について約 8.7 kmの事業を行う予定である。

(4) 道路緑化事業

街路樹の緑は快適でうるおいのある環境づくりに不可欠であり、都市景観の向上と環境の保全等を目的としての緑化推進に努めている。

また、道路に植栽されている街路樹及び植栽帯は、制約された条件下での成育を余儀なくされており、路線ごとにきめ細かな管理を行っている。

整備事業としては、平成 19 年度から東八道路、新小金井街道等において並木復活事業を実施、平成 21 年度からは緑倍増計画として井ノ頭通り、所沢府中線、川崎府中線、鶴川街道等の 8 路線において、街路樹の充実事業を実施して平成 27 年度に終了した。

また、平成 25 年度から新小金井街道等の 11 路線で街路樹の健全化を図る「大径木大作戦（2020 年の東京）」に着手し、平成 30 年度までに街路樹防災診断を全て終了した。

令和元年度からは、井ノ頭通り、人見街道、新小金井街道等で定期的な街路樹診断を実施し、診断結果で不備となった樹木については、伐採、剪定と再植栽工事を行い、安全で健全な街路樹の管理を行っている。

街路樹等歩道植樹帯

種 別	場 所	数 量
高 木	街 路 樹	15,717 本
	緑 地 内	1,509 本
	計	17,226 本
中 木	街 路 樹 ・ 緑 地 内	13,651 本
株 物	植 樹 内 ・ 中 央 分 離 帯	186,608 ㎡



(ヤマザクラ並木)



(街路樹診断)

(5) 道路施設整備事業

道路排水場、地下道及び道路の一般構造物の保全のため、施設健全度調査の結果に基づく改修を行うほか、地下道や立体交差点における環境の向上を目的とした事業である。

本年度は、小金井市内の小金井街道と調布市内の松原通りの擁壁の補修工事と主4号(青梅街道)等において、街路灯の更新にあわせて道路照明のLED化を実施する。

(6) 橋梁整備事業

橋梁整備事業では、全橋梁を対象に5年に1度実施する定期点検の結果により、補修が必要と判断された場合は、損傷に応じた補修や補強を適切に実施するなど安全を確保している。

本年度は、平成30年度に実施した定期点検に引き続き、多摩川原橋の補修設計と是政橋の詳細調査を実施する。

(7) 橋梁長寿命化事業

橋梁の長寿命化を図ることとして主要な幹線道路の橋梁について、最新の技術や材料により、補修や補強を行うことでより安全で耐久性に優れた橋梁に改良し、安全・安心を確保する事業を実施している。これにより、対策後100年以上の延命化を目指していく。

本年度はJR南武線と武蔵野線を跨ぐ主18号(鎌倉街道)府中本町陸橋の設計を実施する。

(8) 交通安全施設事業

交通安全施設事業は、安全で快適な道路空間を確保するため不可欠なものである。また、街路灯や道路標識などの施設は、交通安全上からも重要な役割を担っている。

街路灯は夜間における通行車両の安全確保はもとより、防犯や都市景観の向上などにも寄与する重要な施設である。本年度は、更新とともに照度の充実を目的に主5号(新青梅街道)において、更なる省エネ化を目指して20基のLED化を行う予定である。

また、車両の円滑な走行を図るため適切な情報を提供する道路標識や、滑り止め舗装、区画線、視覚障害者誘導用ブロック、防護柵等の安全施設についても、地元住民及び警察署等からの要望に適切に応え実施している。

東八道路の三鷹通り～小金井街道間の5.5kmについては、歩道を車道側に拡げ、合わせて電線類を地中化し、安全で快適な自転車通行空間を整備する事業を平成20年度から実施している。

(9) 電線類地中化事業(現道内)

都市防災機能の強化、安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の創出を図るため、緊急輸送路の主要幹線道路を中心に計画的に推進している事業である。

本年度は、主14号(東八道路)の三鷹通り交差点から武蔵境通り交差点において電柱の除去と主18(新府中街道)の本宿交番前交差点から本宿トンネルにかけて、延長約345mの電線共同溝設置工事を実施する。

4 道路・橋梁の整備

東京都では、東京の新しい道路づくりに向けて、①「活力」都市活力の強化、②「防災」都市防災の強化、③「暮らし」安全で快適な都市空間の創出、④「環境」都市環境の向上の四つの基本目標を設定し、東京の将来像や広域的な課題に加え、地域の将来像や地域的な課題を踏まえて、今後10年間(平成28年度から平成37年度まで)で優先的に整備すべき路線を平成28年3月に策定した。(東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画))

北多摩南部建設事務所管内は、21路線約22.8kmが第四次事業化計画に選定されたのを受け、計画的に事業を進めていく。

また、多摩川中流部に架かる関戸橋は、多摩地域の交通を支え、防災上も重要な役割を担っているが、架設から約80年が経過し老朽化が進んでいる。そのため、平成27年度より仮橋設置工事に着手し、下流橋の全面架け替え及び上流橋の一部架け替え事業を南多摩東部建設事務所と協力して進めていく。

さらに、少額の投資で比較的短期間のうちに事業効果の期待できる交差点改良事業(すいすいプラン)や、歩道設置などの交通安全施設事業を実施し、地元の強い要望に応じている。

当所における、道路や橋梁の整備は、道路整備事業・街路整備事業・橋梁整備事業及び交通安全施設事業の4手法で行っている。

また、道路は交通及び物流基盤としての機能に加え、環境との調和、ライフラインの收容空間、防災施設などの高度な機能を併せ持つことが求められている。そのため、道路・橋梁の整備にあたっては、こうした点を踏まえ、より安全で快適に利用できる道路づくりを目指し取り組んでいる。

(1) 用地取得のあらまし

ア 道路用地取得の現況

当所管内は、市街地化の進行に比較して、道路網の整備が全般的に遅れている。道路を整備し円滑な交通を確保するため、東西方向の幹線道路整備事業として、西東京3・3・14号線及び府中3・2・2の2、国立3・3・2号線がある。また、南北方向の幹線道路整備事業として、三鷹3・2・6、武蔵野3・3・6、西東京3・2・6号線(調布保谷線)があり、これらの事業用地の取得を行っている。また、幹線道路以外の街路整備事業としては調布3・4・17ほか13路線、道路整備事業として主11号線(狛江通り)ほか1路線で用地取得を行っている。

また、交通安全施設事業のうち多摩地域を中心とした「交差点すいすいプラン」として、主7号線(武蔵野中央、関前三丁目)や都道113号線(四軒寺)などが、交差点すいすいプラン以外の交通安全施設事業としては、歩道設置事業の都道114号線(吉祥寺通り)や都道110号線(人見街道)などがあり、計16路線で用地取得を行っている。

当所管内は多摩部にあるとはいえ区部と接しており、多摩・区部双方の特徴を併せ持つ路線が多い。近年は公共事業に対する住民意識の変化や移転先確保の困難性、大型マンションの存在等による権利関係の複雑化などから、用地取得がいつそう困難化する傾向にある。

「交差点すいすいプラン」のように交差点付近の改良に伴う用地取得では、商業ビルが密集しており、借地や建物賃貸借などの複雑な権利関係がある敷地のほか、区分所有建物敷地が取得の対象となっており、権利調整や多数の関係人との同時契約などの解決困難な課題が生じている。さらに交通安全施設事業等において土地収用法を活用するためには、事業認定手続きを経る必要があり、その手続きが隘路となり、収束案件の解決に多大な時間と労力を要している。

一方、土地収用法が適用となる都市計画道路事業では、相続による権利者の確定などに時間を要する案件も少なくない。また、相続税納税猶予農地についても、有効な手立てが講じられずにいる。

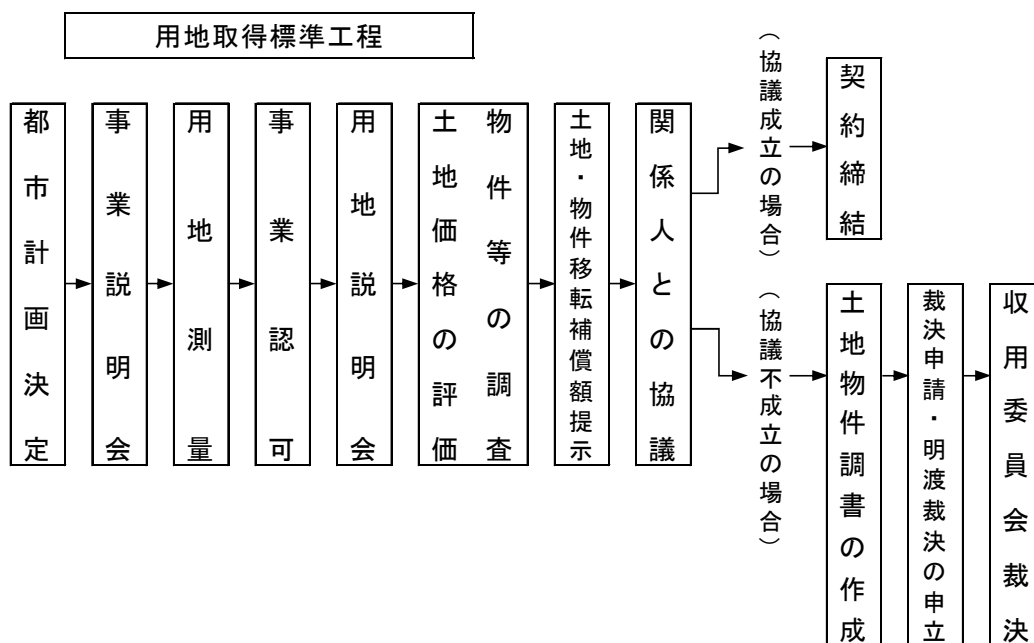
路線ごとに、工事部門と整備計画を調整しながら優先順位を付け、工事に直結する用地取得を進めることが重要となっている。

イ 用地（土地）取得と物件等の移転補償

公共事業を施工するための用地取得及びこれに伴う損失の補償に関する事務は、住民の財産権に重大な影響を及ぼすことになる。そのため、用地取得事務を遂行するにあたっては、適正かつ公平な補償に向けて常に細心の注意を払う必要がある。

用地事務の主な内容には、土地価格の評価、建物・工作物・営業等の調査及びこれらに係る損失補償額の算定、土地所有者・建物所有者・借家人等関係人との折衝などがある。用地の取得は土地所有者をはじめとする関係人と十分協議を重ね、その理解と協力を得たうえで、土地売買契約・物件移転補償契約等を締結して行っているが、それでもなお、理解と協力が得られないときは、事業用地の非代替性から、やむを得ず土地収用制度を用いて解決を図っている。

また、生活再建を側面から支援するため、代替地あっせん、都営住宅のあっせん、移転資金の貸付等の制度がある。また、税金についても、譲渡所得に対する課税の特例措置および不動産取得税の軽減措置がある。



(2) 道路整備事業

「道路法」に基づいて道路・橋梁の整備を行う事業で、主に地域の幹線道路で既存の道路幅員の狭い区間の渋滞等を解消するための事業である。

① 主要地方道大田調布線（第11号）【狛江通り】

本路線のうち狛江市東和泉一丁目（世田谷通り交差点）から調布市国領町四丁目の国領駅南口再開発関連区間までの延長約2,970m、都市計画幅員16mについて、道路整備事業として整備を行っている。

このうち、狛江市役所前から西へ560m（松原交差点）までのⅠ期区間は、平成11年度までに整備が完了しており、以西延長450mまでのⅡ期区間も、平成12年度に整備が完了した。狛江市役所東交差点から同市東和泉一丁目（世田谷通り交差点）までの延長約410mのⅢ期区間については、平成8年度から事業に着手し、平成14年度に電線共同溝と併せて工事着手して、未取得地を除き平成19年度に完了した。

また、国領駅南口再開発関連区域延長約150mを含めた東側へ延長600m（国領町八丁目交差点）については、多摩建設事務所の現体制では計画的事業執行が困難な特定路線として、地元要望に早期に答えるため、『多摩地域に於ける道路事業用地の（財）新都市建設公社委託について』の方針に基づき、事業の一部を平成3年8月建設局長及び新都市建設公社理事長の間で基本協定を締結し、用地先行買収委託した箇所である。平成4年度に測量に着手し、平成6年度に用地取得に着手した。平成12年度末、当事務所が取得用地の引継ぎをうけ、Ⅳ期区間として平成13年度に工事着手した。

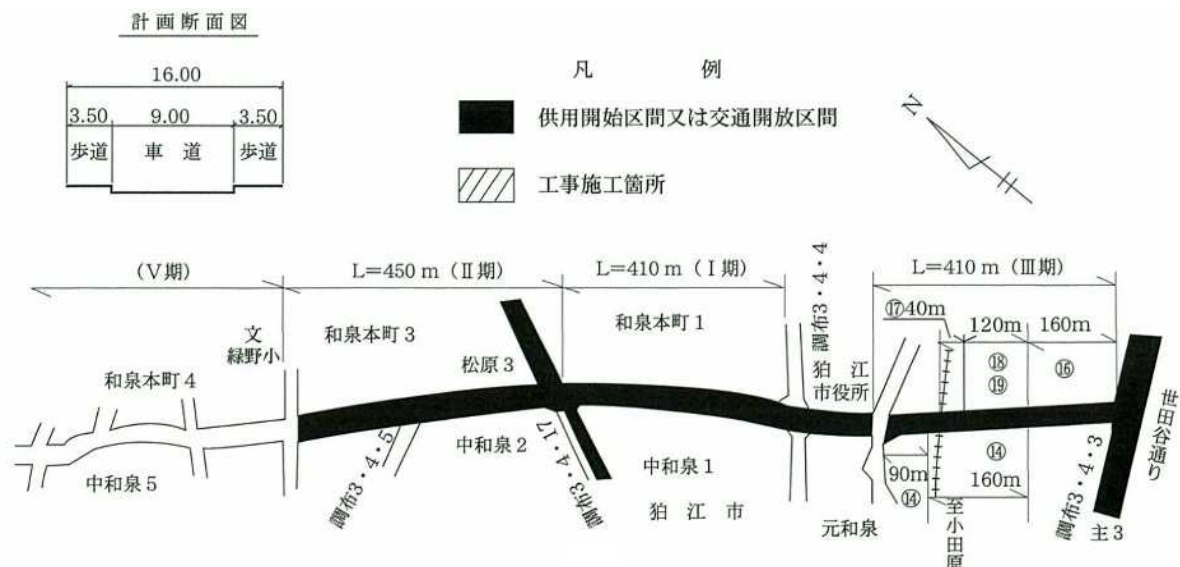
緑野小前交差点から国領町八丁目交差点までの延長980mのⅤ期区間（中和泉）については、平成15年11月28日に事業説明会を行い、測量を実施した。平成17年7月に用地説明会を行い用地取得に着手し、平成18年度に工事着手した。

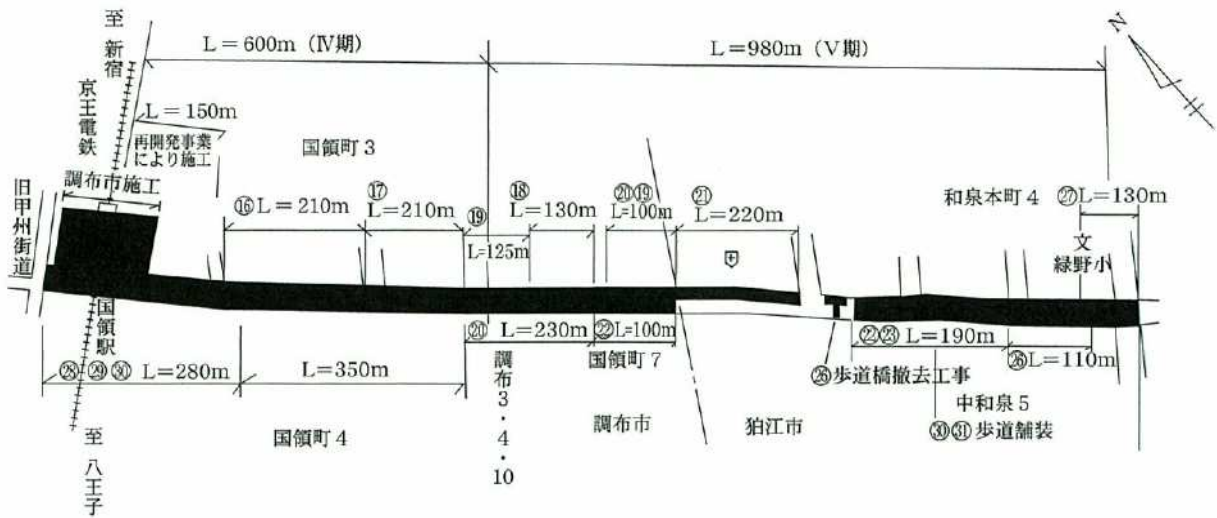
今年度は、Ⅴ期区間（中和泉）において、緑野小前交差点から西側420m区間で歩道舗装工事を、さらに西側230m区間において車道舗装工事を実施する。また、Ⅵ期区間（国領Ⅱ期）において、旧甲州街道から280m区間の歩道舗装工事を実施する。

【用地】

Ⅲ期区間については、平成8年度から用地取得に着手し、平成30年度に用地取得を完了した。Ⅳ期区間については、平成6年度から用地取得に着手し、平成18年度末に用地取得を終了した。

Ⅴ期間については、平成17年度から用地取得に着手し令和元年度末の取得率は約95%となっている。今年度も引続き用地取得を推進する。





② 主要地方道府中清瀬線（第15号）【小金井街道】

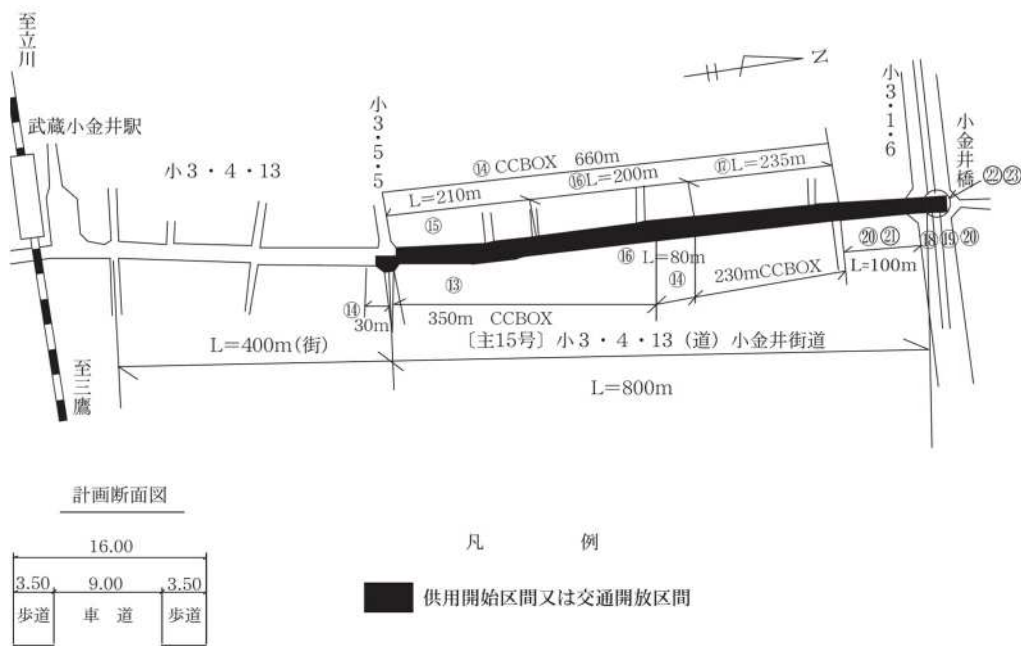
当該区間は、用地取得について（財）新都市建設公社に委託した路線であり、小金井市道（小金井3・5・5号線）北大通り線交差点以北玉川上水までの区間延長約800mで、平成4年度現況測量に着手した。平成12年度末、当事務所が取得用地の引継ぎを受け、平成13年度に電線共同溝工事に着手し、平成17年度までに小金井橋の架替工事と取付け区間を除く延長約645mの整備が完了した。

玉川上水に架かる小金井橋はレンガによるアーチ橋で昭和の初期のものとされ、今回の拡幅整備計画を知った地元住民団体及び地元市からも架替にあたり、「東京都歴史環境保全地域」に指定された玉川上水を横断する橋梁として歴史的文化的価値を十分認識した上で、景観や周辺環境に配慮した整備の要望が出されており、平成12年度から地元市をはじめ地元住民団体など、意見交換しながら整備内容について協議を進めた。

一方、玉川上水は国の史跡として平成15年8月27日に文部科学省から指定を受けていることから、平成18年3月に、現状変更等許可申請を行い、平成18年5月19日に許可を受け、平成18年度から2ヵ年にわたる架替工事を実施し、橋梁及び取付け区間が完成した。

〔用地〕

残事業2%について、土地収用法に基づき、平成17年度に用地取得を終了した。



③ 一般都道東大泉田無線（第 233 号）

本路線は、西東京市を南北に通る都道で交通量が多いが、幅員 1.5m の歩道が片側にあるだけで、歩行者の通行が非常に危険な状態にある。

西東京市泉町三丁目（主 36 号交差点）から同市中町一丁目（一般都道 234 号交差点）の区間延長 1,000m の中間部には西東京市役所保谷庁舎があり、利用する市民の安全確保のため市長からも整備の促進について、強い要望が出されている箇所である。

I 期・II 期区間 750m については、平成 6 年度に拡幅整備事業に着手しており、市役所前約 300m については、平成 11 年度に完成し、平成 15 年度に I 期区間が完成した。II 期区間は、III 期側約 10m を除き、平成 18 年度に完成した。

III 期については、地元の要請を受け平成 11 年度に用地測量を行った。

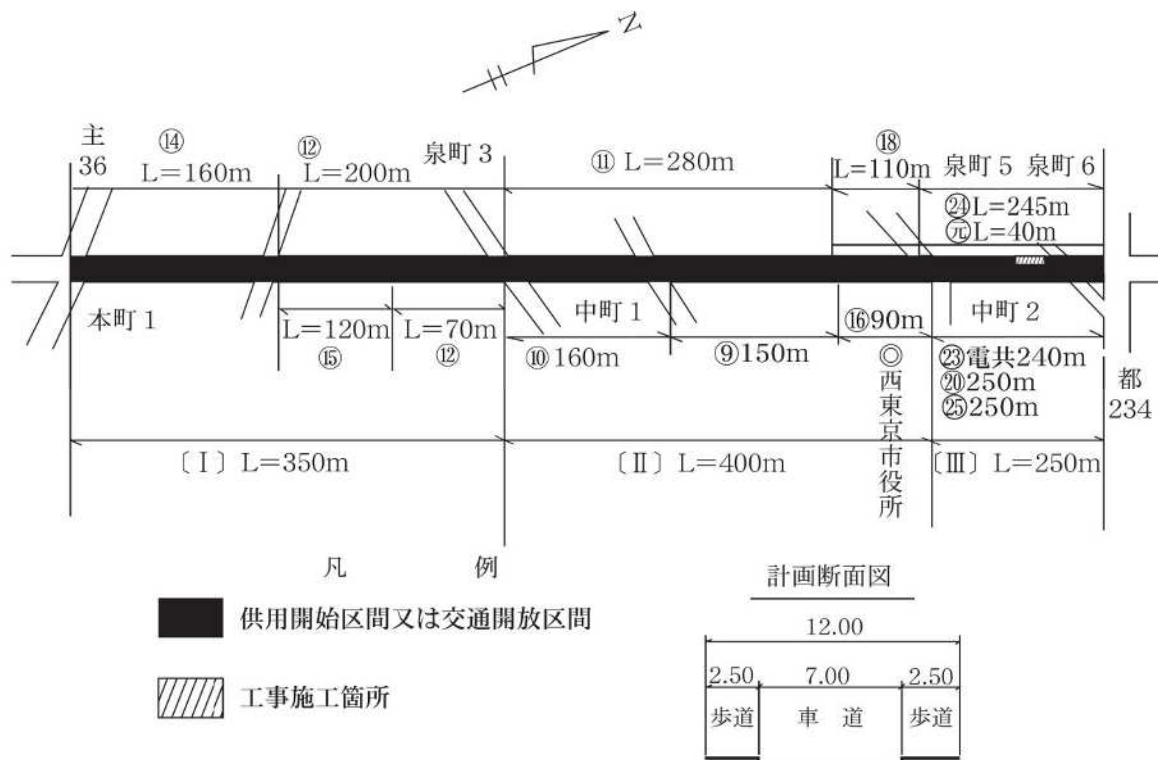
平成 25 年度に、東側 250m の歩道舗装工事を実施し、II 期区間が完成した。

今年度は、III 期区間の西側 40m の歩道工事を予定している。

〔用地〕

I・II 期については平成 6 年度から用地取得に着手、III 期については、平成 14 年度から用地取得に着手し、令和元年度末の全区間の取得率は約 97% となっている。

今年度も引続き用地取得を推進する。



(3) 街路整備事業

街路整備事業は、「都市計画法」に基づき、道路・橋梁を都市計画事業の認可を受けて行う事業であり、当所では、多摩地域に於ける主要幹線道路及び地域の街づくりに寄与する道路を重点的に整備している。

特に当所においては、多摩地域における主要幹線として多摩東西幹線（東京八王子線）及び多摩南北幹線（府中所沢線・調布保谷線）を担当している。

ア) 多摩東西幹線【東京八王子線】

東京八王子線は、区部放射5号線（千代田区麴町一丁目から杉並区久我山三丁目）のうち、杉並区下高井戸五丁目（下高井戸陸橋）から三鷹市牟礼一丁目（牟礼橋）までの延長約3.5kmを含め多摩地区における国道20号（甲州街道）のバイパスとして計画されている。

延長は、三鷹市・府中市・小金井市・国立市・日野市及び八王子市を經由して、八王子南浅川町（首都圏中央連絡自動車道南浅川インター）間延長約34.2kmである。

当所の担当区間は、都市計画区域三鷹・府中・小金井及び国立の一部、延長約14.4kmである。

調布3・4・26号線（三鷹通り）交差点から、小金井3・4・7号線（新小金井街道）交差点間延長約5.5kmは平成10年度以前に車道を6車線で開放しており、平成11年7月には三鷹3・5・15号線（むらさき橋通り）交差点から調布3・4・26号線（三鷹通り）交差点間延長約0.5kmと小金井3・4・7号線（新小金井街道）交差点から府中3・3・8号線交差点の区間3.5km、合計4kmについては車道を4車線とし、三鷹3・5・15号線（むらさき橋通り）交差点以東1.7kmについては、下り方向は車道2車線、上り方向は下本宿通りに合流することから片側1車線で開放し、平成14年度には、三鷹3・5・15号線以東0.8km区間について、上り車線を2車線化し、この区間を4車線化した。平成22年度末において、当所担当区間延長約14.4kmのうち12.1kmが完成し、84%の完成率となっている。

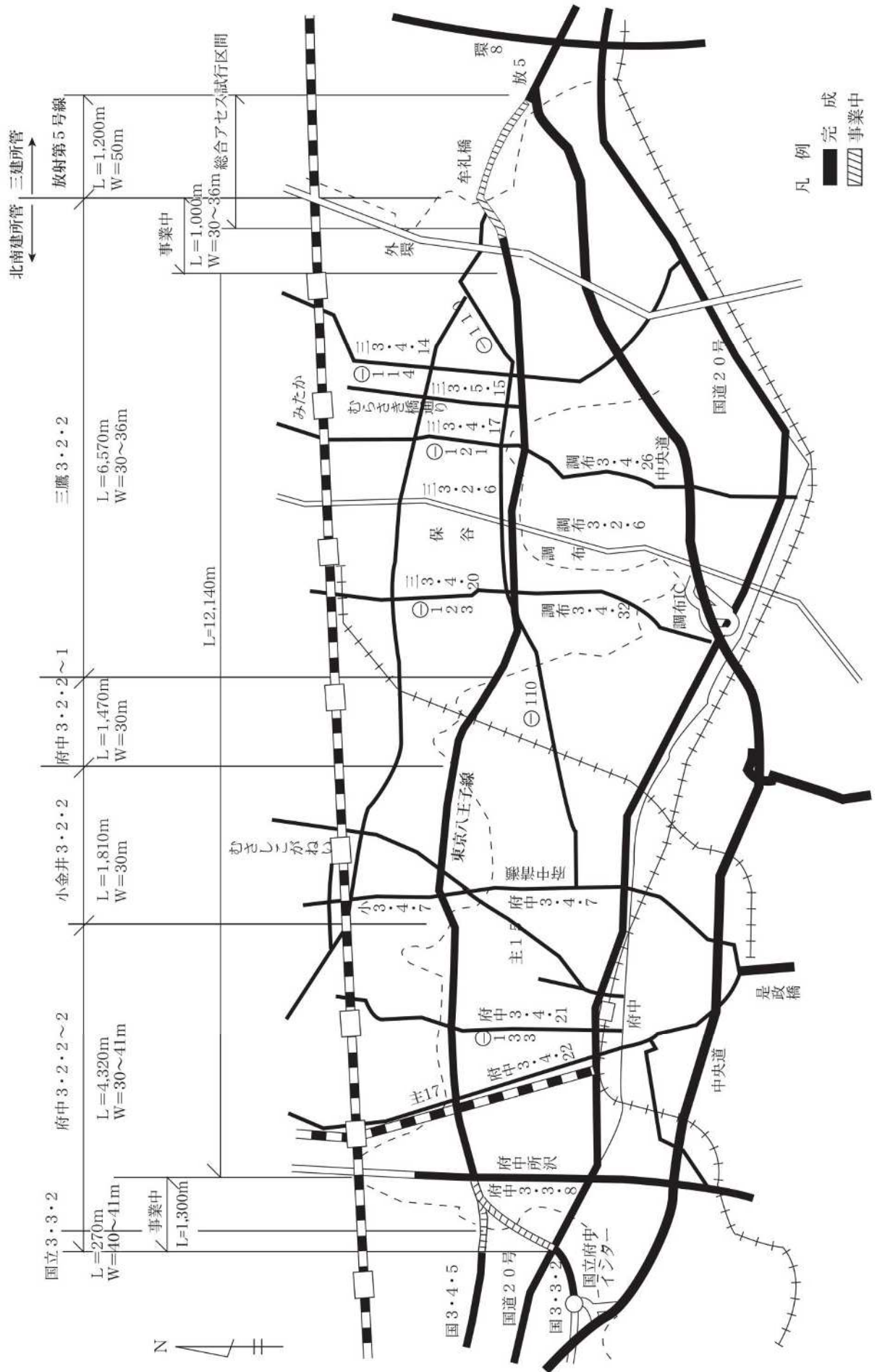
東側未整備区間のうち、三鷹3・4・12号線以東500m区間は平成12年3月事業認可を受け事業中である。残り区間については、放射5号線と一体として、「総合環境アセスメント」試行事業箇所として、東京都は平成11年11月に発表し、「環境配慮書」の地元説明会を平成14年7月に行い、手続きを進めてきたが、放射第5号線と切り離し、既定の都市計画幅員30mで平成14年度現況測量、15年度用地測量を実施し、平成16年5月に事業認可を取得。平成26年度より本格的に街築工事に着手し、令和元年6月8日、放射第5号線とともに交通開放した。

また、西側残り区間、府中・国立地区の延長約1.3kmは、平成19年11月に都市計画変更素案の説明会を開催し、平成21年10月に都市計画変更案及び環境影響評価書案の説明会を開催、平成22年12月に都市計画幅員が変更（28m→36m）され、平成23年7月5日に事業認可を取得、平成27年11月にアセス手続きである着工届を提出、JR南武線を跨ぐ橋梁工事に着工した。

令和2年3月31日現在

東京八王子線の整備状況						
路線名	計画延長m	完成延長m	完成率%	事業中延長	未着手延長	備考
三鷹3・2・2	6,570	5,570	85	1,000	0	
府中3・2・2-1	1,470	1,470	100	0	0	
小金井3・2・2	1,810	1,810	100	0	0	
府中3・2・2-2	4,320	3,290	76	1,030	0	
国立3・3・2	270	—	—	270	0	
合計	14,440	12,140	84	2,300	0	

東京八王子線概要図



① 三鷹都市計画道路3・2・2号東京八王子線（主14号）【東八道路】

三鷹地区の残り区間延長約1,000mのうち、西側500m I期区間については、平成10年度現況測量、平成11年度用地測量を行い、片側1車線及び停車帯の暫定整備として、平成12年3月事業認可を受け、同年7月に用地説明会を行い、用地取得に着手した。

平成22年度は、新川交番前交差点から西側I期区間200mを含む延長約1.2kmの4車線化工事と、西側区間の街路築造工事を実施した。なお、西側I期区間の車道部のうち300mは、東側II期区間の整備時期を整合させる等の理由から暫定形で整備している。

残る東側500m II期区間については、隣接する放射第5号線と合わせ、平成12年より総合環境アセスメント制度の試行を進めてきた。

その結果、沿道環境への影響を配慮するとともに、隣接する区間の幅員を考慮し、既定の都市計画幅員30mとして整備することとなった。

東側II期区間については、平成14年11月28日に事業説明会、同年度に現況測量を行い、平成15年度に用地測量を実施し、平成16年5月に事業認可を受け、同年6月に用地説明会を行い、用地取得を（財）東京都道路整備保全公社に委託し着手した。平成19年度からは、当事務所で用地取得を行っている。

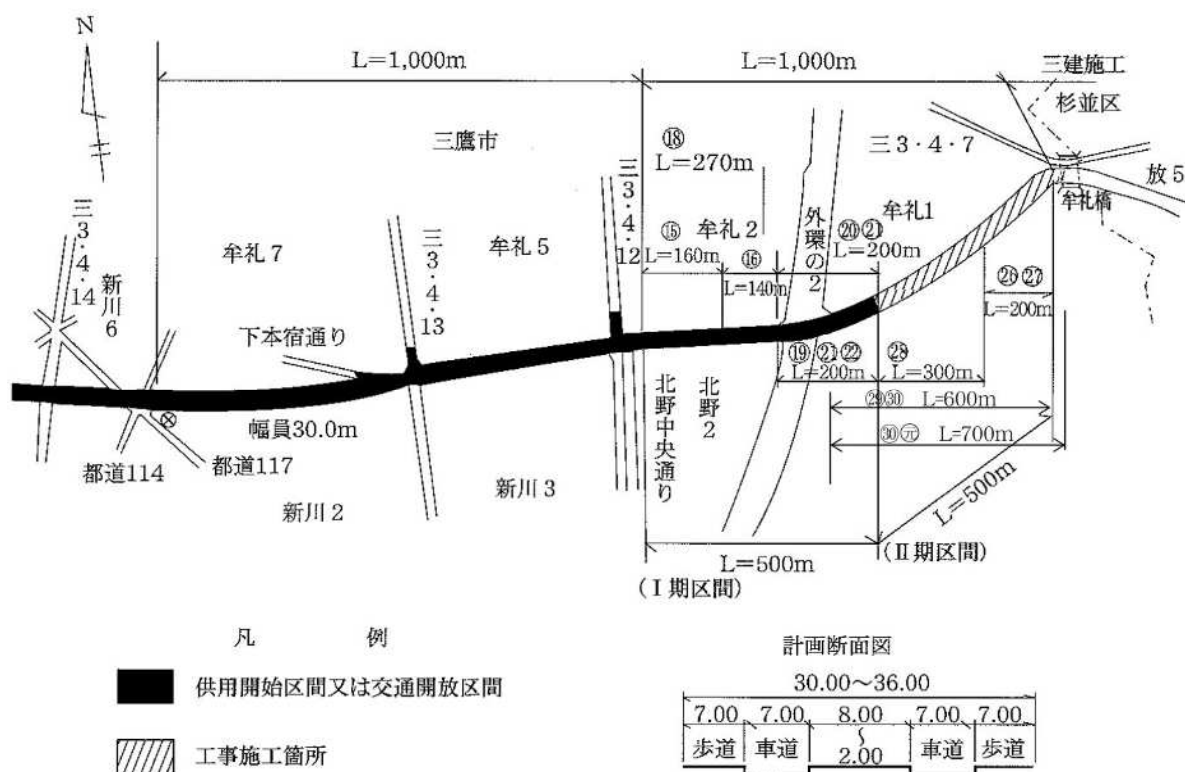
平成26年11月20日に工事説明会を行い、平成26年度より本格的に街路築造工事に着手した。

令和元年6月8日、三建施工の放射第5号線とともに交通開放した。

引き続き、電線類の地中化や歩道舗装等の工事を進めていく。

〔用地〕

平成20年度に用地取得を完了した。



② 府中都市計画道路3・2・2の2号及び国立都市計画道路3・3・2号東京八王子線

本区間の周辺が主に住宅地であることから、沿道環境に配慮し、みどり豊かな植樹帯と快適な歩行者空間を有する 10mの環境施設帯を車道の両側に配置するため、28～36mの既定幅員を 36～41mに変更する都市計画及び環境影響評価の手続きを平成 19 年度から行い、平成 22 年 12 月に完了した。

その後、平成 23 年 1 月に事業概要説明会を行い、平成 23 年 7 月に事業認可を取得し、アセス手続きである着工届を提出し、平成 27 年 12 月に工事着手した。

また、平成 28 年度より、地元住民との環境施設帯の整備形態等に関する検討会を実施し、平成 29 年度に整備計画（最終案）を策定した。

令和元年度に J R 南武線を跨ぐ（オーバース）橋の工事及び擁壁設置工事（A 1 橋台側）が完了した。今年度は、引き続き擁壁設置工事（A 2 橋台側）及び排水管設置工事を進めるとともに、J R 南武線跨線橋の上部仕上げ工事等を予定している。

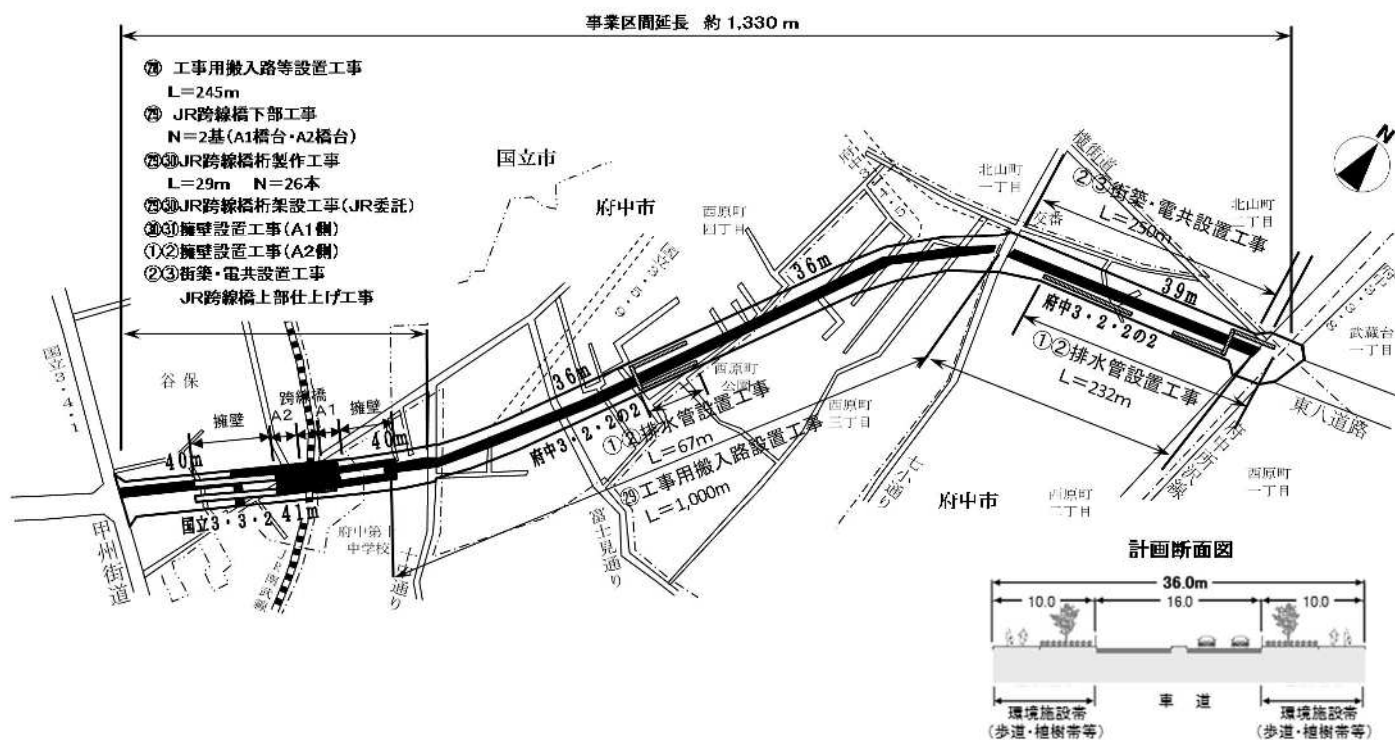
〔経緯〕

- ・平成 19 年 11 月 06 日、07 日 都市計画変更素案説明会
- ・平成 21 年 10 月 13 日、14 日 都市計画変更案及び環境影響評価書案説明会
- ・平成 21 年 11 月 26 日、30 日 測量説明会
- ・平成 22 年 12 月 17 日 都市計画変更の告示
- ・平成 23 年 01 月 12 日、13 日 事業概要説明会及び用地測量説明会
- ・平成 23 年 07 月 05 日 事業認可取得
- ・平成 23 年 07 月 17 日、20 日 用地説明会
- ・平成 27 年 12 月 工事着手

〔用地〕

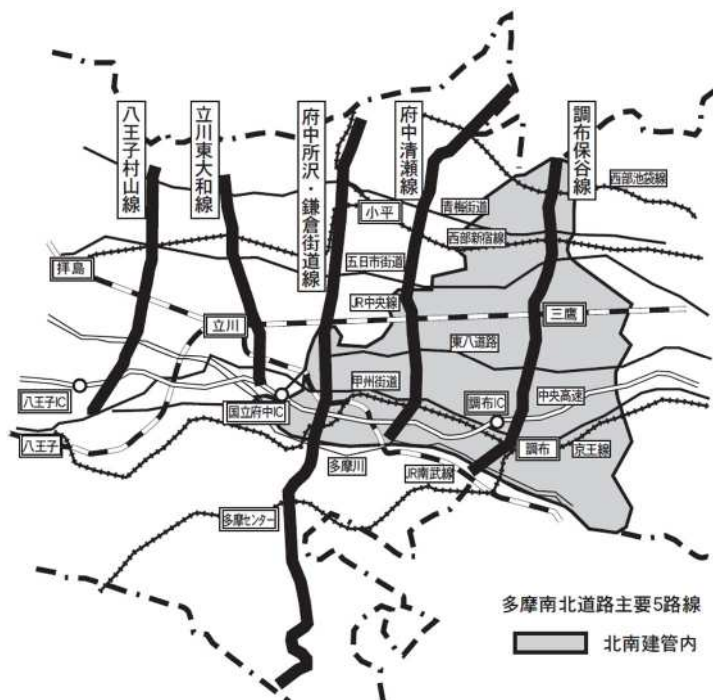
平成 23 年 7 月に事業認可を取得し、令和元年度末の取得率は約 96%である。

今年度も引き続き用地取得を推進する。



イ) 多摩南北幹線【調布保谷線・府中清瀬線・府中所沢線】

多摩地域において整備の遅れている南北方向の道路である調布保谷線等、都市の骨格を形成する特に重要な幹線道路について、東京都では、道路ネットワークの早期形成に向けて重点的に整備を進めており、当所では、調布保谷線、府中清瀬線、府中所沢線を所管している。

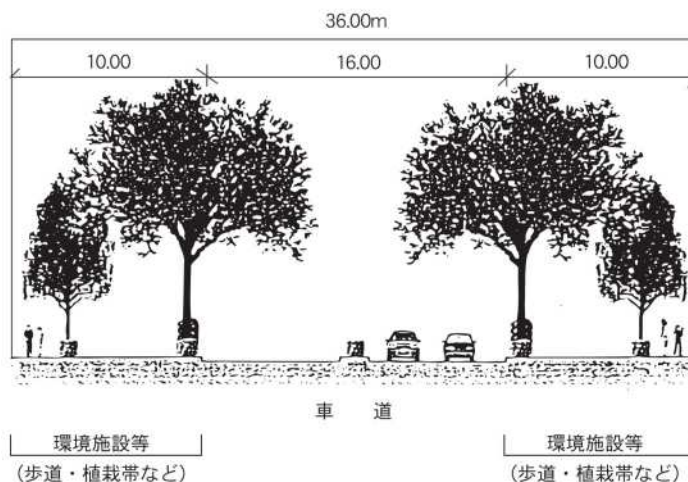


調布保谷線の調布三鷹区間、三鷹武蔵野区間、西東京区間及び府中所沢線の東八道路から多喜窪通りまで（平成 12 年 4 月に道路モノレール建設事務所から移管を受けた路線）は、主に住宅地を通ることから、特に沿道地域の状況に合った質の高い道路整備を目指し、①均衡の取れた都市づくりに寄与する。②交通の円滑化を図る。③沿道環境の保全を図る。ことを基本にして、具体的には、①本線は4車線、原則平面道路とし、幅員 36m とする。②鉄道などは立体交差構造とし、中央分離帯を一定区間連続させ交通の円滑化を図る。③沿道環境を保全するため、歩道・植樹帯・副道で構成する幅員 10m の環境施設帯を設置することとし、順次、都市計画変更を行った。

府中清瀬線は、最後に残る清水が丘地区と是政橋の取付部等が事業中である。

府中所沢線は、当所管内は完成している。

標準横断面図



【調布保谷線】

本路線は、稲城市矢野口を起点とし、稲城市・調布市・三鷹市・武蔵野市及び西東京市の埼玉県境までの区間、延長約 14.2 kmの南北幹線道路であり、うち当所管内は 13.5 kmである。

このうち、調布地区の多摩川原橋北詰から旧甲州街道までの区間延長約 1.6 kmの区間については、計画幅員 25mで、平成 2 年 3 月から 3 区間に分けて事業着手し、平成 15 年 3 月には、踏切すいすい事業第一号の「調布鶴川陸橋」の交通開放を行った。平成 24 年 8 月に、連続立体交差事業により、京王線が地下化されたため、この陸橋を撤去し、平面道路として舗装工事を実施している。

武蔵野地区のうち、武蔵野 3・4・3 号線（井ノ頭通り）と武蔵野 3・4・10 号線（五日市街道）の区間延長 660m、計画幅員 25mについて、昭和 62 年 6 月事業認可を受け事業に着手、平成 11 年 5 月交通開放を行った。

また、西東京地区のうち武蔵野 3・1・12 号線（千川上水）から西東京 3・3・3 号線（青梅街道）の区間延長約 370m、計画幅員 25mについて、平成元年 6 月事業認可を受け、事業に着手、平成 14 年度完了した。

道路モノレール建設事務所から引き継いだ路線のうち、調布・三鷹区間については、平成 11 年 6 月 8 日に事業認可を受け事業に着手し、平成 21 年 3 月 29 日に約 2.0 km区間を 4 車線で交通開放した。

三鷹・武蔵野区間については環境アセスメントの見解書の説明会を平成 12 年 2 月に行い、平成 12 年 10 月 3 日の都市計画変更後、平成 14 年 7 月 3 日に事業認可を受け、平成 22 年度に工事着手した。平成 24 年度には、全区間を暫定 2 車線で交通開放した。さらに平成 27 年 2 月に JR 中央線付近から北側南区間の 800m、これにつづく 300mを平成 28 年 10 月に 4 車線化を実施した。

西東京区間のうち、西東京 3・5・4 号線（新青梅街道）から埼玉県境までの区間延長約 3.1 kmについては、平成 12 年 11 月 7 日事業認可を受け、平成 21 年度に工事に着手し、残る 0.8 kmについては、都立東伏見公園との連携を図りながら、平成 14 年 1 月 10 日に事業認可を受け、平成 18 年度から工事に着手した。

平成 25 年 4 月 21 日に、西東京 3・3・3 号線（青梅街道）から一般都道 233 号までの約 1.9 km区間を 4 車線で、一般都道 233 号から西東京 3・4・11 号線までの約 0.1 kmを暫定 2 車線で交通開放した。

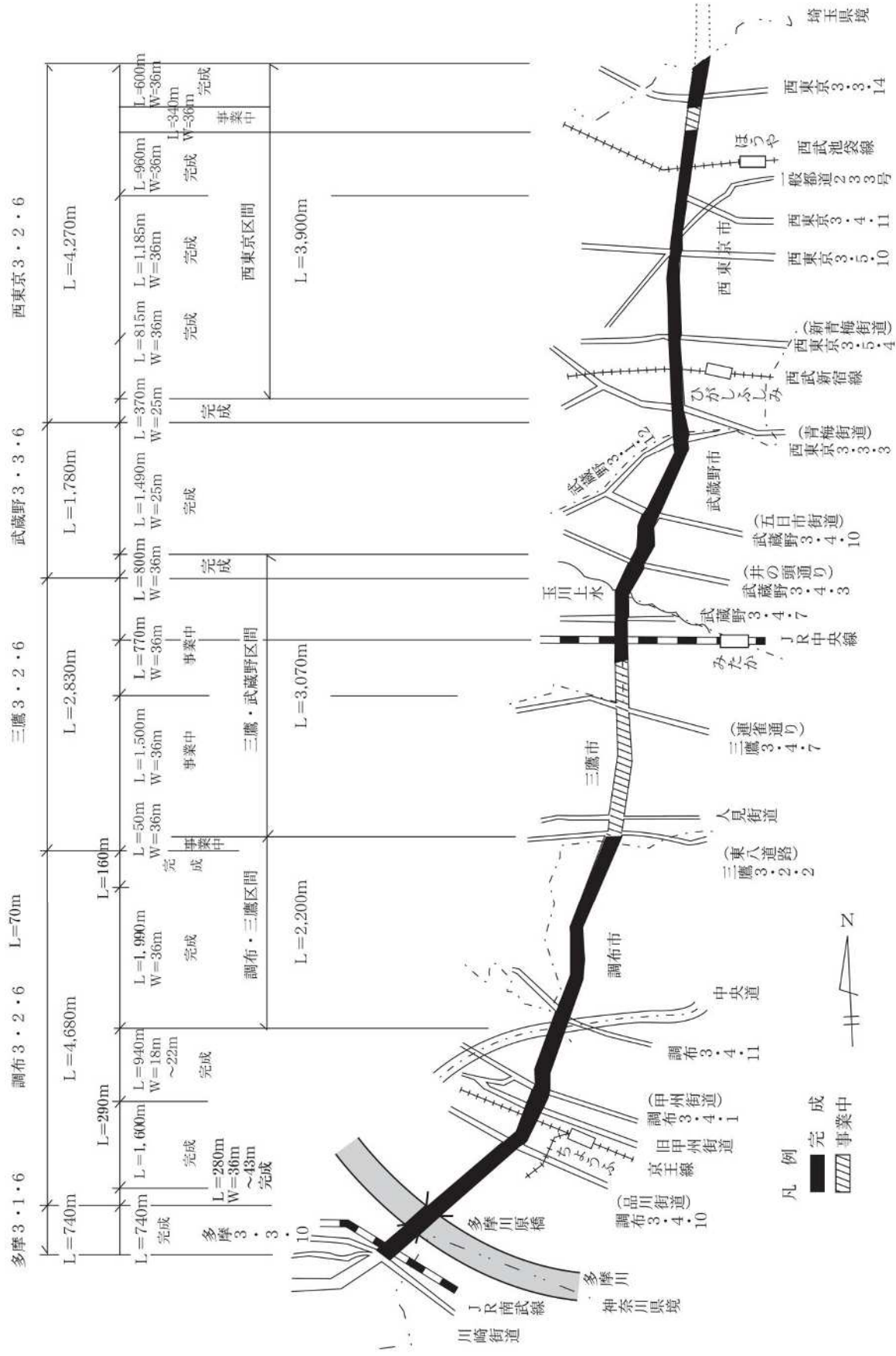
平成 27 年 3 月 19 日に、西東京 3・4・11 号線から西東京 3・4・13 号線までの西武池袋線立体部（アンダーパス）を含む約 0.9 km区間を 4 車線で交通開放した。

平成 27 年 8 月 2 日に、続く西東京 3・4・13 号線から埼玉県境までの約 1.0 km区間を暫定 2 車で交通開放を行い、調布保谷線全線での交通開放となった。

令和2年3月31日現在

調布保谷線の整備状況						
路線名	計画延長m	完成延長m	完成率%	事業中延長	未着手延長	備考
多摩 3・1・6	740	740	100.0	—	0	南東建施工
調布 3・2・6	4,680	4,680	100.0	0	0	北南建施工
三鷹 3・2・6	2,830	510	18.0	2,320	0	
武蔵野 3・3・6	1,780	1,780	100.0	0	0	
西東京 3・2・6	4,270	3,320	77.8	950	0	
計	14,300	11,030	77.1	3,270	0	
(北南建分)	13,560	10,290	75.9	3,270	0	

調布保谷線概要図



③ 調布都市計画道路 3・2・6号線（調布保谷線）

三鷹都市計画道路 3・2・6号線（調布保谷線）

当区間は、中央自動車道から東京八王子線交差点までの区間延長約2,200mで、計画幅員18mを変更し、南北幹線道路として初めて計画幅員36mとする路線であり、平成8年1月都市計画変更案・環境影響評価書案の説明会を、10月に見解書の説明会を実施し、平成9年4月、府中3・3・8号と同時に都市計画変更を行った。

平成9年6月事業概要説明会を実施、平成10年2月測量説明会を開催、現況測量に着手し、同年6月及び10月に地権者等に2回にわたる個別相談会を実施し、用地測量に着手した。

地元住民団体と事業化に向けて20数回の話し合いを行った後、平成11年6月に事業認可を受け事業に着手した。

平成13年度には、環境施設帯を整備するにあたり、住民参加型による道づくりに取り組むため、広く公募をかけて調布市及び三鷹市の市民を対象とした協議会を8月より始めた。

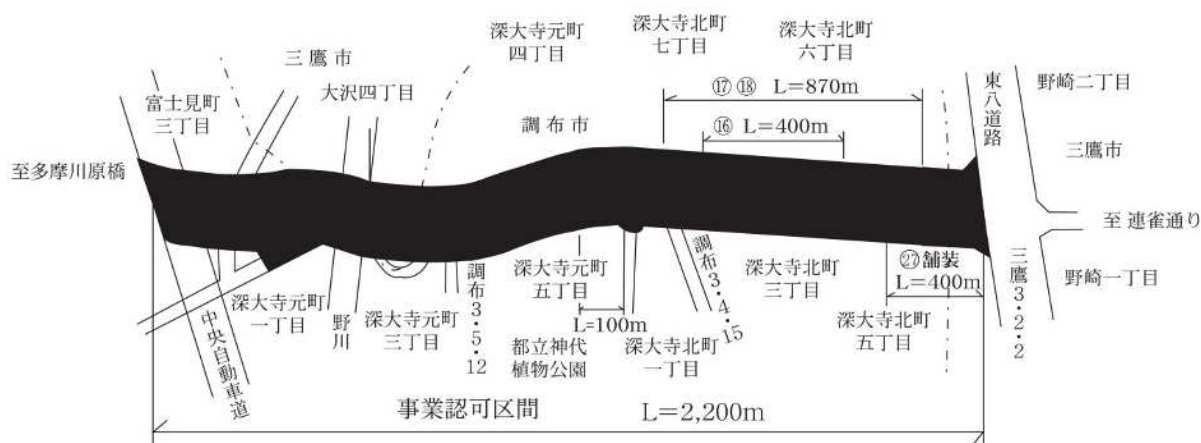
この協議会は、基本的に環境施設帯の整備についてワークショップの手法を用いて住民のさまざまな意見を集約していく方法で進めてきた。平成13年度は全7回の協議会を開催し、環境施設帯のモデル整備案の検討や全体ゾーニング案を作成し、モデル整備案に基づき、現場にモデル施設を整備した。

平成14年度は引き続き協議会を3回開催し、計10回の協議会を行い、モデル施設の検証や残った課題等々についての協議を行い、合意形成を図った。

工事は平成15年度から着手し、平成19年3月30日には、神代植物公園北交差点から都立調布北高校までの約870m区間が、36m全幅で完成し、平成21年3月29日には、約2.0km区間の完成記念式典を開催し、4車線で交通開放した。東八道路側一部区間の工事が平成28年度に完成し、平成28年8月25日にアセス手続きである工事完了届を提出した。

〔用地〕

平成11年度から用地取得に着手し、平成23年度に用地取得を完了した。



④ 三鷹都市計画道路3・2・6号線（調布保谷線）

武蔵野都市計画道路3・3・6号線（調布保谷線）

当路線は、東京八王子線からJR中央線の連続立体交差事業箇所を越え、武蔵野3・4・3号線（井ノ頭通り）までの区間延長約3,100m、当初の都市計画幅員は25mの路線である。

平成7年7月に三鷹・武蔵野両市に整備方針と整備概念図を説明し同意を得て、計画幅員36mとして、平成10年2月に変更素案の説明会を行い、平成11年5月都市計画変更案及び環境影響評価書案の説明会を、平成12年2月には見解書の説明会を実施し、平成12年10月に計画幅員25mから36mの都市計画変更を行った。

平成12年10月に測量説明会を開催、同年11月～12月に個別相談会を行うとともに現況測量を実施し、平成13年度においても個別相談会を実施するとともに用地測量を完了した。

平成21年度から22年度にかけて、沿道地権者を対象とした協議会を開催するとともに、三鷹、武蔵野市と連携して広く市民に事業の広報を行った。また平成20年度から22年度にかけて、用地取得箇所環境施設帯のモデル整備を実施した。

さらに平成21年5月には、文化庁玉川上水横断部の現状変更許可申請を行い、同年6月に許可を受け、架橋工事に着手し、平成22年度末に完了した。

平成24年度は、連雀通りから新道北通りまで、一方通行区間0.5km、武蔵野3・4・7号線から井ノ頭通りまでの新設区間0.6kmを含め、全区間を暫定2車線で交通開放し、事業効果の早期発現を図った。

平成26年度は、JR中央線付近から北側800m区間について、平成27年2月に4車線化を実施した。

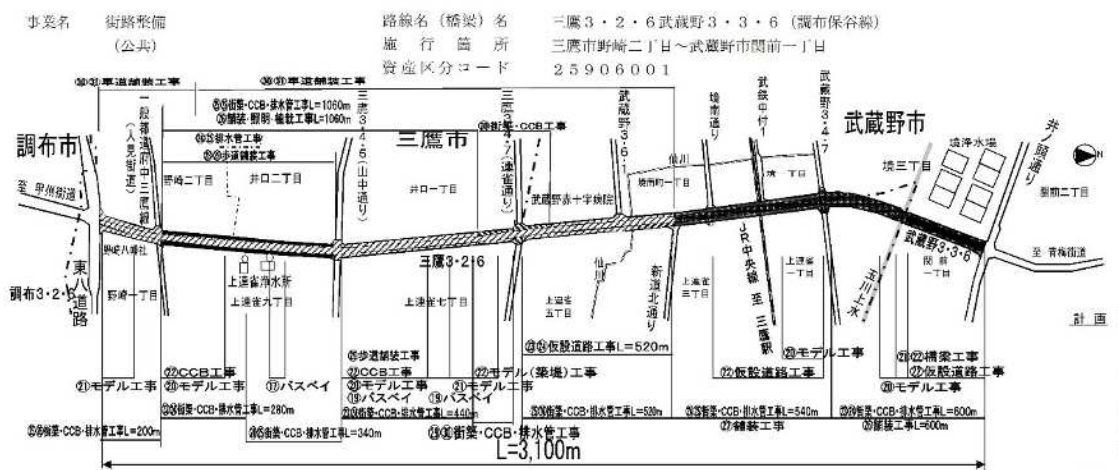
JR中央線付近から南側300m区間について平成27年度から引き続き工事を行い、平成28年10月に四車線化を実施した。

平成29～30年度に、連雀通りと交差する塚交差点部の工事を行い、平成30年度より東へ道路交差点付近の工事を進め、令和元年度には、三鷹・武蔵野区間の四車線化を実施した。今年度は電線共同溝工事を実施する。

〔用地〕

平成14年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約99%である。

今年度も引き続き用地取得を推進する。



⑤ 西東京都市計画道路 3・2・6号線（調布保谷線）

当区間は、西東京 3・3・3号（青梅街道）から埼玉県境（主 24号）に至る延長約 3,900mで、当初の都市計画幅員は 20mである。

調布保谷線のうち、北多摩地区の北部に位置し、地元西東京市からも早期整備が強く要望され、地元関係地権者からも早期買収要望が多数出されていた。

平成 9年 7月に、計画幅員 36mの都市計画素案の説明会を、平成 10年 1月、都市計画変更案及び環境影響評価書案の説明会を、9月に見解書の実施説明会を実施し、平成 11年 2月に都市計画変更を行った。

同年 5月に測量説明会を開催、現況測量に着手すると共に、地権者等に対する個別相談会を 7月及び 11月に行い、権利者の疑問・要望等に応えることで事業の促進を図った。

用地測量については、①一般都道 233号から埼玉県境（主 24号）までの延長約 2,100mの区間は平成 11年度、②西東京 3・5・4号線から一般都道 233号まで約 1,000mの区間は平成 12年度早期、③西東京 3・3・3号線（青梅街道）から西東京 3・5・4号線（新青梅街道）まで約 800mの区間は、平成 12年度後期の、三期三区間に分割して実施した。

平成 15年 11月に環境施設帯検討協議会を設置し、平成 15年度は 3回、平成 16年度は 2回、計 5回の協議を開催したが、道路計画反対、アセスの見直しについての意見・質問が一部の参加者から繰り返し出され、環境施設帯の整備についての検討が進まず、平成 16年 10月に中断した。本路線の整備促進を図るため、平成 23年度及び 24年度に沿道住民へのアンケート調査を実施し、環境施設帯等の整備形態を決定した。

平成 17年度からは、東伏見・富士町地区及び下保谷地区で仮歩道付の工事用搬入路を設置し、平成 19年度までに、残りの地区において仮歩道及び工事用搬入路を設置した。また、平成 18年度から、石神井川に架かる橋梁工事を進めるとともに、西武新宿線との交差部及び東伏見公園区間のトンネル工事を実施した。平成 21年度に、排水管の設置工事及び西武池袋線との交差部の工事に着手した。

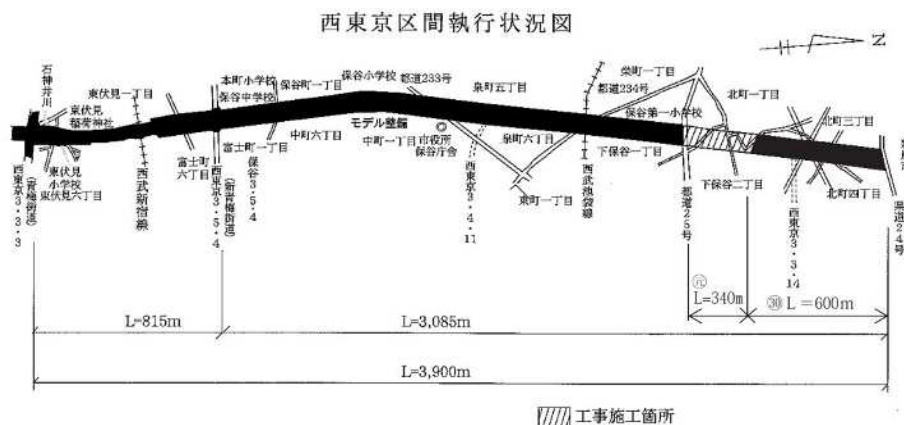
西東京 3・3・3号線から西東京 3・4・11号線までの約 2,000mの区間については、平成 23年度に街路築造工事及び電線共同溝設置工事に着手し、平成 25年 4月 21日に交通開放した。

また、平成 26年度に西東京 3・4・11号線から西東京 3・4・13号線までの 950m区間の交通開放を行い、続く西東京 3・4・13号線から都県境の都道 24号線までの約 950m区間を平成 27年度に交通開放を行った。これにより調布保谷線全線の交通開放となった。今年度は引き続き街路築造工事を行う予定であり、四車線化を推進する。

〔用地〕

平成 12年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約 99%となっている。

今年度も引き続き用地取得を推進する。



【府中清瀬線】

本路線は、府中・小金井・小平・東久留米・清瀬から埼玉県新座市に接続する路線で、多摩南北幹線5路線の一つである。

このうち当所が所管する区間は、府中市から小金井市に至る、是政橋から京王電鉄・JR中央線を越え玉川上水に架かる茜屋橋までの区間延長約6,910mであり、標準幅員は東京八王子線以南が18m、以北が20mである。

管内の事業中箇所は、是政橋の橋梁整備区間620mと清水ヶ丘区間550mの合計1,170mである。

⑥ 府中都市計画道路3・4・7号線（一般都道248号）【是政・清水ヶ丘】

【是政区間】

当該区間のうち、亀里橋以北東の延長約225mについては、平成7年9月に事業認可を受けて街路事業に着手し、平成18年度に事業が完了した。

また、是政から清水ヶ丘の区間900mについては、府中市が「道路整備特別交付金制度」により平成2年度に事業に着手し、平成10年度に整備が完了した。

【用地】

平成7年度から用地取得に着手し、平成17年度に用地取得を完了した。

【清水ヶ丘区間】

当該区間は、昭和48年1月流域下水道北多摩幹線第1号関連事業として事業認可を受け、すでに用地取得の済んだ区間延長320mと一体として京王線アンダー部及び崖部分を整備するため、本路線最後の未着手区間であった、延長約550m、計画幅員22mを平成18年10月事業認可を受け街路事業に着手した。

京王線交差部については、平成16年度から、直上の京王電鉄の軌道、直下の下水道本管への影響を極力少なくするため、下水道局、京王電鉄㈱と緊密な連携を図り、道路構造物と下水道本管防護の一体的な施工方法の検討を進めた。平成21年度から京王電鉄と施行協定を締結して、京王線直下部の工事に着手した。また、交差部のアプローチ部は、北側が平成23年3月、南側が平成23年9月に工事着手した。

事業区間南側の府中崖線部は、平成18年度からトンネル工事に着手した。

崖線部のしみず下トンネル、京王線交差部の清水ヶ丘立体が完成し、平成25年3月24日に、本線を交通開放した。

平成25年度から、側道部の街路築造工事及び電線共同溝工事を進めており、今年度も引き続き、しみず下通りから北側側道部の電線共同溝工事を実施する。

【用地】

平成10年度から用地取得に着手し、平成15年度末に用地取得を完了したが、平成20年度から市道との交差点処理のため増買収を開始し、平成24年度に用地取得は完了した。




計画断面図

22.00		
3.00	16.00	3.00
歩道	車道	歩道

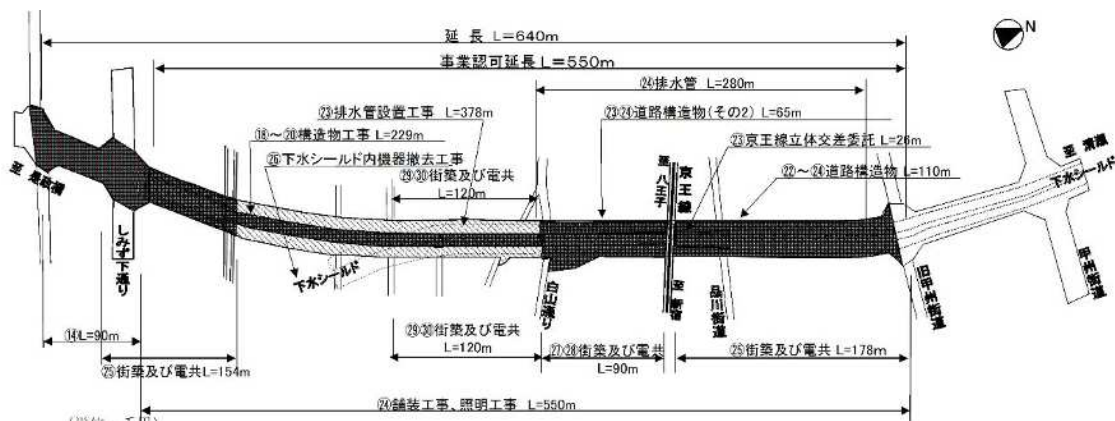
計画断面図

18.00		
3.50	11.00	3.50
歩道	車道	歩道

凡 例

 供用開始区間又は交通開放区間

 工事施工箇所



【府中所沢線】

本路線は、関戸橋を起点として、府中市・国分寺市・小平市及び東村山市を経て埼玉県境に至る延長約 13.6 kmの南北幹線道路であり、当所管内は、関戸橋から国分寺3・4・3号線（多喜窪通り）までの4.4 kmである。

国道 20 号（甲州街道）から東八道路までは、平成 11 年 7 月に東八道路と一体的に開放した。

東八道路から多喜窪通り間は、多摩地域で初めて環境施設帯を設けた道路として、平成 17 年 4 月 23 日に交通開放し、北南管内は 100%完成した。

また、平成 30 年度に環境影響評価条例に基づく工事の完了後の事後調査報告書（その 2）を提出し、全てのアセス条例手続きを完了した。

ウ) 一般の街路整備

⑦ 武蔵野都市計画道路 3・4・24 号線（一般都道 123 号）

本路線は、武蔵野市西部を南北に横断する幹線道路で、都が施行する連続立体交差事業と合わせて本路線を拡幅整備することにより、南北方向の相互交通を可能にするとともに、歩行者の安全を確保する。

区間は、アジア大学通り（武蔵野 3・4・7）から J R 中央線、西武多摩川線を越え、連雀通りまでの延長約 1,100m で、アジア大学通りから武蔵野 3・4・2 号線の I 期区間延長約 480 m については、鉄道交差部が踏切で、北側への一方通行であり渋滞が発生する箇所であった。

平成 13 年 12 月に事業説明会と現況測量、平成 14 年度用地測量を行い平成 15 年 3 月に事業認可を受け、平成 15 年度から事業に着手した。

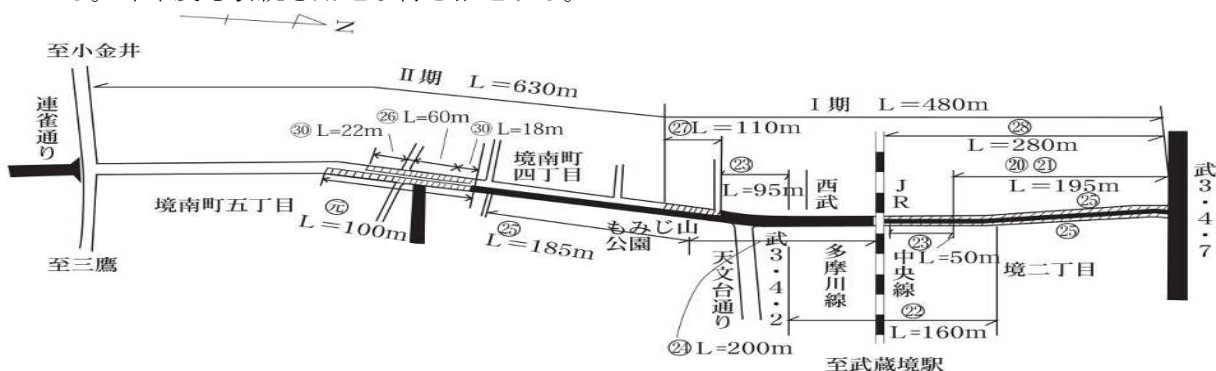
平成 25 年 2 月 22 日に、北行一方通行を解消し 2 車線相互通行化した。

残り武蔵野 3・4・2 号線から連雀通りの延長約 630m については、平成 15 年 3 月に事業説明、平成 15 年 5 月に測量に着手、平成 18 年 11 月に道路区域の変更告示を行い、事業に着手した。

今年度は、II 期区間の企業者工事を予定している。

【用地】

I 期区間は、平成 15 年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約 95% であり、II 期区間は、平成 18 年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約 64% となっている。今年度も引き続き用地取得を推進する。



凡 例

■ 供用開始区間又は交通開放区間

▨ 工事施行箇所

計画断面図



⑧ 府中3・4・5号線（新奥多摩街道線）

国立3・4・5号線（国立青梅線）

本路線は、多摩地域における東西ネットワークを形成する主要幹線道路である。

事業区間は、東京八王子線（府中3・2・2の2号線）に接続する府中市西原町三丁目から国立市道・さくら通り（国立市富士見台一丁目）までの延長約360mである。

本区間の整備により、生活道路に進入する通過交通の排除による地域の安全性向上や、災害時の避難路確保及び延焼防止等防災面の向上が期待される。

平成24年7月に事業説明会を行い、平成24年度に現況測量及び用地測量を実施し、平成25年7月3日事業認可を取得し、事業に着手した。

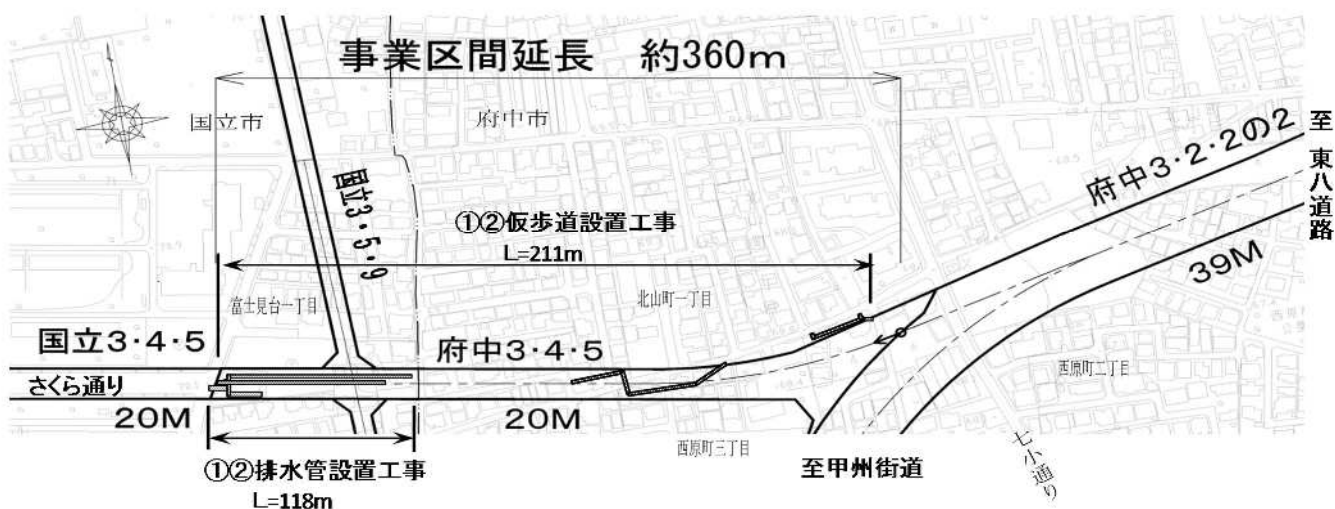
今年度、さくら通り～市境付近までの排水管工事を施工する。

また、歩行者・自転車の安全な通行を確保するため、事業区間内の用地を利用し、歩道の暫定的な整備を行う。

〔用地〕

平成25年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は71%である。

今年度も引き続き用地取得を推進する。



計画断面図

20.0		
3.0	14.0	3.0
歩道	車道	歩道

⑨ 小金井都市計画道路 3・4・3号線（一般都道 134号、連雀通り）

当事業は、JR中央線の南側に位置し、新旧小金井街道を連絡する路線である。

沿道には、小金井警察署・都立小金井工業高校・及び小金井市役所等があり、主要なバス路線でもある交通需要の高い区間である。

小金井街道との交差点部延長 255mは、すいすいプラン 100 の交差点改良事業として整備済である。以西 520mについて、計画幅員 16m で平成 9 年 3 月事業認可を受け拡幅整備事業を行っている。

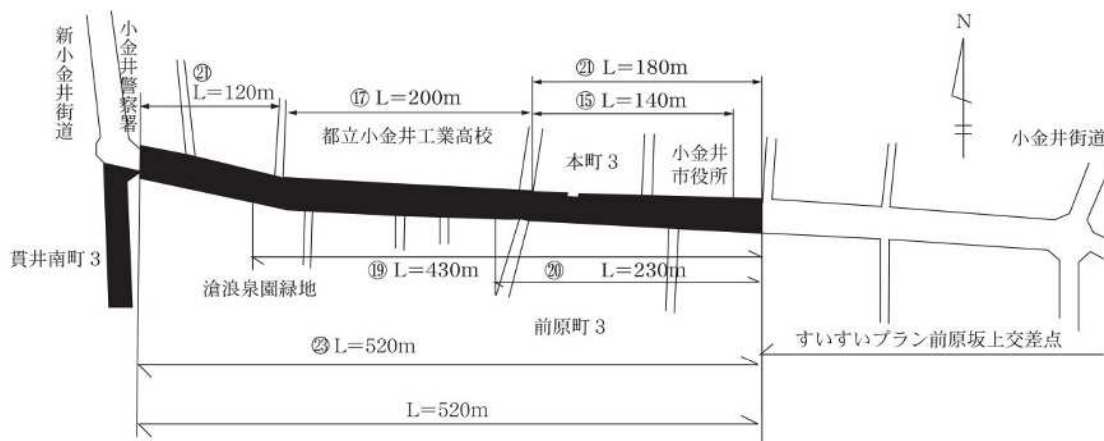
平成 15 年度に工事に着手し、街路築造工事と電線共同溝工事を実施してきた。

平成 22 年度は、事業区間延長 520m で一部箇所を除き歩道舗装工事を実施した。

平成 27 年度に未買収地の一部区間をのぞき、管理部門への引き継ぎが完了した。

〔用地〕

平成 9 年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約 99% となっている。



計画断面図

16.00		
3.50	9.00	3.50
歩道	車道	歩道

凡 例

■ 供用開始区間又は交通開放区間

⑩ 小金井都市計画道路3・4・11号線（一般都道247号）

当路線のうち、小金井3・4・1号線（連雀通り）からJR中央線東小金井駅西側を越え、小金井3・1・6号線（玉川上水、関野橋）延長2,000m、計画幅員18mの区間について事業を計画した。

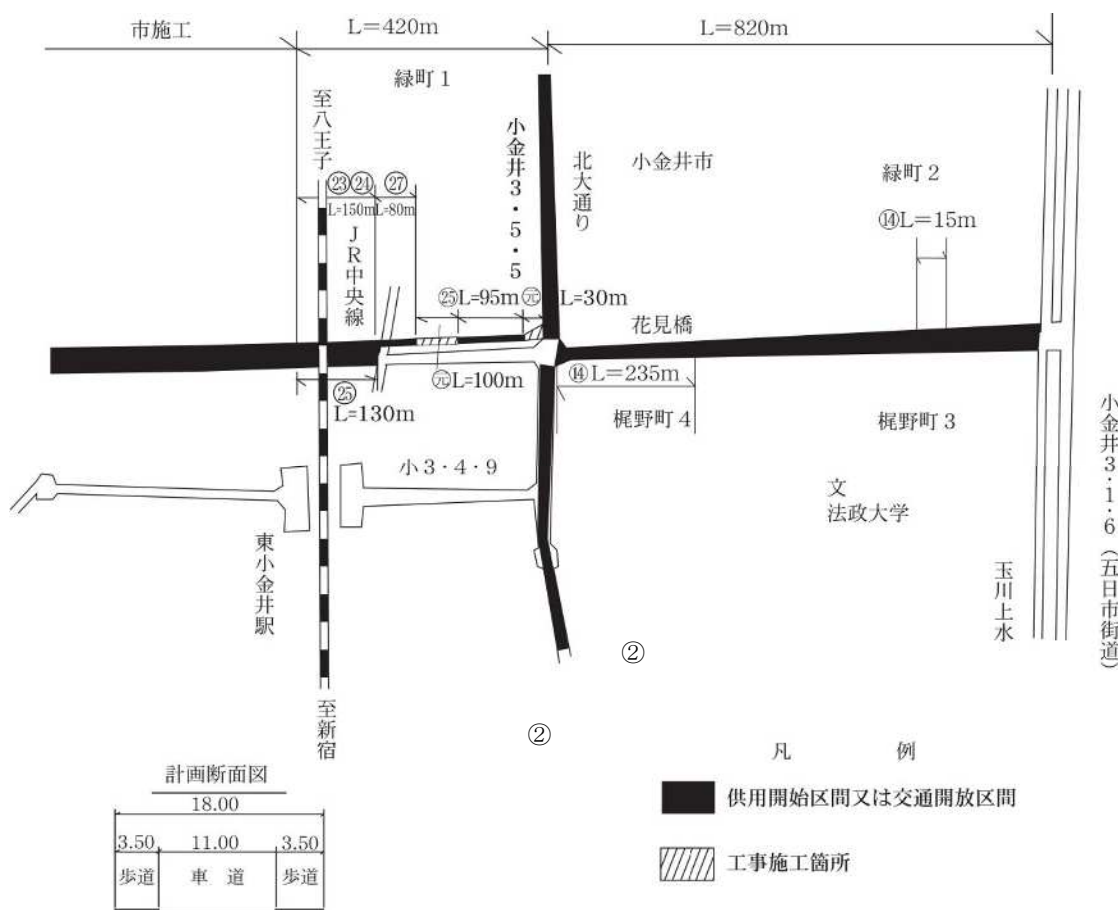
連雀通りからJR中央線南側の延長800mについては、「道路整備特別交付金制度」に基づき小金井市が平成2年に事業に着手し、平成10年2月供用開始を行っており、残り1,200mのうち、小金井3・5・5号線（小金井市道北大通り）から玉川上水関野橋の区間延長820mについては、昭和60年12月事業認可を受け事業着手、平成14年度は、北大通り側235mと関野橋側15mを効果満点道路事業に位置づけ工事を実施し、事業を完了させた。

JR中央線～小金井市道北大通りの区間420mについては、JR中央線連続立体交差事業の関連工事とし、地元商店街をはじめ小金井市長からも整備促進について要望が出されていることから、平成16年11月29日に事業説明会を行い、現況測量に着手、平成17年度に用地測量を実施し、平成18年9月27日に事業認可を取得した。

平成24年4月9日にはJR中央線前後の南行一方通行区間について、2車線相互通行化した。今年度は、用地取得状況により西側130m区間について街路築造工事を予定している。

〔用地〕

平成18年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約92%となっている。



⑪ 小金井都市計画道路3・4・13号線（主15号、小金井街道）

当事業は、JR中央線武蔵小金井駅北口広場から小金井3・5・5号線（小金井市道北大通り）までの区間延長400m、計画幅員16mで平成10年7月事業認可を受け拡幅整備事業を行っている。

武蔵小金井駅前北側60mは効果満点道路事業に位置づけ、平成15年度に右折ポケットを整備し、平成18年度は、北側・延長160mの街築及び電線共同溝を整備した。

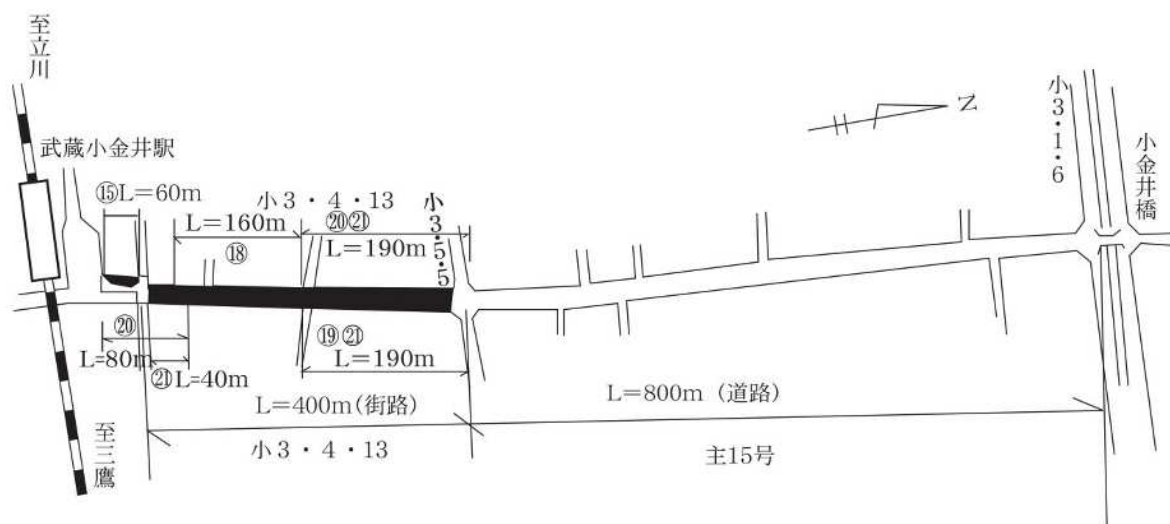
平成19年度～20年度は、北側の延長190mと武蔵小金井駅側の80mで街路築造工事と電線共同溝工事を実施した。

平成21年度は、北側の延長190mと武蔵小金井駅側の40mで歩道舗装工事を実施した。

〔用地〕

平成10年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約97%となっている。

今年度も引き続き用地取得を推進する。



計画断面図



凡 例

■ 供用開始区間又は交通開放区間

⑫ 調布都市計画道路3・4・11号線（佐須街道）

本路線は、調布3・4・26号線（三鷹通り）から調布3・2・6号線（武蔵境通り）の調布市道（佐須街道）延長950mを計画幅員16mに拡幅するもので、調布保谷線の整備により増加する交通量の受け皿となる道路として調布保谷線と一体的に整備するものである。また、「東京都防災都市づくり推進計画」において延焼遮断帯に位置付けられており、避難や救援、救護などの防災活動空間としての機能強化が図れる。

当該区間は、平成16年7月に事業説明会を行い、現況測量に着手し、引き続き用地測量を平成17年度に測量区間を野川に架かる又住橋の以西と以東に分け、用地測量説明会と個別相談会を行い実施し、平成18年11月24日に事業認可を取得した。

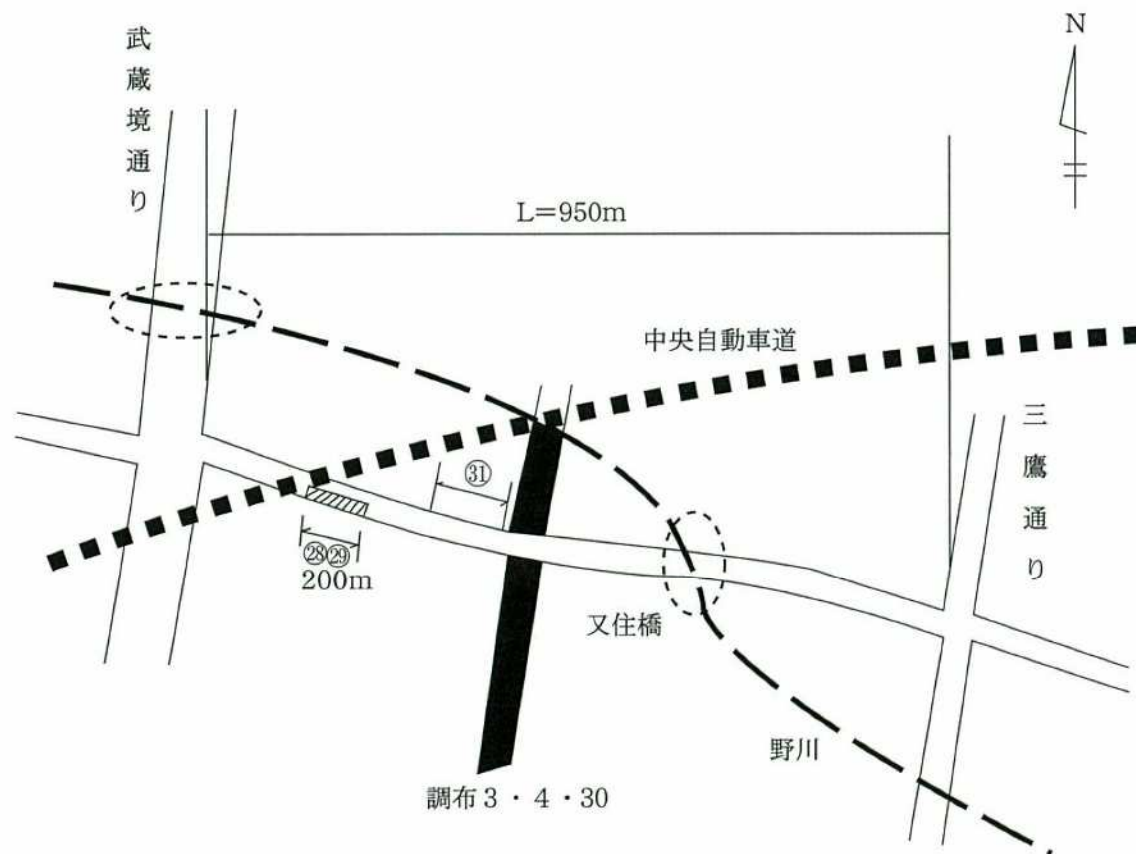
平成28年度より、中央自動車道付近から東側区間の排水管設置工事を実施している。

今年度も引き続き、排水管設置工事を行う予定である。

〔用地〕

平成18年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約84%となっている。

今年度も引き続き用地取得を推進する。



凡 例

- 供用開始区間又は交通開放区間
- 工事施工箇所

⑬ 調布都市計画道路 3・4・17 号線（一般都道 114 号）

本路線は、多摩水道橋取付部（狛江市元和泉三丁目）から三鷹市境（調布市緑ヶ丘二丁目）の区間延長約 5,070m、計画幅員 16m であり、外かく環状線交差付近延長 680m を残し、事業を行っている。

【Ⅰ期区間】

本区間は、甲州街道（調布市仙川町一丁目）交差点から一般都道 118 号（調布市仙川町三丁目）交差点までの区間延長 530m で、平成 4 年 7 月事業認可を受け、新設整備事業を実施した。

京王線跨線部については、京王電鉄㈱と平成 8 年 10 月基本協定を結び事業に着手し、平成 12 年度に完了（委託事業：おらほ橋）した。

なお、京王線南側の一部、延長 160m の区間については、平成 9 年度に完成し、おらほ橋南側 100m 区間と国道 20 号との接続部 20m は、平成 14 年度工事により完成している。

平成 17 年度に、残る 167 m の区間の街築工事を施行し、平成 19 年度に歩道工事を実施して、事業を完了した。

〔用地〕

平成 5 年度から用地取得に着手し、平成 17 年度末に用地取得を完了した。

【Ⅱ期区間】

本区間は、一般都道 118 号（調布市仙川町三丁目）交差点から調布 3・4・10 号線（調布市若葉町）交差点付近の延長 645m について、平成 9 年 11 月事業認可を受け新設整備事業を行っている。

北側 300m 区間については、平成 14 年度に交通開放し、調布 3・4・10 号線までの南側約 300m 区間については、平成 29 年 5 月 21 日に交通開放した。

〔用地〕

平成 10 年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約 97% となっている。



【Ⅲ期区間】

本区間は、調布3・4・3号線（多摩水道橋取り付け部、狛江市元和泉三丁目）から調布3・4・4号線（狛江市元和泉二丁目）交差点付近までの延長650mで、昭和37年12月都市計画決定された、和多摩川緑地（面積20.3ヘクタール）の中に計画されている。

長期間にわたり地元反対グループとの協議が行われ、地元狛江市の協力を得て、計画幅員16mの幅員構成についても車道7m、歩道各4.5mで妥結、平成8年3月事業説明会を行った。

測量調査については、財団法人東京都新都市建設公社に委託して行い、平成8年度現況測量、平成9年度用地測量を実施した。

平成10年9月用地説明会を行い、平成12年1月事業認可を受けた。

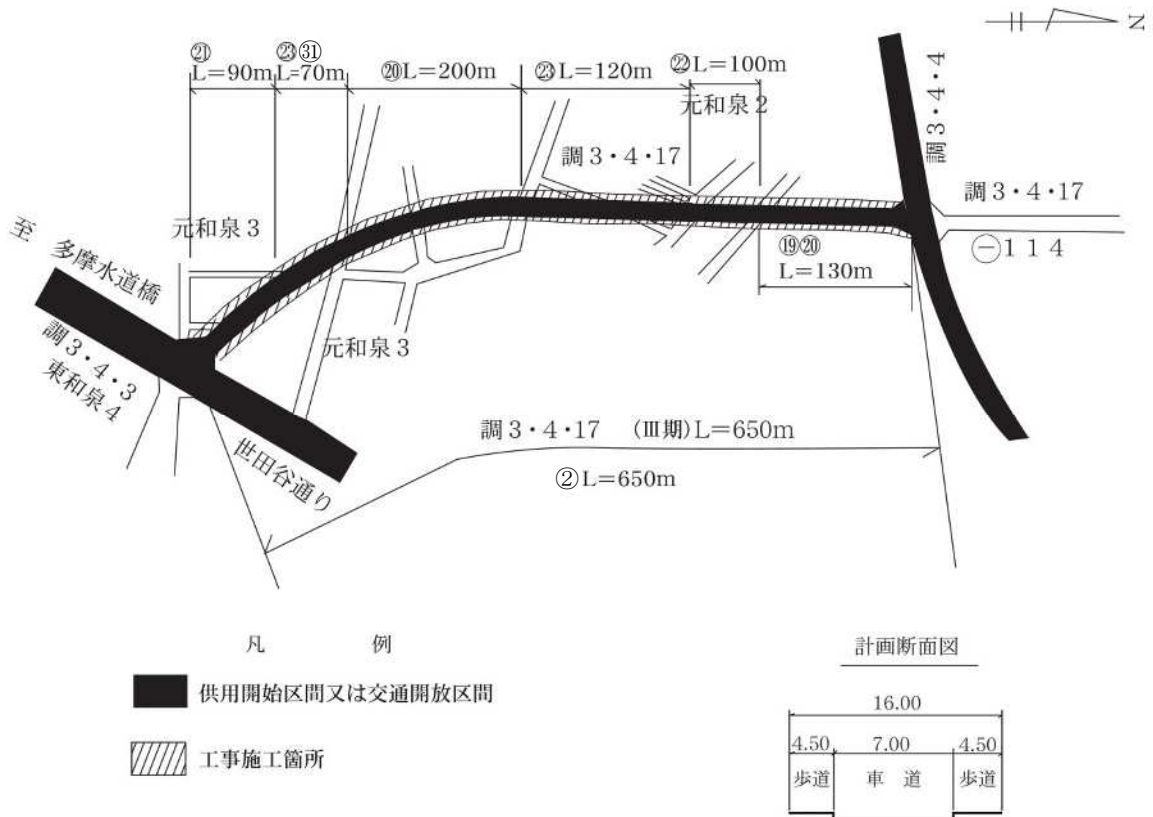
平成19年度から、調布3・4・4号線から南側・延長130mの街築及び擁壁設置の工事に着手した。

平成24年12月1日に、一部区間を暫定整備として、650m全線を交通開放した。

平成31年度は、一部未整備となっていた140m区間の街路築造工事及び電線共同溝工事が完了。今年度は、歩道本舗装工事を行う予定である。

〔用地〕

平成10年度から用地取得に着手し、平成29年度末に用地取得を完了した。



【IV期区間】

本区間は、調布3・4・18号線（狛江市和泉本町三丁目）松原交差点から調布3・4・9号（調布市西つつじヶ丘四丁目）交差点までの延長1,470mで、『多摩地域に於ける道路事業用地の（財）新都市建設公社委託』の事業として平成3年度委託測量調査を行い、平成11年度及び12年度取得済区間の一部について、引継ぎをうけ工事に着手している路線である。

平成16年度までに、野川大橋の架替工事を残し街築工事を完成している。

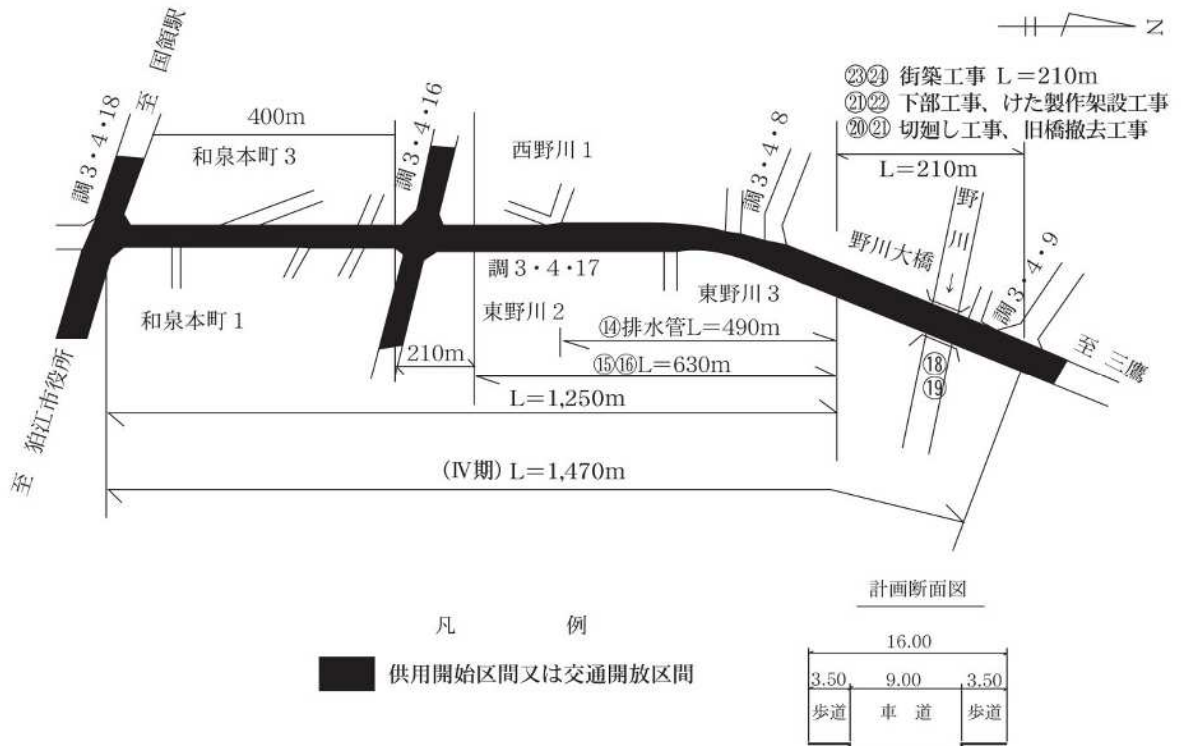
平成19年度は、野川大橋架替工事のうち平成18年度より施工中の上流側下部工事と、けた製作架設及び上部仕上げ工事を実施した。

平成20年度から平成22年度にかけて、下流側下部工事とけた製作架設工事を実施した。

平成24年度に橋梁及び取付区間の街路築造が完成し、事業が完了した。

〔用地〕

平成5年度から用地取得に着手し、平成19年度に用地取得を完了した。



⑭ 調布都市計画道路 3・4・17 号線

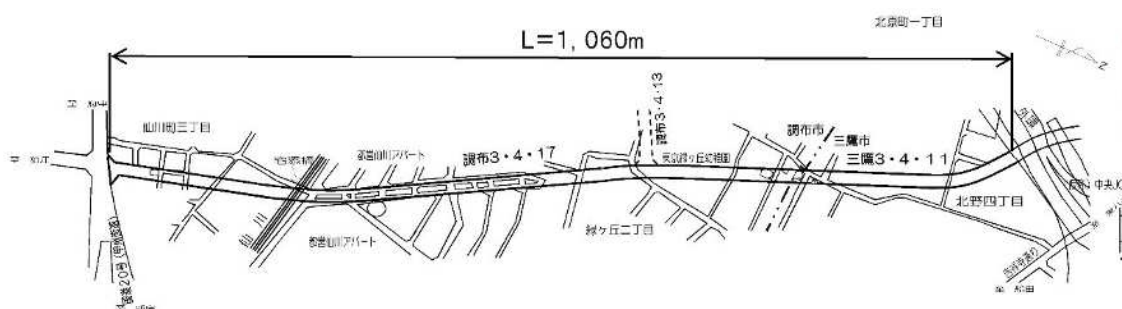
三鷹都市計画道路 3・4・11 号線

本路線は、甲州街道（調布市仙川町三丁目）から東京外かく環状道路（三鷹市北野四丁目）に至る区間延長 1,060m、計画幅員 16m～16.5m の都市計画道路であり、多摩地域における南北方向の道路ネットワークが強化されるとともに、東京外かく環状道路へのアクセス強化が図られる路線である。

平成 25 年 2 月に事業概要及び測量説明会を開催して、平成 25・26 年度に用地測量を実施し、平成 28 年 2 月事業認可を取得した。

〔用地〕

平成 28 年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約 20% である。



⑮ 調布都市計画道路 3・4・18 号線

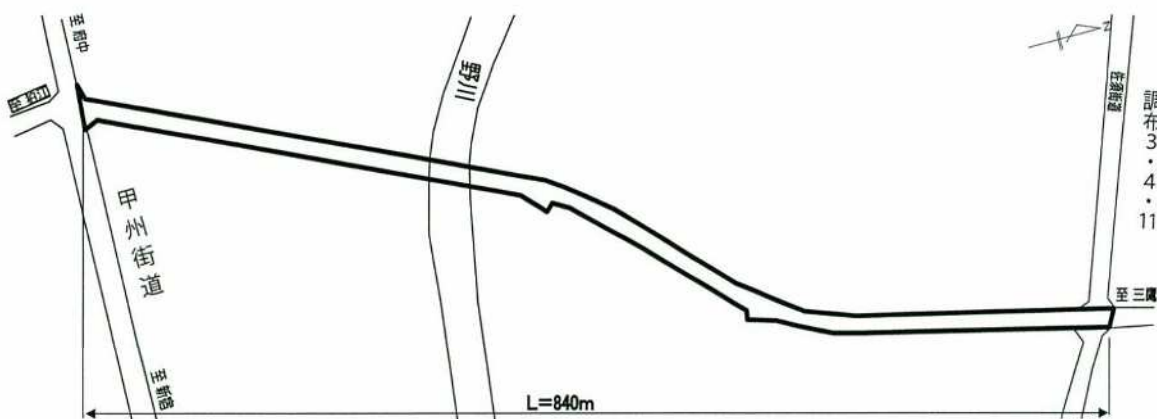
本路線は、甲州街道（調布市八雲台二丁目）から神代植物公園通り（調布市深大寺南町三丁目）に至る区間延長約 1,580m、計画幅員 16m の都市計画道路であり、多摩地域における南北方向の道路ネットワークが強化されるとともに、東京外かく環状道路へのアクセス強化が図られる路線である。

【I 期区間】

本区間は、甲州街道（調布市八雲台二丁目）から調布 3・4・11 号線（調布市柴崎一丁目）交差点部までの区間延長約 840m で、平成 25 年 10 月に事業概要及び測量説明会を開催して、平成 26・27 年度に用地測量を実施し、平成 28 年 2 月事業認可を取得し、事業に着手した。

〔用地〕

平成 28 年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約 22% となっている。



計 画
16.00

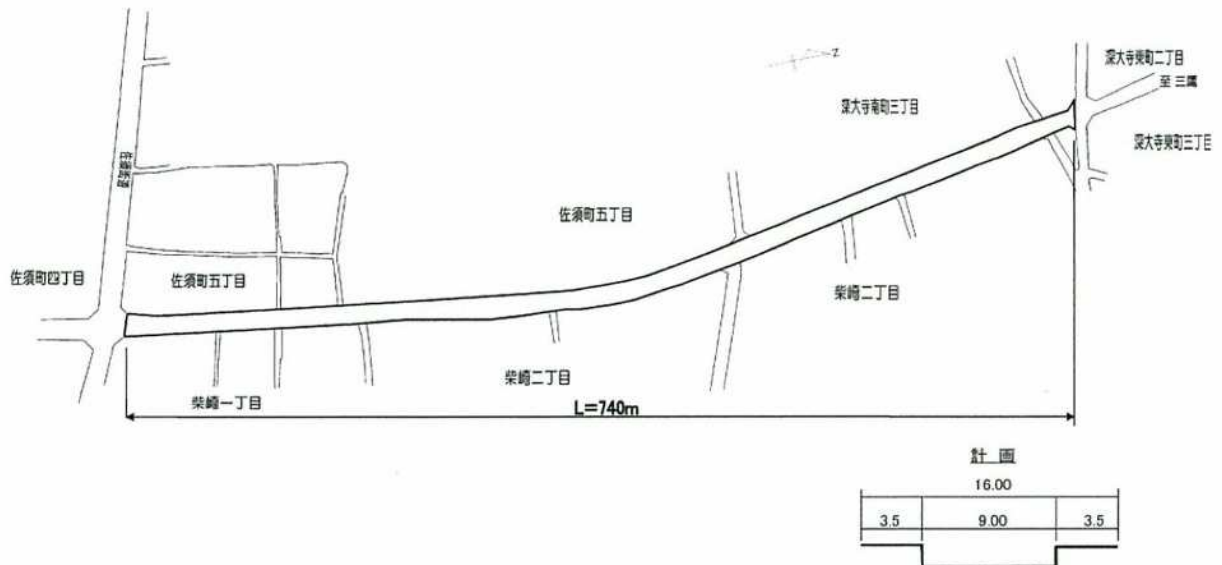
3.50	9.00	3.50
------	------	------

【Ⅱ期区間】

本区間は、調布3・4・11号線（調布市柴崎一丁目）交差点から神代植物公園通り（調布市深大寺南町三丁目）交差点部までの区間延長約740mで、平成25年10月に事業概要及び測量説明会を開催して、平成26・27年度に用地測量を実施し、平成28年12月事業認可を取得し、事業に着手した。

〔用地〕

平成29年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約4%となっている。



⑩ 西東京都市計画道路 3・3・14 号線

本路線は、区部の放射第 7 号線の延伸部であり、多摩北部地域（西東京市、東久留米市、清瀬市）を経て、埼玉県所沢市に至る骨格幹線道路である。

本路線のうち、放射第 7 号線は第四建設事務所において事業中、東久留米市及び清瀬市内は北多摩北部建設事務所において、埼玉県内は埼玉県朝霞県土整備事務所において、それぞれ事業中及び一部事業準備中となっている。

当所では、管内である西東京市内において、西東京 3・2・6 号線（調布保谷線）を中心に東側放射第 7 号線までをⅠ期、西側埼玉県境までをⅡ期とし、段階的に整備を進めている。

【Ⅰ期区間】

Ⅰ期区間は、練馬区境から調布保谷線までの延長約 570m、計画幅員 25m であり、本路線の整備については、周辺地域の開発状況を勘案し、当面片側 1 車線＋停車帯として整備することとした。

平成 11 年 11 月事業説明会を行い現況測量に着手し、平成 12 年度用地測量を実施して、平成 15 年 1 月 10 日事業認可を取得した。

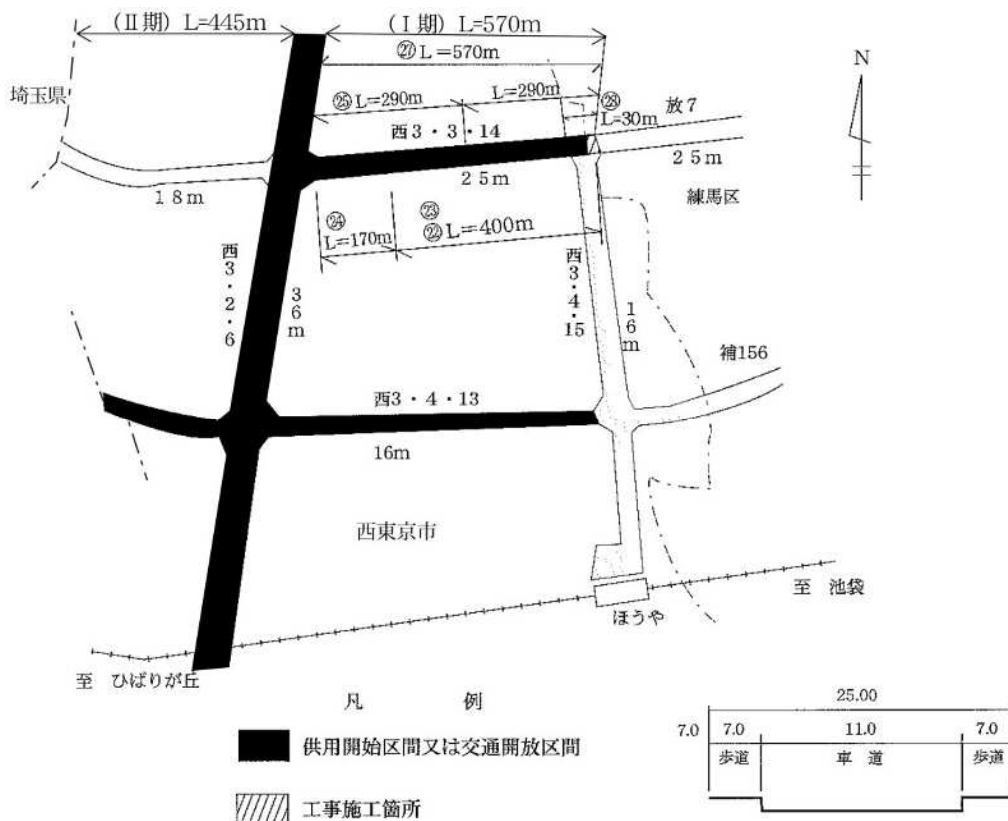
平成 22 年度に、練馬区境から約 400 m 区間の排水管設置工事を実施し、23 年度は同区間の電線共同溝工事を実施した。平成 24 年度は、残る西側 170 m 区間の排水管及び電線共同溝工事を実施した。

平成 25 年度は、西側 290m 区間の街築工事を実施し、平成 27 年度に残る街築工事及び車道舗装工事を完了し、交通開放を行った。平成 29 年度に東側交差点部の暫定整備を実施し、事業を完了した。

なお、区境の東側交差点については、接続する放射第 7 号線の工事で整備する。

〔用地〕

平成 14 年度から用地取得に着手し、平成 24 年度に用地取得を完了した。



【Ⅱ期区間】

本区間は、調布保谷線から埼玉県境に至る延長約 445m、幅員 18mであり、接続する埼玉県施行の新座 3・4・10 号線と整合を図り、一体的に事業を推進する。

平成 28 年 6 月に事業説明会を行い現況測量に着手し、平成 29 年度に用地測量を実施し、平成 30 年 3 月 22 日に事業認可を取得し、事業に着手した。

〔用地〕

平成 30 年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約 2%となっている。

⑰ 西東京 3・4・9 号線（保谷東村山線）

本路線は、西東京 3・4・16 号線（西東京市中町四丁目）から、調布保谷線と交差し、東久留米市境（西東京市北原町二丁目）に至る延長約 3.4km の都市計画道路であり、北多摩北部建設事務所管内に入り、東村山 3・4・11 号線として埼玉県境まで続く地域幹線道路である。

本路線の整備により、調布保谷線と接続する新たなネットワークが形成され、所沢街道の交通の円滑化や北原交差点の渋滞緩和が図られるとともに、広域避難場所（東大生態調和農学機構（旧農場）・田無演習林等）へのアクセス性等、地域の防災性が向上する。

【Ⅰ期区間】

本区間は、西東京 3・4・20 号線（西東京市北原町二丁目）から東久留米市境までの延長 1,380m である。

平成 21 年 2 月に事業概要説明会を行い、平成 20 年度に現況測量、平成 21 年度に用地測量を実施し、平成 23 年 9 月 28 日に事業認可を受けた。

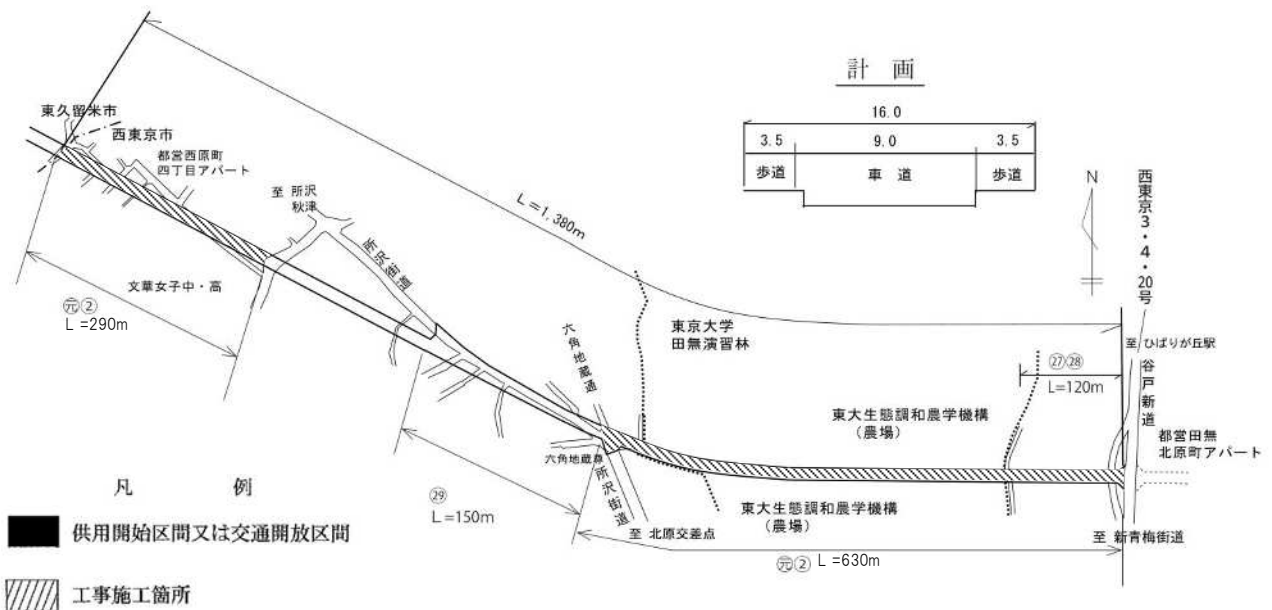
平成 27 年度から排水施設工事を実施している。

今年度は、西東京 3・4・20 号線から所沢街道までの 630m 区間及び東久留米市境から東側 290m 区間について、街路築造工事及び電線共同溝設置工事を施工中である。

〔用地〕

平成 23 年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約 84%である。

今年度も引き続き用地取得を推進する。



【Ⅱ期区間】

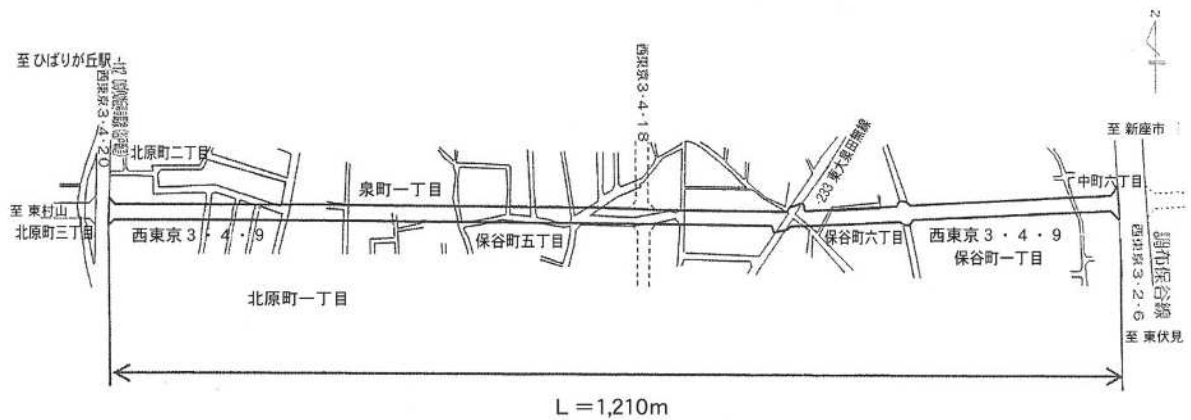
本路線は、西東京3・2・6号線（西東京市中町六丁目）から西東京3・4・20号線（西東京市北原二丁目）までの延長1,210mである。

平成24年10月に事業概要説明会を行い、平成24年度に現況測量、平成25年度に用地測量を実施し、平成27年1月26日に事業認可を取得した。

〔用地〕

平成27年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約32%である。

今年度も引続き用地取得を推進する。



計 画		
16.00		
3.50	9.00	3.50

⑱ 西東京都市計画道路 3・4・12 号線（一般都道 233 号）

西東京都市計画道路 3・4・16 号線（一般都道 233 号）

当事業は、西武鉄道保谷駅南口を東西に走り、多摩北東部と区部北西部を結ぶ主要道路である一般都道 233 号のバイパス整備を目的としている。

現道幅員が 6.8m と狭く、歩道もない状態であるが、駅前を通るため、多くの自転車・歩行者と一日 1 万台を超える自動車が集中することから沿道市民の生活並びに通行者の安全が著しく脅かされている。

平成 7 年度地元市長より整備促進の要望が出され、市民生活の安全及び交通渋滞解消の観点から、当該路線の整備を行うこととした。

平成 8 年度地元で事業説明会を行い、測量に着手、平成 10 年 7 月事業認可を受けた。

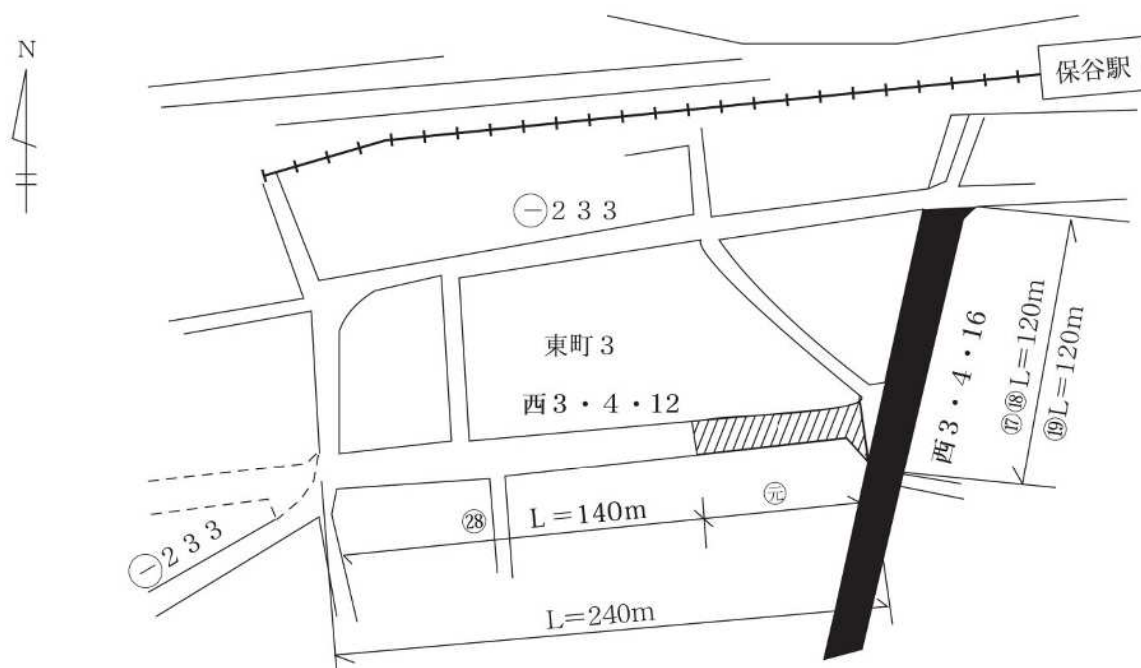
西東京 3・4・16 号線は、平成 17 年度、18 年度で街築及び電線共同溝の工事を、平成 19 年度に歩道舗装工事を実施し、完成した。

今年度は、用地取得状況により西東京 3・4・12 号線の街路築造工事及び排水施設設置工事を予定している。

〔用地〕

平成 14 年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約 69% となっている。

今年度も引き続き用地取得を推進する。



凡 例

- 供用開始区間又は交通開放区間
- 工事施工箇所

計 画

16.00		
3.50	9.00	3.50
歩道	車道	歩道

⑱ 三鷹都市計画道路 3・4・3 号線
 三鷹都市計画道路 3・4・11 号線
 三鷹都市計画道路 3・4・12 号線

本路線は、三環状道路整備推進部より平成 27 年度末に引継ぎを行い、平成 28 年度から三環状道路整備推進部と相互に協力して事業を進めて行く路線である。

事務分担は大きく分けて、用地取得を三環状道路整備推進部で担当し、街路築造工事を北多摩南部建設事務所で担当する。

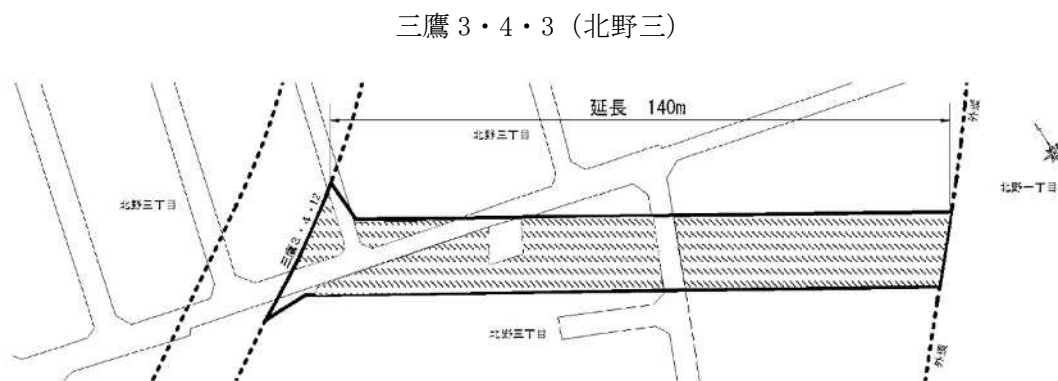
本路線は、外環本線の整備に合わせて整備していくとしており、三鷹 3・4・12（北野）三鷹市北野三丁目～同市北野二丁目区間（L=840m、W=16m）は、平成 23 年 8 月 25 日事業概要及び測量説明会、平成 24 年 6 月 15 日事業認可取得、平成 24 年 10 月 25 日用地補償説明会を行い、三鷹 3・4・3（北野三）三鷹市北野三丁目（L=140m、W=16m）・三鷹 3・4・11（北野三丁目）三鷹市北野三丁目から同市北野四丁目区間区間（L=150m、W=16m）及び三鷹 3・4・12（緑ヶ丘）三鷹市北野三丁目から北野四丁目区間（L=240m、W=16m）は、平成 24 年 7 月 24 日事業概要及び測量説明会、平成 25 年 9 月 26 日事業認可取得、平成 25 年 11 月 19 日用地補償説明会を行い、事業を進めている。

平成 28 年度に、三鷹 3・4・12（緑ヶ丘）地区の埋蔵文化財調査のため一部試験掘を実施している。

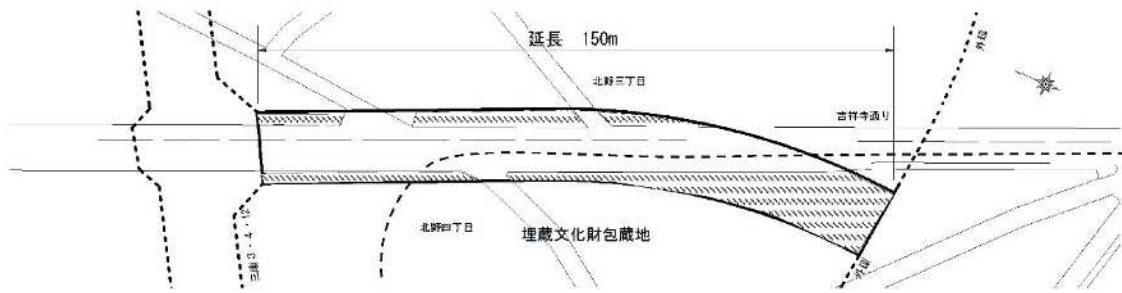
今年度は埋蔵文化財試験掘調査及び排水管設置工事等を予定している。

〔用地〕

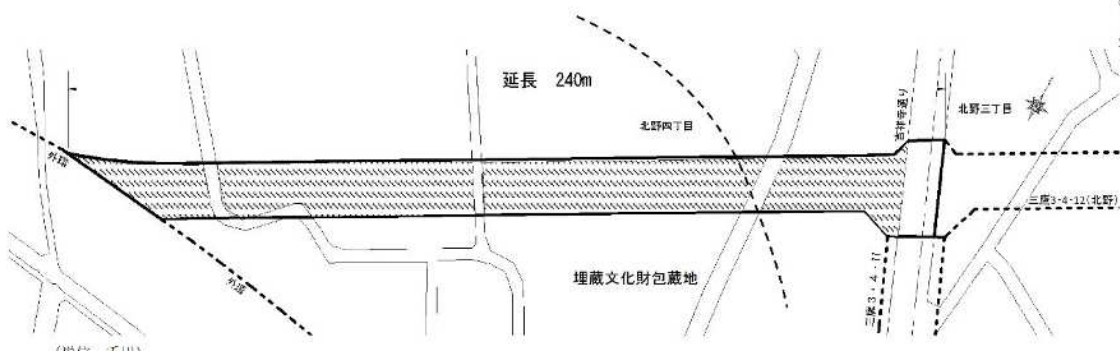
平成 24 年度から用地取得に着手し、平成 30 年度末の取得率は全体で約 97%となっている。今年度も引き続き用地取得を推進する。



三鷹 3・4・11 (北野三)



三鷹 3・4・12 (緑ヶ丘)



(4) 橋梁整備事業

都知事管理の橋梁が老朽化し、耐久力や耐震力が不足したものを架替たり、前後道路を交通需要の増加に伴い拡幅整備する場合、その計画に合わせた幅員の橋梁に架替を行う事業である。

当所の管内には、国土交通省管理の一級河川多摩川があり、対岸南側は川崎市及び南多摩東部建設事務所並びに南多摩西部建設事務所が管理する道路が接続している。

【多摩川中流部橋梁】

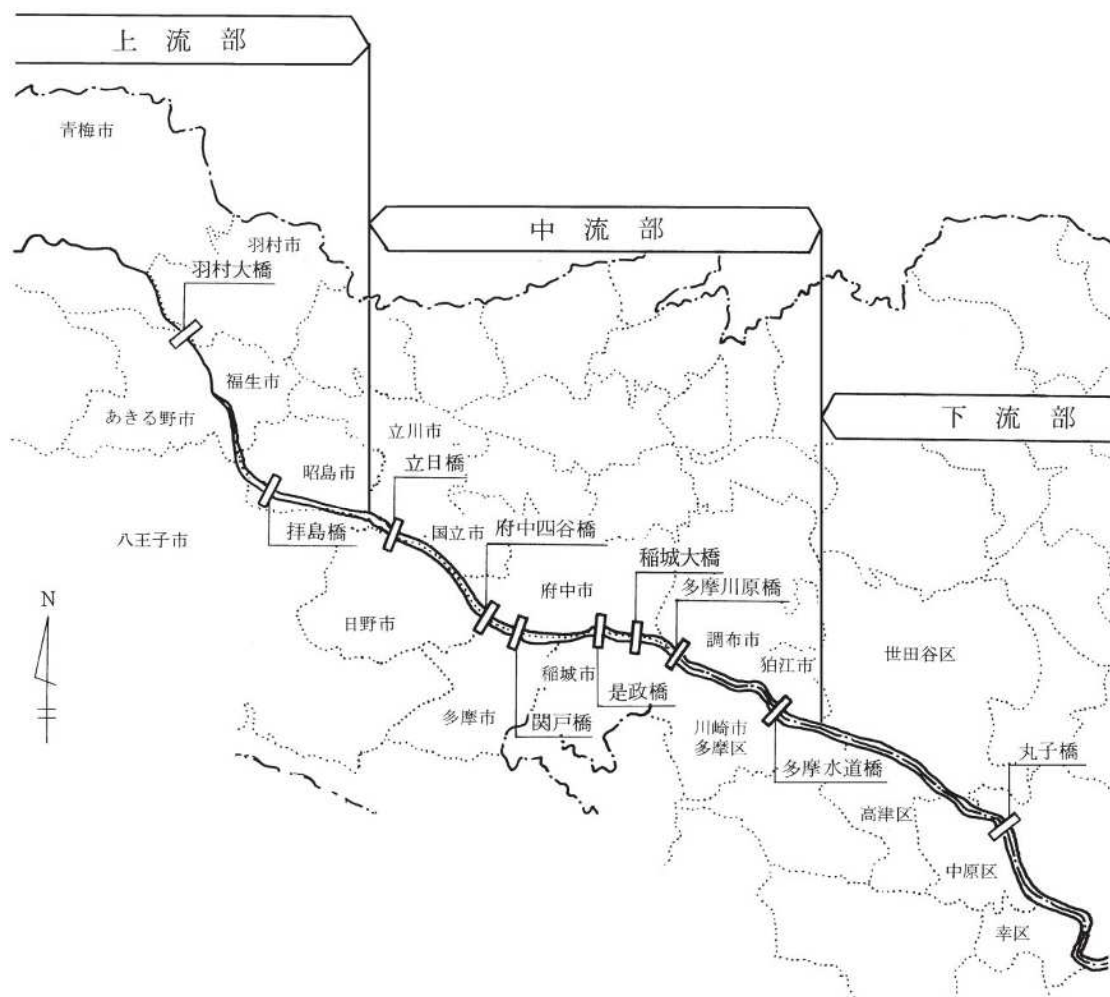
昭和 55 年当時、立川市・日野市地区から調布・狛江市の区間の延長約 18 km の多摩川中流部区間は、市街化が進んでいるにもかかわらず、橋梁の平均架橋間隔が 4.3 km と広く交通需要に十分対応出来る状態ではなかった。

多摩地域の重点施策として急がれている南北幹線道路の整備も、関連する橋梁整備を一体的に行わないとその効果をあげることはならない。そこで、立日橋から多摩水道橋までの区間を「多摩川中流部」と位置づけ既存橋梁 4 橋の拡幅架替と 3 橋の新設を内容とした「多摩川中流部橋梁架橋計画」を策定した。

形式選定を昭和 62～63 年度で行い、昭和 63～平成 2 年度で橋梁の意匠検討を行い事業に着手した。

橋梁群 7 橋のうち、当所の担当は、下流から多摩水道橋・是政橋・関戸橋及び府中四谷橋の 4 橋であり、平成 10 年 12 月に府中四谷橋、平成 13 年 3 月に多摩水道橋、平成 24 年 6 月に是政橋を交通開放し、現在は関戸橋の架け替え事業を進めている。

その他の 3 橋は南多摩西部建設事務所、南多摩東部建設事務所及び東京都道路公社が担当した。



① 是政橋（主要地方道川崎府中線、第9号）

旧橋は、昭和32年竣工で、橋長396.3m、幅員8.0m（車道6.5m、歩道1.5m）で形式はゲルバー鋼床版桁である。

新橋は、橋長401.0m、計画幅員は車道7.5mから9.5m（左岸交差道路との右折レーン）歩道は5.0m、形式は3径間連続鋼斜張橋；主桁2箱桁、主塔H型八角形断面で上り下り線を分離した構造である。

I期橋（上流側）は、平成5年下部工事に着手、平成10年5月に完成した。

旧橋の撤去及び橋脚耐震補強工事は平成16年度に完了した。

II期橋（下流側）は、構造形式を2径間連続鋼斜張橋＋2径間連続鋼桁橋に変更し、コスト削減を図り平成17年度から下部工事に着手し、平成21年度末に完成した。

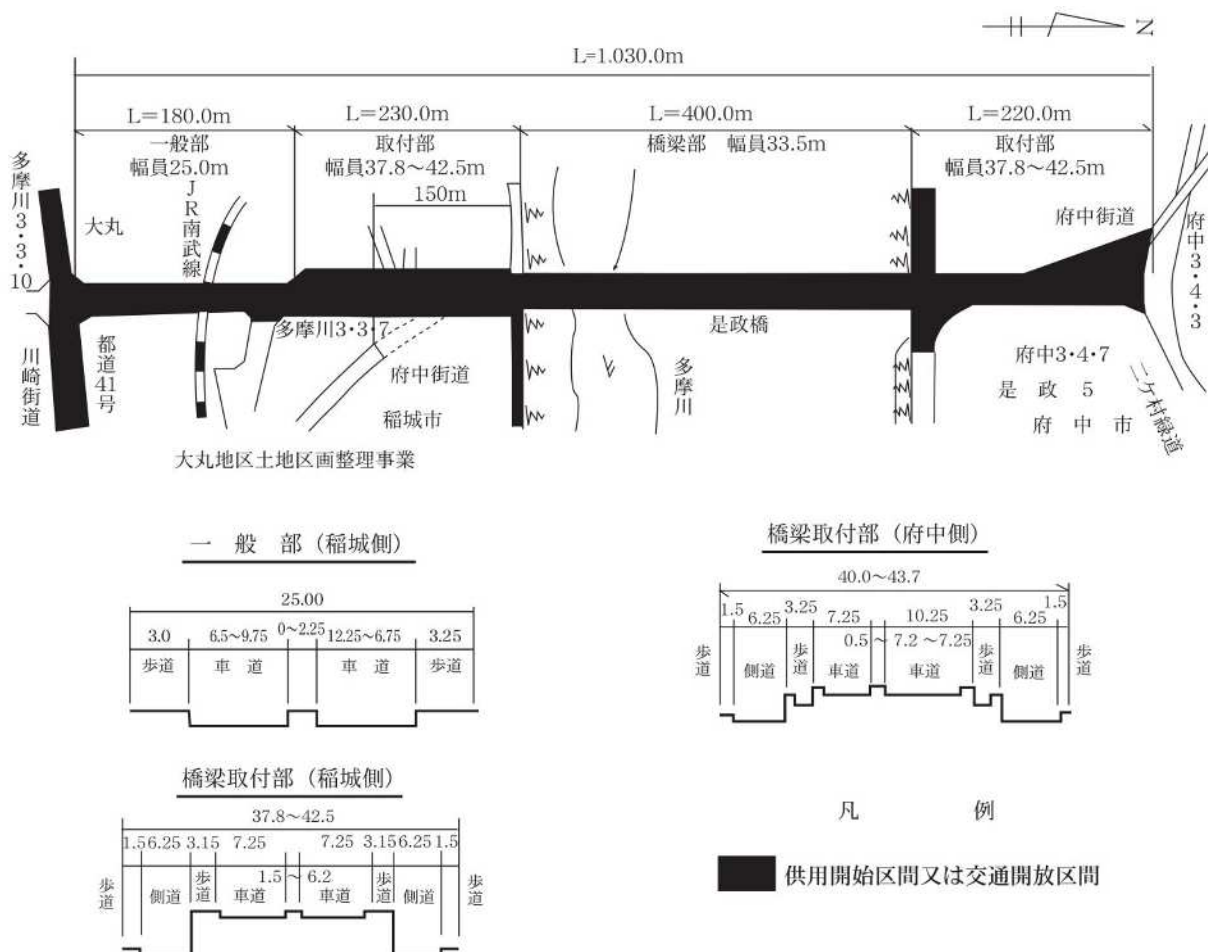
平成22年度に、府中市側の取付道路と稲城市側の取付道路及び高架橋架設工事を実施し、平成23年3月9日にI期橋からII期橋に交通を切り替えた。

平成23年4月26日には、南東建と共同して、是政橋と川崎街道を結ぶ多摩3・3・7号線を暫定2車線で交通開放して、府中街道の交通を切り替えた。

平成23年度から、供用開始から13年経過したI期橋のリニューアル工事（橋面舗装工事、塗装工事）と、残る取付道路及び高架橋架設工事を実施し、平成24年6月28日に4車線で交通開放した。

平成24年度は、稲城市側取付部において、側道部の電線共同溝工事を実施し、下流側側道及び高架橋下通路を交通開放した。

また、平成3年より環境影響評価条例に基づく手続きを進めており、平成29年度には工事完了届、平成30年度には事後調査報告書（工事の完了後その1）を提出した。



② 関戸橋（主要地方道府中町田線、第18号）

関戸橋は、上下線で分離された、多摩川に架かる橋梁である。

下流橋は、昭和12年に架設され、橋長375.8m、幅員8.0m（車道8.0m・2車線）の13径間ゲルバーRC T桁である。

上流橋は、昭和46年に架設され、橋長375.8m、幅員12.5m（車道9.5m・3車線、歩道3.0m）の鋼単純合成鈹桁、鋼単純合成箱桁、鋼2径間連続非合成箱桁（2連）、鋼単純合成箱桁である。

下流橋は、架設より80年以上を経年し、また、歩道がないことから、上流側に仮橋を設置して現状の交通機能を確保しながら、下流橋を撤去して、架替・拡幅を行う。新橋（下流橋）は、橋長380.0m、幅員14.0m（車道10.5m・3車線、歩道3.5m）の鋼7径間連続非合成細幅箱桁である。

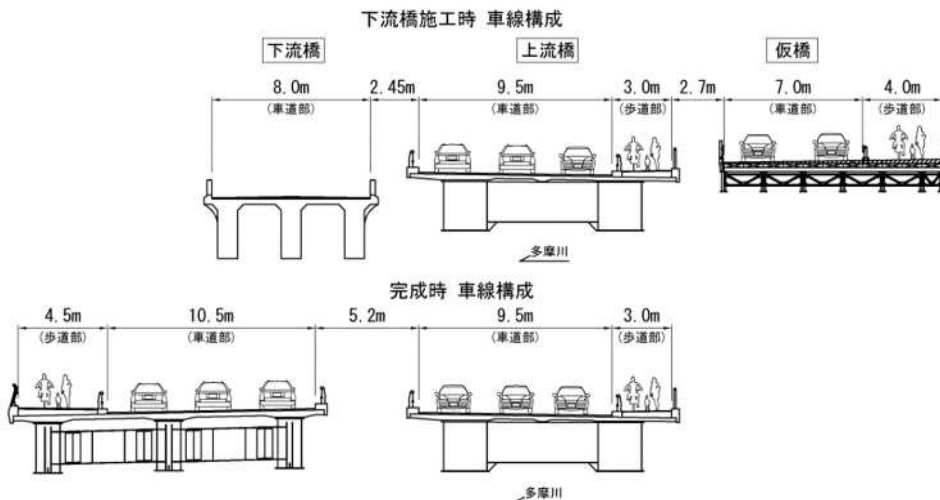
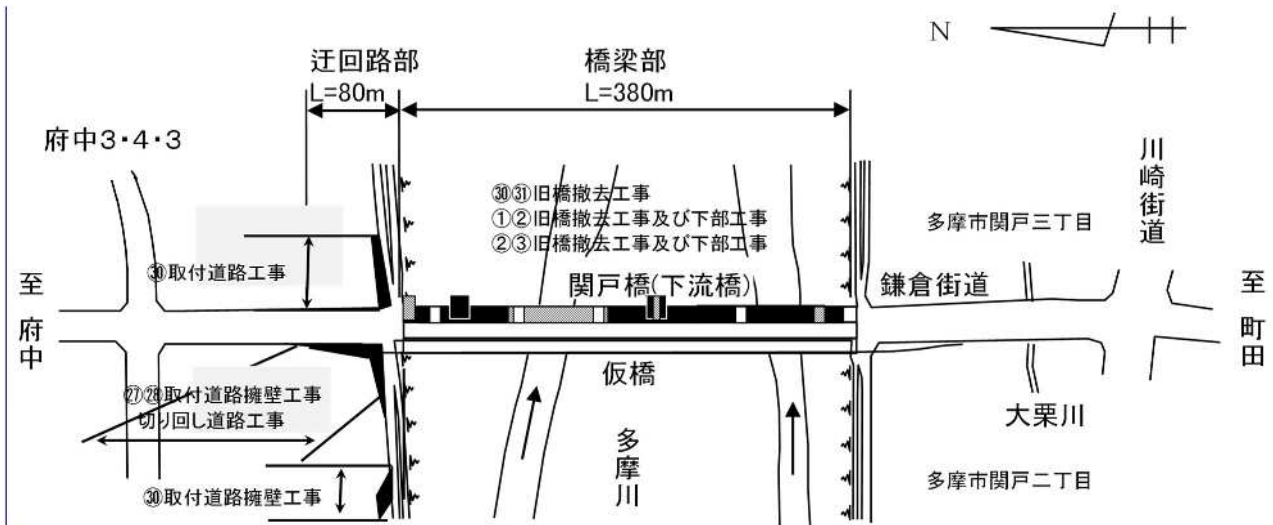
また、新橋の完成後には、交通を切り替え、上流橋において、補修及び左岸側2径間の架替えを行う。

本事業は、右岸の多摩市を所管する南多摩東部建設事務所との共同事業であり、平成25年度に事業に着手し、平成27年11月河川占用許可を受けて仮橋工事（南東建施工）及び府中市側の切り直し道路築造工事（北南建施工）に着手した。

平成30年度は、仮橋工事及び取付道路改修工事（北南建、南東建施工）の施工により、仮橋への交通切替を行い、旧橋撤去工事（北南建施工）に着手した。

令和元年度は、引き続き旧橋撤去工事を施工するとともに、新下流橋下部工事に着手した。

今年度も、引き続き旧橋撤去工事及び新下流橋下部工事を施工する。



(5) 交通安全施設事業

「交通安全施設等整備事業の推進に関する法律」に基づいて実施する事業で、道路管理者が実施するものと都道府県公安委員会が実施するものがある。

道路管理者が行う交通安全施設事業には、歩道設置、交差点改良、車両停車帯設置等の道路の改築に関する事業（旧一種事業）と、街路灯、防護柵、道路標識等の道路の付属物や区画線設置等に関する事業（旧二種事業）とに分けられている。

当所においては、道路の改築に関する事業を工事第二課が、その外の事業を補修課が担当して行っている。

《歩道整備》

① 一般都道ひばりヶ丘停車場（第112号）線

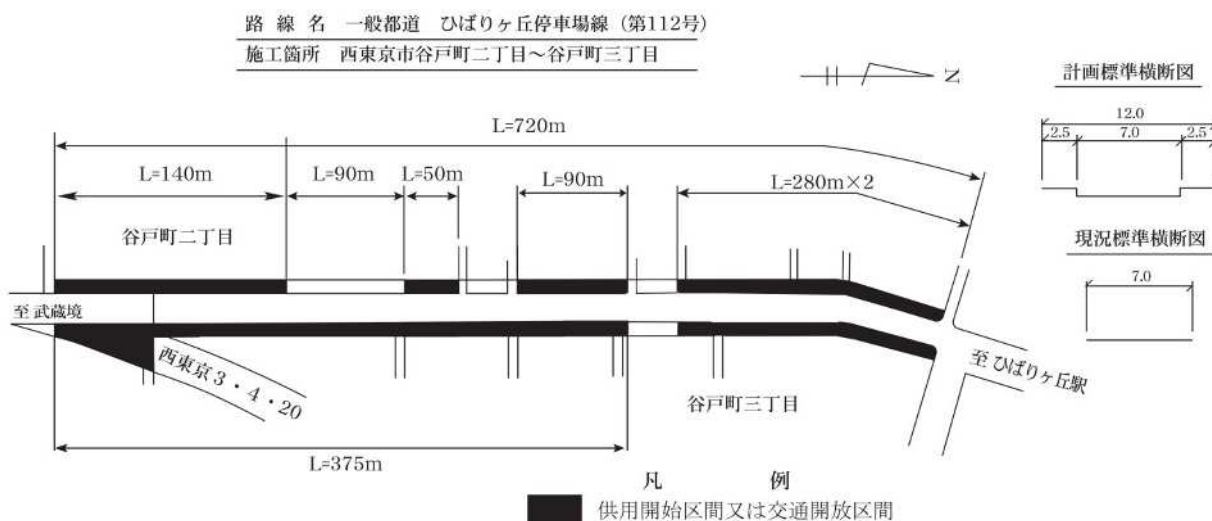
本事業は、街路事業（西東京3・4・20号線）で整備された区間の北側において、都市計画線から外れた都道112号線について、西東京3・4・11号線（西東京市谷戸町三丁目）交差点までの区間延長720mを幅員12m（歩道2.5m×2、車道7.0m）に拡幅整備し、歩行者の安全を確保するとともに電線共同溝を整備するもので、昭和61年度から事業に着手している。

平成27年度までに、延長1,215m（片側）の歩道整備と延長830mの電線共同溝の整備が完了した。

〔用地〕

昭和61年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約94%となっている。

今年度も引き続き用地取得を推進する。



② 一般都道府中調布（第 229 号）線 府中市若松町 1～若松町 2

本事業は、旧甲州街道のうち、現道幅員内に歩道設置を行うことが困難な区間であり、未整備の区間である。

府中市若松町一丁目（京王線東府中駅前）から府中 3・4・7 号線府中市若松町二丁目の区間延長約 240m の区間、計画幅員 11m（車道 7 m、歩道 2 m×2）について事業実施することとした。平成 15 年度に府中 3・4・7 号線から西側の約 70m について工事が完了した。

〔用地〕

平成 6 年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約 47% となっている。

③ 一般都道府中三鷹（第 110 号）線 【人見街道】

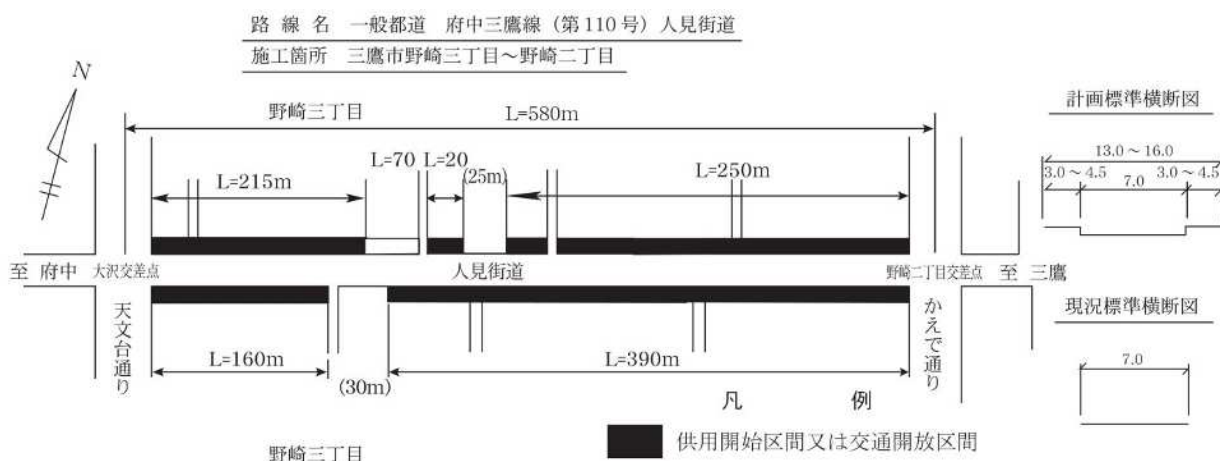
本路線は、古くからの街道であり、沿道に未だ樫の大木が残されている。現道は歩道がなく 7～8 m の幅員で、歩行者の安全確保のため平成 3 年 10 月 25 日付けで地元から知事あてに歩道整備の要望が出された。

都道 123 号線（三鷹上連雀一丁目）大沢交差点から三鷹 3・4・18 号線（かえで通り）との交差点までの 580m について、樹木を残しながらの計画幅員について検討し、再三にわたる地元住民との協議を重ねた結果、基本的な幅員構成について、車道は 7 m、歩道は、樫のない部分は 3 m、樫を残す部分は 4.5m とすることで合意が得られた。平成 9 年 2 月 19 日事業説明会を行い、現況・用地測量を平成 10 年度に行い、平成 12 年度から用地取得に着手した。また、平成 15 年度から工事に着手し、平成 29 年度までに 1,035m（片側）の歩道整備が完了した。

〔用地〕

平成 12 年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約 91% となっている。

今年度も引き続き用地取得を推進する。



④ 一般都道武蔵野狛江（第 114 号）線 【吉祥寺通り】三鷹市下連雀五丁目～六丁目

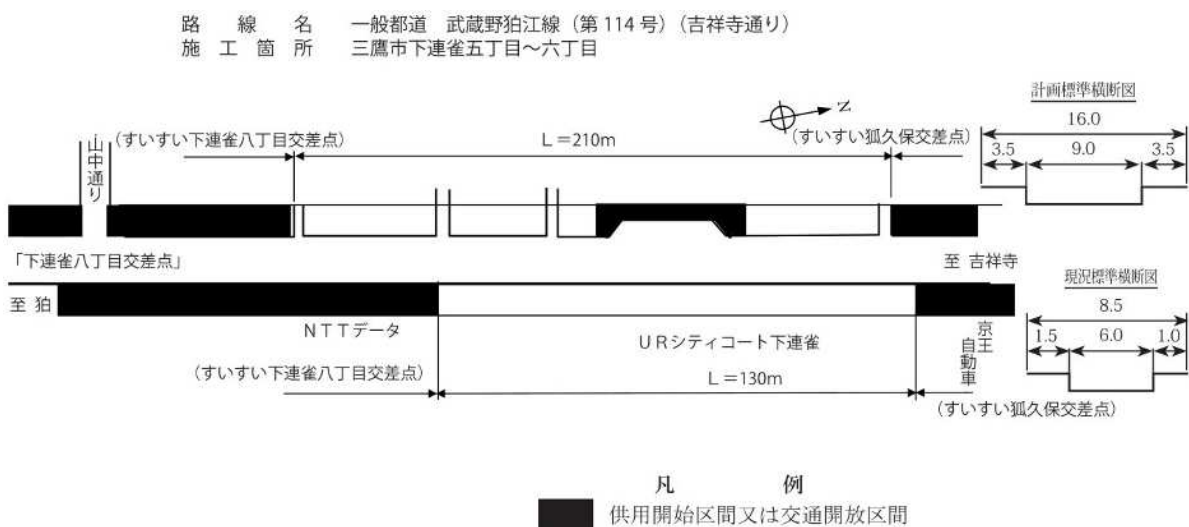
本事業は、三鷹 3・4・14 号線（吉祥寺通り）のうち「交差点すいすいプラン」により拡幅整備された狐久保交差点と下連雀八丁目交差点との間に位置する延長 220m の区間において、現況約 8.5m の道路を都市計画幅員 16m に拡幅し歩道を整備するものである。

平成 27 年度に現況測量、平成 28 年度に用地測量及び交通管理者協議を実施し、平成 29 年 10 月に都市計画事業認可を取得して、用地取得に着手した。

〔用地〕

平成 30 年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約 40% となっている。

今年度も引き続き用地取得を推進する。



《自転車・歩行者道整備》

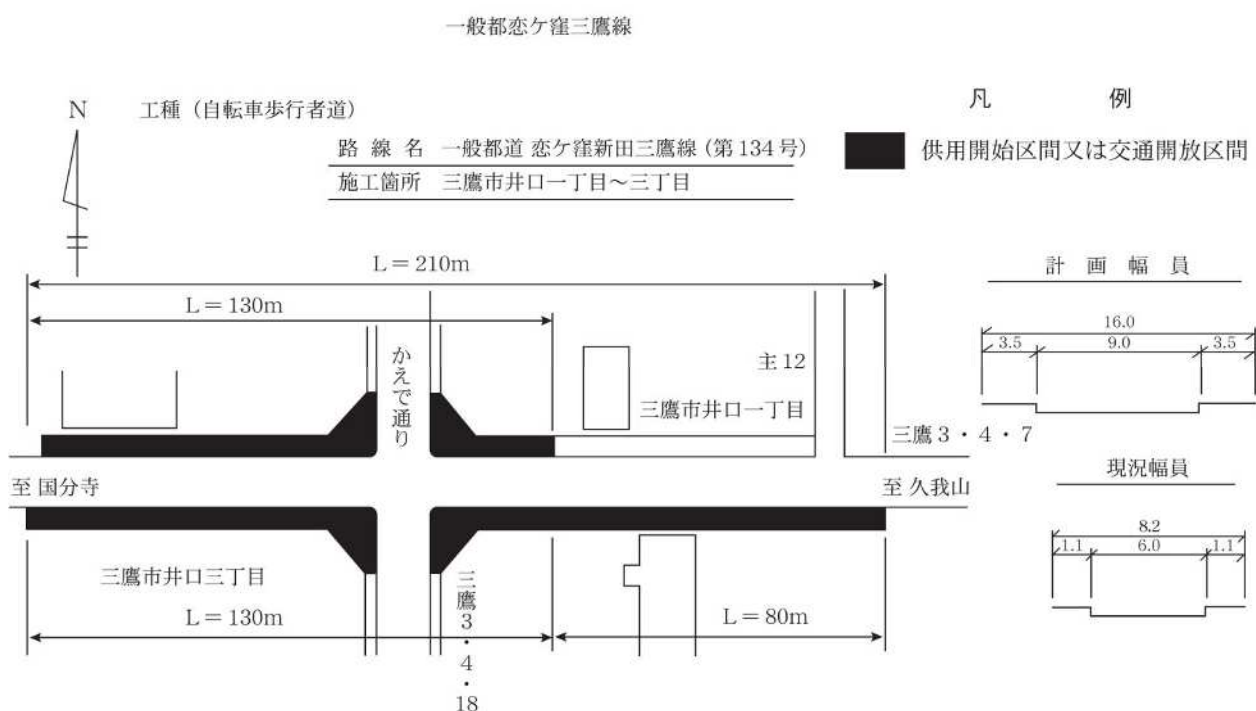
① 一般都道恋ヶ窪新田三鷹（第134号）線【連雀通り】

当箇所は、連雀通りのうち井口郵便局交差点の前後 210mについて、都市計画道路、三鷹3・4・7号線の幅員16mにあわせ自転車歩行者道を整備するものである。

平成10年度現況測量、平成11年度用地測量を完了した。平成18年度までに、北側130mと南側210mについて整備を完了した。

〔用地〕

平成13年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約96%となっている。



《第3次交差点すいすいプラン（交差点改良工事）》

渋滞を緩和し、円滑な道路交通を確保することは、東京の都市再生を実現するうえで、緊急の課題となっている。都はこれまで、比較的短期間に、少額の投資で効果の発揮できる局所的な渋滞対策事業として、右折レーン等を設置して右折待ち車両による渋滞を緩和する「交差点すいすいプラン100」及び「第2次交差点すいすいプラン」を実施し、平成26年度までに当事務所において14箇所の交差点について完成または概成した。

平成27年3月、『いまだ発生している渋滞の緩和、周辺状況変化に伴う交通流変化への対応、既に実施済みあるいは他事業と連携した「線の効果」の拡大』を計画の趣旨として、新たな計画箇所を加え、「第3次交差点すいすいプラン」が策定された。計画箇所76箇所のうち、当事務所は26箇所で事業を実施していく。

新規12箇所について、平成27年度に事業化の優先順位を整理し、平成28年度から順次事業化に向けた現況測量や予備設計を実施しており、平成30年度に松原交差点（一114号）【No.21】を新規事業化した。令和2年度は、前原交番前交差点（主15号）【No.8】、前原交番西交差点（主15号）【No.9】の2箇所で事業着手を予定している。

事業中12箇所の詳細については、以下に示す通りである。

① 松原交差点（一114号）【No.21】 狛江市和泉本町一丁目～中和泉二丁目

本箇所は、主要地方道大田調布線（第11号）狛江通りと交差する調布3・4・17号（松原通り）の南側を計画幅員16mで拡幅し、右折レーンを設置する計画である。

平成28年度に地元説明、現況測量を実施し、平成29年度には用地測量を行い、平成30年11月に都市計画事業の認可を取得した。

〔用地〕

令和元年度から用地取得に着手している。

② 武蔵野中央交差点（主7号）【No.38】 武蔵野市中町三丁目～緑町一丁目

本箇所は、武蔵野3・4・10号線（五日市街道）と武蔵野3・5・19号線（都道121号三鷹通り）との交差点を中心とした延長約550m、計画幅員16mである。

平成7年度に現況測量を、平成8年度に用地測量を行った。

平成24年度に、三鷹通りから東側の南側延長80mについて街築及び電線共同溝の工事と事業範囲の西端の北側80mの電線共同溝工事を行った。

平成28年度以降は、用地取得が済んでいる区間において電線共同溝等の工事を実施している。

令和2年度は、交差点南側の街築整備に着手する予定である。

〔用地〕

平成18年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約85%となっている。

今年度も引き続き用地取得を推進する。

③ 吉祥寺北町交差点（主7号）【No.41】 武蔵野市吉祥寺本町四丁目～吉祥寺北町三丁目

本箇所は、武蔵野3・4・10号線（五日市街道）と武蔵野3・5・17号線（成蹊通り）との交差点で延長約320m、計画幅員16mである。

平成8年8月の事業説明会の後、武蔵野市長及び市議会議員あて、事業の見直しを求める陳情

書が提出された。

要旨は、①右折レーンの設置による渋滞解消の疑問、②道路拡幅により交通量増加を伴い健康被害への憂慮、③都市計画線が北に片寄って拡幅することへの疑問である。本陳情書は不採択とされたが、再度、10年10月に陳情書が出され、これも平成11年2月の議会で不採択となった。

地元住民との再度に渡る交渉から、成蹊通り（武蔵野3・5・17号線）が北方向に通り抜けていないこともあり、当面、交差点から東側延長約160mの区間の拡幅及びバスベイの設置を行うこととして、住民の了解を取り、平成11年度に用地測量を行った。

平成15年度には、成蹊大学前のバス停工事をを行った。

〔用地〕

平成13年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率（160m区間）は約91%となっている。

④ 関前三丁目交差点（主7号）【No.42】武蔵野市関前三丁目～八幡町三丁目

本箇所は、武蔵野3・4・10号線（五日市街道）と武蔵野3・3・6号線（調布保谷線）との交差点で、延長240m、計画幅員16mである。

平成8年9月に事業説明会を行い、現況測量に着手し、平成9年度後期に用地測量を実施した。

平成15年度から工事を実施し、平成21年度までに東側の全幅約80mについて、平成23年度には交差点を含む西側約140mの街築及び電線共同溝の工事を実施した。

平成29年度から無電柱化を先行完了させるための協定工事を実施している。

〔用地〕

平成10年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約92%となっている。

今年度も引き続き用地取得を推進する。

⑤ 府中刑務所角交差点（主17号）【No.44】府中市栄町三丁目～晴見町四丁目

本箇所は、市道と交差する府中3・4・22号（府中街道）を拡幅し、右折レーンを設置する計画である。

平成18年度に、地元説明を行い、用地測量を実施した。

平成22年度から用地買収に着手している。

今年度も引き続き用地取得を推進する。

⑥ 府中栄町三丁目交差点（主17号）【No.45】府中市栄町三丁目

本箇所は、平成11年7月に一般開放した東京八王子線立体部側道との交差点で、延長330m、計画幅員16mであり、南側の府中刑務所角交差点事業区間と連続する。

平成6年度に現況測量を実施し、平成8年度に用地説明会を行い事業に着手した。

平成16年度から、東八以北の約50mについて北北建に委託し、平成18年度に完成した。

平成17年度に、東八以南東側区間延長約110mの街築工事をを行った。

〔用地〕

平成8年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約34%（北南建実施区間）となっている。

⑦ 市民球場前交差点（主 17 号）【No.46】府中市寿町二丁目～三丁目

本箇所は、府中 3・4・22 号線（府中街道）と府中 3・5・10 号線（府中市道）との交差点で、延長 270m、計画幅員 16m である。

平成 8 年度に現況測量、平成 9 年度に用地測量に着手、平成 10 年度に用地説明会を行い事業に着手した。

平成 20 年度以降中断していた工事を平成 28 年度に再開し、平成 29 年度には、拡幅部の工事を実施し右折レーンを新設した。令和元年度には交差点改良が完了し、続けて無電中化のための協定工事を実施している。

〔用地〕

平成 11 年度から用地取得に着手し、平成 28 年度末までに全ての用地を取得した。

⑧ 四軒寺交差点（一 113 号）【No.55】武蔵野市吉祥寺東町一丁目～吉祥寺北町一丁目

本箇所は、一般都道関町吉祥寺線（116 号吉祥寺通り）と接続する武蔵野 3・4・11 号を拡幅し、右左折レーンを設置する計画である。

平成 29 年度から交差点北側の拡幅整備に着手し、令和元年度から交差点南側の整備を実施している。

〔用地〕

平成 23 年 10 月、都市計画事業の認可を取得し、用地買収に着手した。令和元年度末の取得率は約 83%となっている。

今年度も引き続き用地取得を推進する。

⑨ 下連雀八丁目交差点（一 114 号）【No.56】三鷹市下連雀五丁目～八丁目

本箇所は、三鷹 3・4・14 号線（吉祥寺通り）と三鷹 3・4・5 号線（三鷹市道）との交差点で、延長 440m、計画幅員 16m である。

平成 8 年度に現況測量を、平成 10 年度に用地測量を実施し、平成 15 年度に用地取得に着手した。

平成 16 年度には工事着手し、平成 29 年度までに延長 775m の歩道整備及び電線共同溝整備を実施した。

平成 29 年度には交差点改良が完了し、令和元年度から無電柱化のための協定工事を実施している。

〔用地〕

令和元年度末の取得率は約 99%となっている。

今年度も引き続き用地取得を推進する。

⑩ 下布田交差点（一 121 号）【No.57】調布市八雲台一丁目～布田二丁目

本箇所は、国道 20 号線（甲州街道）と交差する調布 3・4・26 号（三鷹通り）を拡幅し、南側に右折レーンを設置する計画である。

平成 20 年度に地元説明、現況測量を実施し、平成 21 年度には用地測量を行い、平成 22 年 8 月に都市計画事業の認可を取得した。

平成 29 年度から電線共同溝整備に着手し、令和 2 年度からは西側の街築整備に着手する予定である。

〔用地〕

平成 23 年度から用地取得に着手し、令和元年度に用地取得を完了した。

⑪ 深大寺五差路交差点（一 121 号）【No.58】調布市深大寺東町五丁目～深大寺元町五丁目

本箇所は、調布 3・4・26 号線（三鷹通り）と市道との変形した五差路で、延長 420m、計画幅員 16m である。

平成 8 年 1 月に現況測量に着手、平成 8 年度末に用地測量が完了し、事業に着手した。

平成 14 年度に工事着手し、平成 22 年度までに右折レーンの整備は概成している。

〔用地〕

平成 10 年度から用地取得に着手し、令和元年度末の取得率は約 90% である。

今年度も引き続き用地取得を推進する。

⑫ 保谷小前交差点（主 36 号・一 233 号）【No.72】西東京市泉町三丁目～保谷町六丁目

本箇所は、一般都道東大泉田無線と主要地方道保谷志木線の交差点において道路を拡幅し、右折レーンを設置する計画である。

平成 19 年度に地元説明、現況測量を実施し、平成 21 年度には用地測量を行い、平成 23 年度から用地取得に着手した。

(6) その他当所関連事業

① 市町村土木補助事業

市町村道は、国道や都道と一体となって道路網を形成し、地域交通を支えると共に日常における地域交通や電気・上下水道などのライフラインの収用スペースとして、また、安全で良好な生活環境の形成に不可欠な基盤施設であるが、国道、都道に比べ整備は遅れている。

都は、市町村に対する補助事業を通じて、市町村への財政的、技術的支援を行いながら、市町村道の整備促進とまちづくりを推進しており、当所管内の7市に対する補助は下表のとおりである。

市町村土木補助事業費調書

(補助率5/10、3/10 単位：千円)

市町村名	令和2年度内示額			令和元年度内示額		前年度比
	工種	件数	補助金額	件数	補助金額	
武蔵野市	道路改良	3	128,720	5	214,395	60%
三鷹市	長寿命化 舗装補修 橋梁	7	315,900	12	117,945	268%
	長寿命化 道路改良					
府中市	道路改良	8	502,361	6	399,760	126%
	長寿命化					
調布市	道路改良	4	396,575	7	692,600	57%
	長寿命化					
小金井市	長寿命化	2	10,250	3	10,250	100%
西東京市	道路改良	4	77,900	3	25,250	309%
	長寿命化 舗装補修					
狛江市	道路改良	1	17,500	3	7,750	226%
計			1,449,206		1,467,950	99%

② 第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業

【事業の目的】

本事業は、地域にとって重要な役割を果たす都道のうち、都市計画道路の事業化計画における優先整備路線以外で、地元市町村から要望が強い路線を東京都と市町村が連携協力して整備を行い、交通の円滑化・歩行者の安全性・利便性の向上など、地域のまちづくりに寄与することを目的とする。

【事業概要】

- ア) 事業期間 平成 29 年度～令和 8 年度 (10 か年)
- イ) 役割分担 都……………用地・補償、無電柱化等に係わる費用
(費用負担) 市……………設計・工事に係わる費用
- ウ) 施行者
用地・補償・無電柱化等は都が事業者として施行 → 都から市へ委託
工事・設計等は市が事業者として施行 → 道路法第 24 条自費工事として施工

管 内 施 工 箇 所

市 名	路 線 名	延長 (m)	備 考
武蔵野市	一般都道123号 境調布線 (武蔵野3・4・2)	290	新 規
三 鷹 市	一般都道134号 恋ヶ窪新田三鷹線 (三鷹3・4・7)	235	継 続
調 布 市	一般都道121号 武蔵野調布線 (調布3・4・26)	120	継 続
小金井市	一般都道134号 恋ヶ窪新田三鷹線 (小金井3・4・1)	250	継 続
	一般都道134号 恋ヶ窪新田三鷹線 (小金井3・4・3)	475	継 続
西東京市	一般都道112号 ひばりヶ丘停車場線 (西東京3・4・11)	820	新 規
		2,190	

※ 「新みちづくり・まちづくりパートナー事業」平成 21 年度～平成 28 年度施行において
未完成であつた路線は、第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業に編入し、事業を
継続している。

V 河 川

1 河川の現況

河川は公共用物（一般公衆の共同使用に供されるもの）として、洪水等による災害の防止、流水機能の維持、河川敷地等の適正な利用及び河川環境の整備と保全を図るため、総合的な管理を行うことが求められている。

したがって、河川事業とは河川工事、河川管理施設の維持管理、河川敷地の占用許可及び河川に影響を及ぼす行為の制限等の行政処分であり、河川の保全、改修及び利用の増進とこれに付随して行われる一切の行為を含んでいる。

こうした河川事業は、河川法（昭和39年法律第167号）をその根拠としており、国の地方分権推進計画に基づく平成12年4月1日付けの法律の改正により、これまで国からの機関委任事務とされてきた都道府県知事が行う法定河川の管理事務は、河川占用料の徴収事務については都道府県の自治事務となり、それ以外の事務は都道府県への法定受託事務となった。

所が管理する河川は、表V-1に掲げる荒川水系に属する2河川と多摩川水系に属する3河川であり、いずれも一級河川で、その総延長は約33.0kmである。

表V-1

管 理 河 川 調 書

令和2年3月31日現在

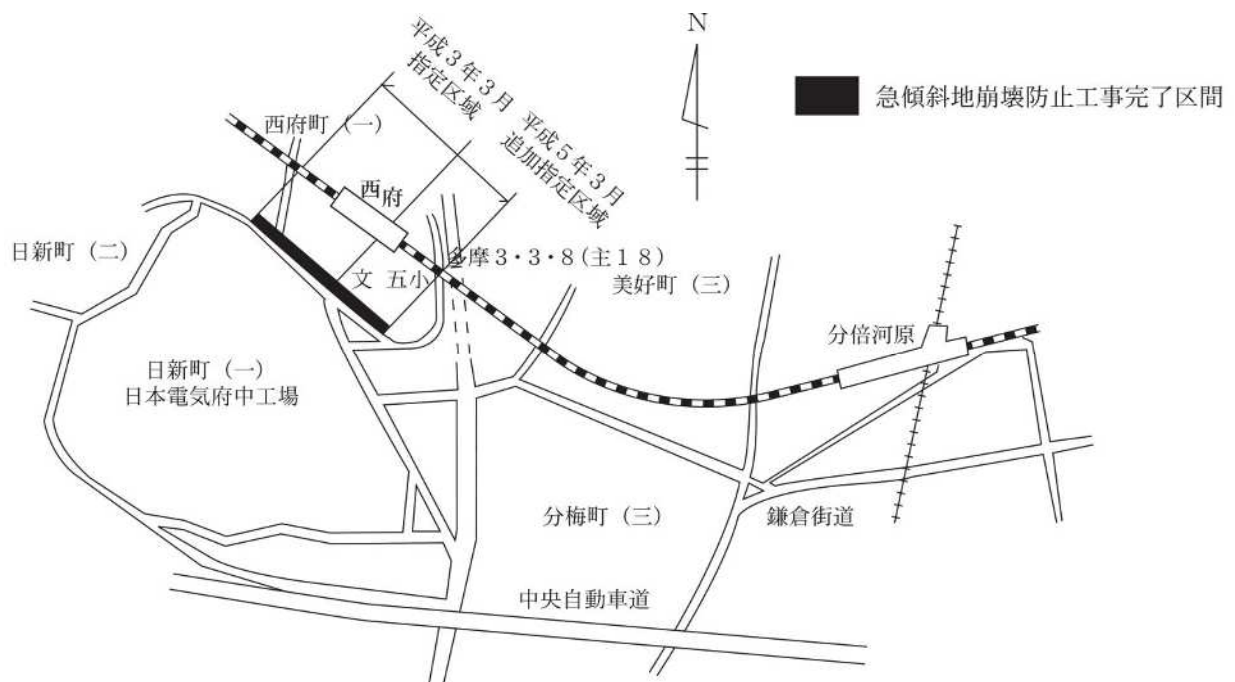
等級	水系	河川名	管理区間		延長 km	流域 面積 km ²	摘要		
			上流端	下流端					
一 級 河 川	荒 川 水 系	石神井川	左 西東京市向台町6-11 右 西東京市芝久保町1-18	地先	左 西東京市東伏見3-4 右 西東京市東伏見3-5	地先	4.2	10.4	隅田川 へ合流
			左 三鷹市井の頭3-222 右 井の頭地水門	地先	左 杉並区久我山3-31 右 三鷹市井の頭1-2	地先	1.6	8.8	隅田川へ 合流 水源地 井の頭池
		小 計				5.8	19.2		
	多 摩 川 水 系	野 川	左 小金井市貫井南町4-25 右 小金井市貫井南町4-24	地先	左 狛江市東野川4-30 右 狛江市東野川4-23	地先	11.6	30.3	多摩川 へ合流
			左 小金井市貫井北町3-5 右 新小金井街道	地先	左 調布市緑が丘2-55 右 調布市緑が丘2-56	地先	13.8	13.9	野川へ 合流
		入 間 川	調布市東つつじヶ丘1-18番の7 地先 国道20号線		左 調布市入間町2-22 右 狛江市東野川3-20 野川への合流点	地先	1.8	3.5	野川へ 合流
			小 計				27.2	47.7	
	一 級 河 川 計					33.0	66.9		

2 河川の管理

河川管理の目的は、洪水等による災害の発生を防止し、流水機能が正常に維持され、また河川が公共用物として適正に利用されることにある。

この目的に沿って治水、利水及び河川環境の保全との調和を図りながら河川法及び公有土地水面使用規則に基づく許可事務を行うほか、監察業務を行っている。

また、都市計画法（昭和 43 年法律第 100 号）に基づく開発行為に対する河川（水路）管理者の同意・協議、河川改修工事の進捗に伴って不用となった旧河川敷地の調査及び廃川処理、並びに急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律（昭和 44 年法律第 57 号）に基づき指定された府中市日新町一丁目の急傾斜地崩壊危険区域の管理に関する事務を行っている。



(1) 河川占用等

① 一級河川

当所が管理する法定河川の 5 河川は全て一級河川であり、これらの河川について河川法に基づき占用許可及び工作物の設置許可等の事務を行っている。

河川敷地の占用については、洪水の安全な流下など本来の機能の維持と併せて、河川環境の保全、レクリエーション活動等の河川使用、町づくりと一体となった河川整備等の多様な要請に応えることができるよう配慮して定められた審査基準である「河川敷地占用許可準則」（平成 28 年 5 月改正）に基づいて許可を行っている。

いこいの水辺空間を確保するため、河川環境整備事業により整備された仙川、野川及び神田川の管理用通路等は、地元市の遊歩道やサイクリングロードとして、また石神井川の調節池については運動場や市民広場として地元市が占用のうえ、市民に広く利用されている。

河川区域内の土地はこうした一般公衆の使用の増進を図る目的で許可するもののほか、橋梁、鉄道

軌道、通路、電気・ガス・通信施設等の埋設など社会経済上やむを得ないものだけに限り許可している。

河川法に基づき許可を受けた者から、東京都河川流水占用料等徴収条例（令和2年4月改正）により土地占用料を徴収しており、その占用許可の処理件数及び収入実績は表V-2、表V-3のとおりである。

表V-2

令和元年度河川土地占用許可件数調書

種別		橋・道路・ 橋梁添架	鉄道軌道・ガス 電気通信等の埋設	公園・運動場	電柱・鉄塔	その他（電線 ・架空線等）	計
荒川水系	神田川	0（8）	0（68）	0（0）	0（0）	2（31）	2（107）
	石神井川	0（35）	2（114）	0（5）	0（0）	3（165）	5（319）
多摩川水系	野川	0（75）	1（142）	0（4）	0（1）	11（291）	12（513）
	仙川	1（114）	0（227）	0（1）	0（2）	10（336）	11（680）
	入間川	0（11）	2（22）	0（1）	0（0）	0（40）	2（74）
計（件）		1（243）	5（573）	0（11）	0（3）	26（863）	32（1,693）

（注）（ ）内の数は総許可件数を示す。

表V-3

河川土地占用料収入額調書

年度	件数・金額	調定件数	収入額	備考
令和元年度		72件	9,640千円	

② 普通河川

普通河川（水路）の管理は、その規模及び利用の現状から地元市町村が公物管理条例を制定し管理することが望ましいとされていたが、これまで当所管内の各市においては管理条例等の制定がなされず、このため従来からの経緯により東京都が公有土地水面使用規則を根拠として使用許可等の行政管理を行い、維持補修等の機能管理は市が行うという変則的な管理が行われてきた。

この普通河川の水路敷地を橋梁、通路などを目的として許可を受け使用している者から土地使用料を徴収しており、その使用許可の処理件数及び収入実績は表V-4のとおりである。また、普通河川の管理は、地方分権推進計画により、平成12年4月1日より5年以内を目途にその財産（国土交通省所管の水路敷地）を市町村に譲与し、これまでの機能管理と財産管理及び行政管理を一体として市町村の自治事務として行うこととなった。

これに伴い今までの管内各市の譲与の状況は、平成13年1月1日付けで狛江市、平成14年4月1日付けで三鷹市、調布市、府中市、平成16年4月1日付けで武蔵野市の一部、及び小金井市、西東京市が市内全域を対象として水路等の国有財産の譲与を受けた。これにより各市に対しては使用許可等の資料の引継ぎを行い、当該市内の普通河川は都道など法定公共物の区域に取り込まれているもの等を除き各市の公共物管理条例等に基づき一体的な管理が行われることとなった。

また、東京都が清流復活事業により整備した経緯から、当所において普通河川として機能管理も含め一体的な管理を行ってきた武蔵野市の千川上水についても、平成18年4月1日付で武蔵野市が国有財産の譲与を受けた。その結果、当所において管理している普通河川は都道内水路等のみとなった。

表V-4

令和元年度公用土地水面使用許可等件数調書

(単位：件)

種別 河川名	公有土地水面 使用許可	河川用悪水路 自費工事許可	用途廃止等	都計法第32条 開発行為同意等	計
武蔵野市	0 (2)	0	0	0	0 (2)
三鷹市	0 (4)	0	0	0	0 (4)
府中市	0 (7)	0	0	0	0 (7)
調布市	0 (6)	0	0	0	0 (6)
小金井市	0 (6)	0	0	0	0 (6)
狛江市	0 (3)	0	0	0	0 (3)
西東京市	0 (7)	0	0	0	0 (7)
計 (件)	0 (35)	0	0	0	0 (35)

(注) () 内の数は総許可件数を示す。

(2) 河川及び急傾斜地の監察

河川区域内へのゴミの投棄や河川敷地の不法使用がなされないように定期的に河川パトロールを実施し、必要に応じて原状回復に向け是正指導等の措置を講じている。

また、河川における油流出や魚浮上等により、流水が著しく汚濁するおそれのある場合には、東京都環境局との連携のもとに水質の汚濁の防止に努めている。

急傾斜地崩壊危険区域においては、急傾斜地の崩壊を助長し又は誘発するおそれのある行為（区域内での水の放流、工作物の設置、掘削など）の制限を行うほか、崩壊の危険の有無を定期的に確認している。

3 河川の整備

当事務所管内には、石神井川、神田川、野川、仙川、入間川の5河川が流れている。これら中小河川については、安全で快適かつ活力のある都市の再生を目指して、洪水の危険から都民の生命と暮らしを守るとともに潤いのある水辺の形成や身近な自然の保全・再生を進めることを目的とし、積極的に整備を行っている。

これらの河川流域では、かつては田畑や草木が繁茂する自然地が広がり、保水・遊水機能が保たれていたが急激な市街化により、これらの機能が著しく低下し、雨水が短時間で河川に流入することとなった。

このため、昭和40年以降、継続的な河川改修を行い、1時間あたり30mm規模の降雨に対処できる整備を昭和61年度に完了させた。その後1時間あたり50mm規模の降雨に対処できるよう、護岸の整備や調節池の設置などの治水対策を進め、神田川、野川、仙川、入間川（暫定）の整備は完了した。平成17年度からは石神井川に重点を移し、護岸の整備を進めている。

また、近年の降雨特性を考慮し、石神井川及び神田川は平成28年3月に、野川流域（仙川、入間川を含む）は平成29年7月に河川整備計画を変更し、流域対策効果を見込んだうえで1時間あたり75mm規模（野川流域は65mm規模）の降雨に対応できるよう、河道整備に加え調節池を整備する。

一方、近年は治水の役割に加えて、潤いのある水辺空間や地域の風土と文化を形成する重要な要素として、それぞれの個性を活かした川が求められるようになった。

21世紀に入り、更に質の高い自然環境再生の視点から国が創設した自然再生事業に、野川が平成14年度新規採択され、平成16年度に「野川第一、第二調節池地区自然再生協議会」が設立され、平成18年度には全体構想を策定して事業に着手した。

今後とも、管内河川の事業を進めるに際しては、流域住民や市民団体等と情報・意見交換を行うことを目的として設置した流域連絡会などを通じて、都民と行政が協働・連携して、地域に生きた親しめる川づくりを進める予定である。

管内各河川の整備状況は、表V-5のとおりであり、今年度も中小河川整備事業、河川環境整備事業、河川維持および水防活動などを積極的に行う。

表V-5

各河川の管内整備状況

(令和2年3月現在)

水系	河川名	管理延長(km)	整備延長(km)	50mm/hrの整備	
				整備済延長(km)	整備率(%)
荒川	石神井川	4.2	4.2	1.0	24
	神田川	1.6	1.6	1.6	100
	小計	5.8	5.8	2.6	45
多摩川	野川	11.6	11.6	11.6	100
	仙川	13.8	3.4	3.4	100
	入間川	1.8	1.7	0	0
	小計	27.2	16.7	15.0	90
合計	5河川	33.0	22.5	17.6	78

(入間川は暫定整備が完了)

(1) 中小河川整備事業

① 河道整備

中小河川整備事業として、前年度に引き続き、1時間50mm計画の河道改修を実施している。

ア) 石神井川

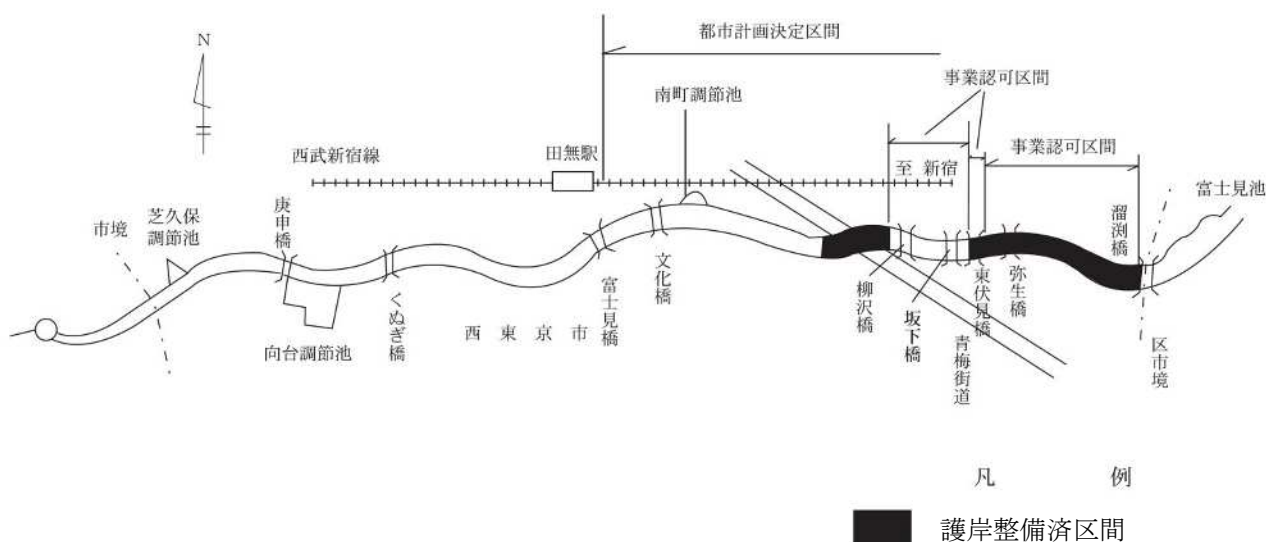
当所の管理区間は、練馬区と西東京市の境にある溜漕橋から上流、小平市と西東京市の境までの約4.2kmである。この区間の30mm/hr対応の護岸及び河床掘削は昭和63年度までに施行し、暫定整備は完了している。なお、青梅街道交差部190mについては、街路事業で50mm/hr対応の暗渠を昭和46年度に整備している。

その後、50mm/hr改修として、平成9年2月に溜漕橋上流から弥生橋上流約590m、平成15年1月に東伏見橋上下流100m〔街路事業：調布保谷線〕、平成19年9月に弥生橋上流から東伏見橋下流約150m、平成25年3月に坂下橋下流から柳沢橋上流約300m合計1,140mの認可を取得し事業を実施している。

平成28年度までにこの区間のうち約1,000mが完成している。

平成9年の河川法改正により策定が必要となった河川整備計画については、平成18年3月に「石神井川河川整備計画」として国土交通省の認可を得ている。

1時間あたり75mm規模の降雨に対応できるよう内容を変更した「石神井川河川整備計画」について、平成28年3月に国土交通省の認可を得ている。



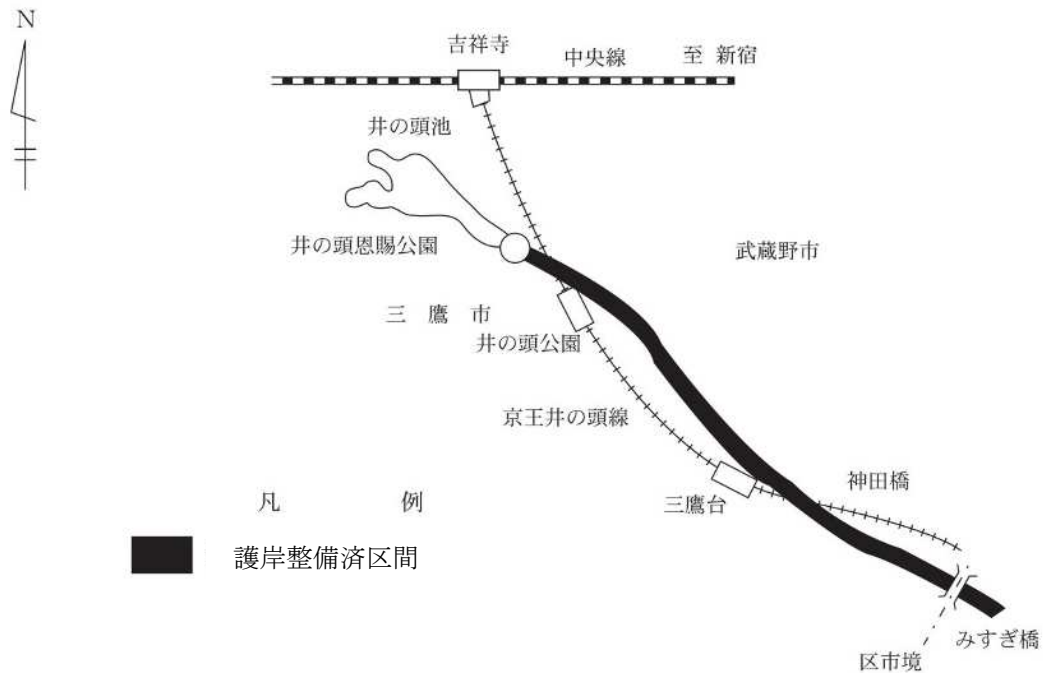
イ) 神田川

当所の管理区間は、三鷹市と杉並区の境にあるみすぎ橋から上流、三鷹市井の頭池までの約 1.6 km である。

50 mm/hr の改修工事は昭和 53 年度よりみすぎ橋から実施し、昭和 61 年度には、最上流部約 350 m の井の頭公園内において公園と一体整備により水辺に親しむことのできる親水護岸を構築し、全区間の改修が完了した。

平成 9 年の河川法改正により策定が必要となった河川整備計画について、平成 22 年 11 月に「神田川流域河川整備計画」として国土交通省の認可を得た。

さらに、1 時間あたり 75 mm 規模の降雨に対応できるよう内容を変更した「神田川流域河川整備計画」について平成 28 年 3 月に国土交通省の認可を得た。



ウ) 野 川

当所の管理区間は、世田谷区と狛江市の境から上流、小金井市と国分寺市の境にある鞍尾根橋までの延長約 11.6 km である。

このうち、世田谷区境から前橋までの区間は昭和 53 年度の丸山橋架替工事をもって 30 mm/hr 改修を終了させた。

また、前橋から鞍尾根橋までに至る延長約 1.7 km は、現況河道の改良を実施し、当面の洪水に対処した。

一方、50 mm/hr 改修は、昭和 55 年度から、下流世田谷区境より着手し、新小金井街道上流の坂下橋までの延長約 9.1 km を平成 8 年度までに完成させた。

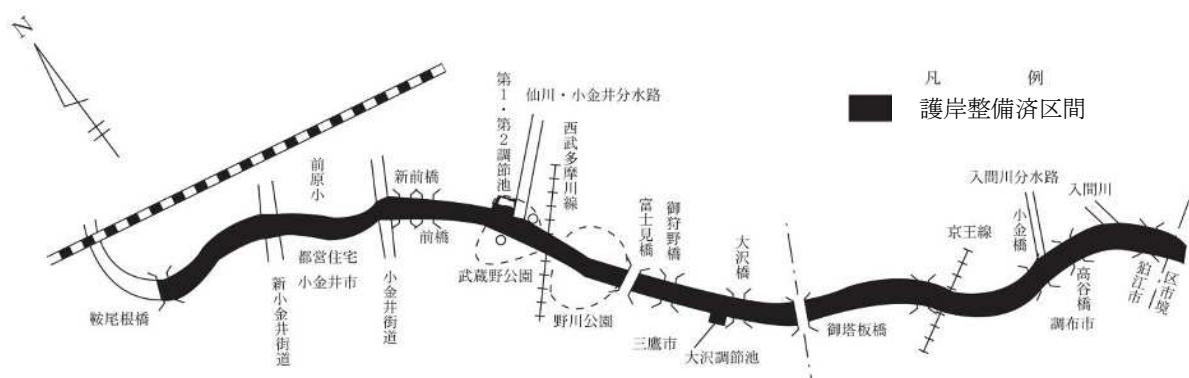
また、坂下橋上流から鞍尾根橋までの延長約 550m の区間を、平成 16 年度までに完成させ、管内の改修を完了させた。なお、本事業実施にあたっては、都民が身近に水と緑にふれあい、憩えるよう水辺環境にも配慮した整備を行っているが、河川環境に対する市民の要望の高まりに対応するため、現河道と調節池及び流域対策の組合せにより、平成 6 年 3 月に 50 mm/hr の全体計画の見直しを行った。

平成9年の河川法改正により策定が必要となった河川整備計画について、平成18年3月に「野川流域河川整備計画」として国土交通省の認可を得た。

さらに、入間川分水路の整備を追加して内容を変更した「野川流域河川整備計画」について、平成21年12月に国土交通省の認可を得た。

また、1時間あたり65mm規模の降雨に対応できるよう「野川流域河川整備計画」の変更を進めていたが、平成29年7月に国土交通省の認可を得た。

この計画変更に伴い、管内の野川では区市境から榛沢橋(三鷹市)までの約6km区間については、現況流下能力を確認し、計画高水流量に対して能力が不足している箇所は、現在の河川環境に配慮して河床掘削を行うこととしたため、令和元年度より工事を進めている。



エ) 仙 川



当所の管理区間は、世田谷区と調布市の境から上流、小金井貫井北町の一級河川終点までの13.8kmである。

このうち、50mm/hr改修が必要な区間である都道110号線(人見街道)・野川宿橋から国道20号線、仙川橋までの3.4kmの区間は、平成2年度までに50mm/hr対応の改修を完了した。

仙川の河川整備計画は、平成18年3月及び平成21年12月(変更)に「野川流域河川整備計画」として国土交通省の認可を得た。

また、1時あたり65mm規模の降雨に対応できるよう仙川も「野川流域河川整備計画」の中で定め、平成29年7月に国土交通省の認可を得た。

オ) 入間川

入間川は、野川合流点から国道 20 号線（甲州街道）までの約 1.8 km の河川であり、全川を当所で管理している。

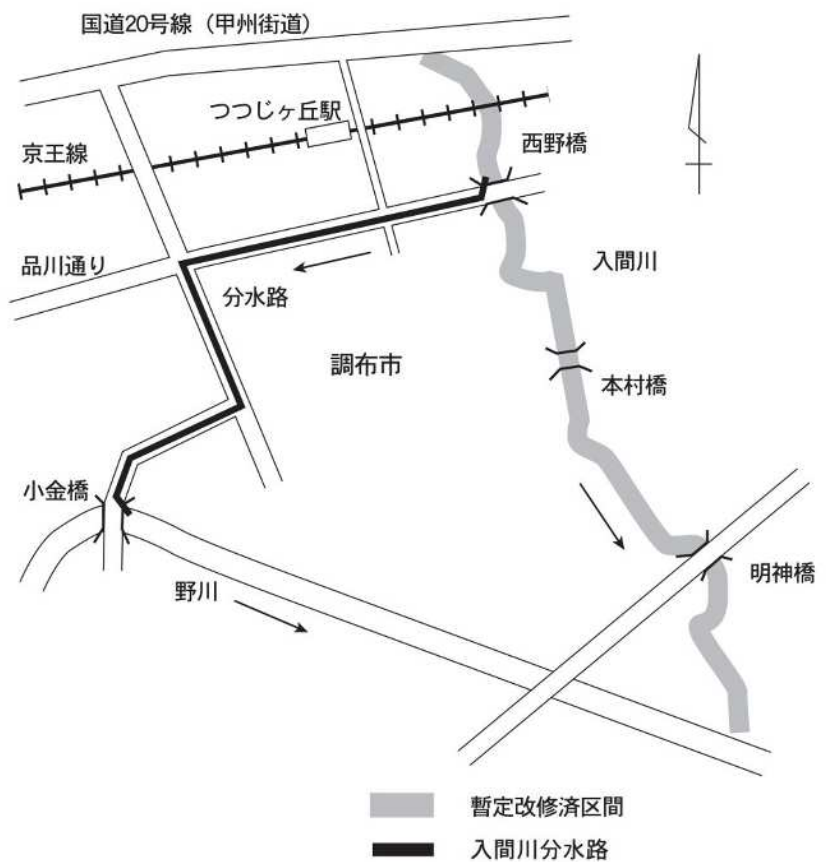
入間川の改修は、昭和 45 年より応急防災工事に着手し、引き続き河床の中央部に低水路を設ける局部改良工事を昭和 61 年度から実施した。平成元年度には西野橋から一級河川終点の国道 20 号線（甲州街道）付近までの約 360m を施工し、入間川の暫定改修工事は完了した。

その後、平成 17 年 9 月の豪雨で発生した中上流部における水害を早期に解消するため、西野橋上流から取水し、野川の小金橋に至る全長 1,230m の入間川分水路を

新たに計画し、平成 22 年度～25 年度に整備を行った。

入間川分水路の整備を追加して内容を変更した「野川流域河川整備計画」について、平成 21 年 12 月に国土交通省の認可を得た。

さらに、1 時あたり 65mm 規模の降雨に対応できるよう入間川も「野川流域河川整備計画」の中で定め、平成 29 年 7 月に国土交通省の認可を得た。



表V-6

管内分水路

(令和2年6月現在)

	仙川・小金井分水路	入間川分水路
所在地	仙川花見橋～野川小金井新橋下流	入間川西野橋～野川小金橋
施工年度	S49～S53	H22～H25
延長	1,900m	1,230m
勾配	0.47%	0.38%
構造	円形管 内径2.8m	円形管570m 内径2.2m ボックスカルバート620m 2m×2m 取水施設 40m
流量	最大8m ³ /秒	最大10m ³ /秒

② 調節池

都では1時間50mmの降雨に対応できるよう下流から河道改修を進めているが、全川が改修されるまでにはかなりの年月が必要となる。

そこで水害を軽減する方法として河川沿いに適地があれば、洪水の一部を貯留する調節池を設けることが効果的である。当所管内の調節池は6箇所完成し、洪水対策はもとより、周辺を緑地として、公園・スポーツ広場等として多目的に利用している。

また、河川整備計画に基づき、石神井川及び神田川では1時間あたり75mm規模の降雨に対応できるよう、野川流域では1時間あたり65mm規模の降雨に対応できるよう、調節池を整備する。

野川では、平成28年度より野川大沢調節池の規模拡大整備を実施しており、調節池の掘削工事及び排水のための機械設備・監視制御設備・電気設備の工事を令和元年度に完了し、令和2年度からは洪水取水部の越流堤改修工事を実施している。

石神井川では、河川整備計画に位置付けられた2つの調節池を地下トンネル式で一体的に整備する石神井川上流第一調節池（仮称）の事業に着手することとし、令和2年度は現況測量及び地質調査、基本設計を予定している。

表V-7

管内調節池（既設）

（令和2年6月現在）

	石 神 井 川			野 川		
	芝 久 保	南 町	向 台	第 一	第 二	大 沢
所在地	西 東 京 市 芝 久 保 一 丁 目	西 東 京 市 南 町 一 丁 目	西 東 京 市 向 台 五 丁 目	小 金 井 市 東 町 五 丁 目	小 金 井 市 中 町 一 丁 目	三 鷹 市 大 沢 五 ・ 六 丁 目
施工年度	S49～56	S55	S57～58	S57～59	S62～平成元	平成10～平成15
敷地面積	9,500 m ²	8,000 m ²	30,200 m ²	16,600 m ²	18,200 m ²	42,100 m ²
池面積	9,500 m ²	4,610 m ²	26,900 m ²	14,800 m ²	16,900 m ²	38,000 m ²
計画水位	2.6 m	2.85 m	2.88 m	1.8 m	1.9 m	2.5 m
計画貯留量	11,000 m ³	12,000 m ³	80,900 m ³	21,000 m ³	28,000 m ³	90,000 m ³

表V-8

管内調節池（事業中）

（令和2年6月現在）

河川名	名称	所在地	計画貯留量	施工年度
野 川	大 沢	三鷹市大沢五・六丁目	68,000 m ³ (158,000 m ³)	平成28年度～
石神井川	上流第一 (仮称)	未 定	約30万 m ³	未定

() は既設容量を含む

(2) 河川環境整備事業

① いこいの水辺の整備事業

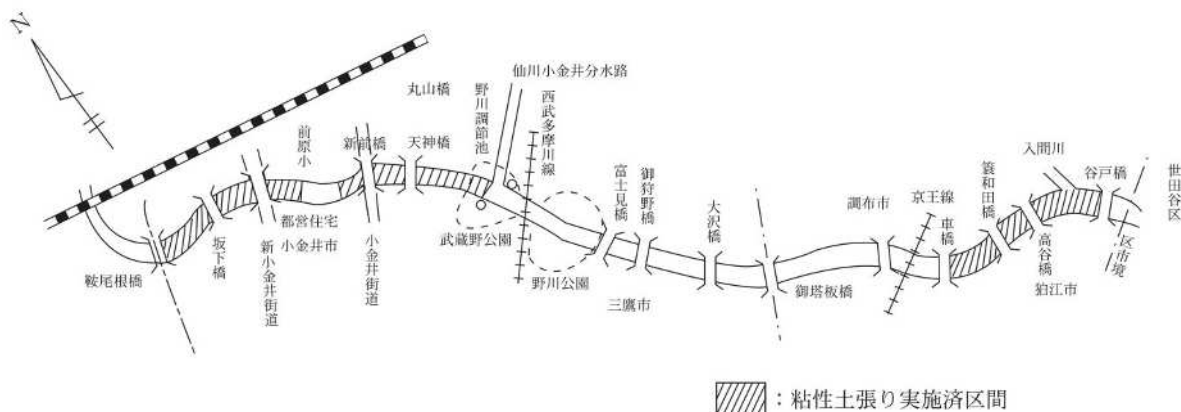
野川、仙川、神田川の昭和 62 年度までに 50 mm/hr 改修の完了した箇所において、都民が身近に水と緑にふれあい、憩えるような水辺空間を確保するため、管理用通路等を利用して遊歩道や緑地・スポット広場などの整備を実施した。現在、各市（小金井市、三鷹市、調布市、狛江市）と維持管理協定を締結し、整備済み箇所の維持管理の一部を委託している。

② 野川の水涸れ対策

平常時の水量が少なくなっている野川の現状に対し、水量回復と水涸れの解消が重要な課題となっている。このため水涸れ対策として、平成 8 年度及び 11 年度に箕輪田橋から車橋、その後、平成 13～14 年度に天神橋から仙川小金井分水路及び箕和田橋から谷戸橋付近までの区間、平成 19 年度に坂下橋から荒巻橋、平成 20 年度に前原小学校の下流から新前橋までの区間において、低水路に不透水層を設ける工事（粘性土張り工事）を実施した。

平成 21 年度には、次期工事箇所である天神橋上流に貴重種（キンヒバリ：コオロギ科）が確認されていたため、モニタリング調査を行った。モニタリング調査は、平成 20 年度工事箇所の植物等の再生状況を市民団体等と共に実施した。調査の結果、良好な再生状況が確認されたため、平成 22 年度には天神橋上流～新前橋、平成 23 年度は、西野台橋上流～荒巻橋下流を施工した。

さらに平成 26 年度は、前原小学校の上流から西野台橋の工事を施工した。



③ 野川自然再生事業

野川において、多様で豊富な生きものの生息・生育空間としての湿地環境を創出するため、市民と行政との連携を図りながら、野川第一、第二調節池及びその周辺を対象として整備を行っている。

平成 14 年度から 15 年度にかけて生きものの調査等を行い、平成 16 年度には、自然再生推進法に基づき、市民、学識経験者及び行政からなる「野川第一・第二調節池地区自然再生協議会」が発足した。平成 18 年度に自然再生全体構想および第一次実施計画書を策定した。

平成 18、19 年度に田んぼ、湿地、ため池等、平成 20、21 年度に越流堤の緑化、平成 22 年度に雨水貯留施設の整備が完了した。平成 23、24 年度に、モニタリング調査結果に基づき、自然再生事業（第

一次実施計画)の評価を行い、第二次実施計画書を策定した。平成 25、26 年度に野川の環境整備(河床粘性土張等)、平成 27 年度には、田んぼ、深池等の整備を第二次実施計画書に基づき実施した。

平成 30 年度には維持管理計画を策定し、今後はこれに基づき適切な維持管理を行っていく。

(3) 河川防災事業

護岸及び河床の形態保存のため、当所では暫定改修済みの石神井川、仙川において、河床の安定及び河川環境改善を目的として、ブロック及びコンクリート等で河床張りを施行し、また、人通りの多い箇所等の転落防止柵の付帯工事を実施し、昭和 63 年度に工事は完了した。

平成 13 年度から平成 15 年度に野川を、平成 16 年度から平成 18 年度に仙川の河川洗掘防止工事を実施した。平成 19 年度から平成 20 年度に仙川暗きょ部の補修工事を、平成 22 年度に仙川暗きょ部の除塵機更新工事を実施した。平成 26 年度に仙川、石神井川、平成 27 年度に入間川、平成 28 年度から仙川の護岸補修工事を実施している。

令和 2 年度も、引き続き仙川の護岸補修工事を実施する。

(4) 河川維持事業

河川維持事業は、河川の機能を常に良好の状態に保持する事業であり、損傷箇所は早急に補修を行い、災害防止に努め地域住民の安全と河川環境の保全を図るものである。

また、管内河川は、平常時の流量が少なく、河床への土砂、塵芥の堆積、汚泥の沈みなどが発生し環境衛生上から問題となるので、適時に清掃作業を行い、また、河道には雑草が繁茂するため、夏期及び晩秋に草刈りを行っている。

(5) 流域連絡会

地域に活きた親しめる川づくりには、都民と行政が共通の認識に基づき、良好なパートナーシップを築くことが重要である。このため、流域の住民や市民団体、関係自治体が一体となり、河川に係わる環境や地域の歴史・文化、河川計画・工事・管理などについて、情報・意見交換を行うことを目的に、流域連絡会を設置している。

当所が事務局を担当する「野川流域連絡会」は、平成 12 年 8 月に発足した。平成 31 年 1 月から第 9 期目がスタートし、都民委員 27 名、行政委員 20 名の合計 47 名が在籍している。現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和 2 年 2 月 10 日に開催した第 4 回総会を最後に活動が停止している。令和 2 年度は、感染拡大防止に配慮した、今までとは違う形式で活動が再開できるよう準備を進めている。

また、神田川上流懇談会には、行政委員として参加している。

4 水 防

台風や集中豪雨に際して管内水防管理団体（武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市、西東京市）の水防活動が円滑に行われるように「東京都水防計画」に基づいて、管内の「地域水防活動の手引き」を策定している。例年、出水期前の5月には水防連絡会を開催し、市役所、消防署、警察署、その他の関係機関と情報交換・意見の調整を行い、「水防計画」の周知徹底を図っている。平成2年度からは、水防管理団体と合同で排水ポンプ車訓練を行う。

管内には河川の水位、雨量を監視するために、水位計13箇所、雨量計7箇所を設置している。また、5箇所の調節池の貯留量を監視、さらに野川大沢調節池、石神井川芝久保調節池、野川鞍尾根橋及び入間川分水路には、テレビカメラ（I T V）を設置し映像による水位等の監視を行っている。これらの水防に関する情報については、水防災総合情報システム及び災害情報システムにより、関係機関へ迅速な情報提供を行っている。

管内河川では、水防法に基づき神田川及び野川・仙川を洪水予報河川、石神井川を水位周知河川に指定し、それぞれ基準水位に達した場合等の危険情報を水防管理団体に伝達することとしている。

また、管内5箇所の水防倉庫に水防用資器材を常時備蓄し、水害の防止や軽減に万全を期している。

さらに、平成30年6月に東京都北多摩南部建設事務所管内河川の実情に応じた減災に向けた取組の検討及び情報共有を行うため、「東京都管理河川の氾濫に関する減災協議会 東京都北多摩南部建設事務所幹事会」を設置した。なお、幹事会の構成は、所管する7市（武蔵野、三鷹、府中、調布、小金井、狛江及び西東京）、東京管区气象台、関東地方整備局京浜河川事務所、東京都総務局、東京都生活文化局、東京都福祉保健局、東京都水道局、東京都下水道局及び東京都教育庁となっている。

資 料 編

(1)	面積と人口	84
(2)	管理道路調書	85
(3)	管理橋梁調書	89
(4)	立体交差・トンネル調書	90
(5)	令和2年度路面補修工事等予定箇所別調書	91
(6)	令和元年度路面補修工事等実績箇所別調書	92
(7)	都市計画道路事業認可一覧表	93
(8)	第3次交差点すいすいプラン一覧表	96
(9)	令和2年度道路用地取得予定箇所調書	97
(10)	令和元年度道路用地取得箇所調書	99
(11)	都市計画河川事業箇所図	101
(12)	都市計画河川事業経緯一覧表	103
(13)	令和2年度事業箇所図	106
(14)	都市計画道路事業認可箇所図	108
(15)	事務所・工区案内図	110

(1) 面積と人口

令和2年4月1日現在（東京都総務局「東京都の人口（推計）」による。）

区分	地域	府中市	武蔵野市	三鷹市	調布市	小金井市	狛江市	西東京市	管内計
面積	(km ²)	29.43	10.98	16.42	21.58	11.30	6.39	15.75	111.85
世帯数		124,283	77,087	94,862	118,500	63,162	42,395	96,078	616,367
人口	(人)	263,557	148,998	193,535	240,276	126,087	84,072	206,796	1,263,321
人口密度	(人/km ²)	8,955	13,570	11,787	11,134	11,158	13,157	13,130	11,295

区分	地域	管内計	多摩部	区部	島部	総数	都全体との比率(%)	多摩部との比率(%)
面積	(km ²)	111.85	1,159.81	627.57	406.69	2,194.07	5.10%	9.64%
世帯数		616,367	1,983,908	5,160,824	12,626	7,157,358	8.61%	31.07%
人口	(人)	1,263,321	4,276,183	9,682,088	24,351	13,982,622	9.03%	29.54%
人口密度	(人/km ²)	11,295	3,687	15,428	60	6,373	—	—

(2) 管理道路調書

番号	路線名	管	
		起 点	終
主 3	世 田 谷 町 田 線	狛江市岩戸北四丁目(世田谷区境)	神奈川県川崎市登戸
主 4	東 京 所 沢 線	西東京市東伏見三丁目(練馬区境)	西東京市西原町四丁目
主 5	新 宿 青 梅 線	①西東京市西原町一丁目(主4交点) ②西東京市田無町三丁目(主4交点)	①西東京市西原町四丁目 ②西東京市芝久保四丁目
主 7	杉 並 あ き る 野 線	①武蔵野市吉祥寺南町三丁目(杉並区境) ②武蔵野市吉祥寺南町四丁目(杉並区境) 及び東京市東伏見四丁目(主4交点)	①武蔵野市関前五丁目 ②小金井市桜町三丁目
主 8	千 代 田 練 馬 田 無 線	西東京市富士町三丁目(練馬区境)	西東京市田無町一丁目
主 9	川 崎 府 中 線	①府中市是政二丁目 ②府中市是政五丁目(稲城市境)	①府中市押立町四丁目 ②府中市宮西町四丁目(一229交点)
主 11	大 田 調 布 線	狛江市岩戸南四丁目(世田谷区境)	調布市国領町一丁目
主 12	調 布 田 無 線	①調布市富士見町二丁目(国道20交点) ②調布市小島町一丁目(一119交点)	西東京市田無町三丁目
主 14	新 宿 国 立 線	三鷹市牟礼一丁目	府中市西原町一丁目
主 15	府 中 清 瀬 線	府中市八幡町一丁目(一229交点)	小金井市桜町三丁目
主 17	所 沢 府 中 線	①府中市武蔵台二丁目(国分寺市境) ②府中市栄町三丁目(国分寺市境)	①府中市本宿町二丁目(国道20交点) ②府中市宮西町四丁目
主 18	府 中 町 田 線	①府中市本宿町二丁目(国道20交点) ②府中市本町一丁目(主9交点)	多摩市関戸
主 19	町 田 調 布 線	稲城市矢野口(多摩川原橋)	①調布市小島町一丁目(国道20交点) ②調布市多摩川四丁目
主 20	府 中 相 模 原 線	①府中市四谷六丁目 ②府中市日新町四丁目	日野市百草
主 24	練 馬 所 沢 線	①西東京市北町四丁目(練馬区境) ②西東京市北町五丁目(練馬区境)	①西東京市北町四丁目 ②西東京市北町六丁目
主 25	飯 田 橋 石 神 井 新 座 線	西東京市下保谷四丁目(練馬区境)	西東京市ひばりヶ丘北二丁目
主 36	保 谷 志 木 線	西東京市泉町二丁目(一233交点)	西東京市栄町二丁目
主 要 地 方 道 計		17 路 線	
一110	府 中 三 鷹 線	府中市若松町二丁目(国道20交点)	三鷹市井の頭一丁目
一112	ひ ば り ヶ 丘 停 車 場 線	西東京市住吉町三丁目(ひばりが丘駅)	西東京市田無町三丁目
一113	杉 並 武 蔵 野 線	武蔵野市吉祥寺東町三丁目(杉並区境)	武蔵野市吉祥寺東町一丁目
一114	武 蔵 野 狛 江 線	武蔵野市吉祥寺本町二丁目(主7交点)	狛江市元和泉三丁目

主要地方道 17 路線 延長 86,075m 面積 1,672,501m
 一般都道 25 路線 延長 85,579m 面積 1,101,059m
 都道計 42 路線 延長 171,654m 面積 2,773,560m

令和2年4月1日現在

内				通称道路名	都市計画道路名
点	通過点	延長 m	面積 m ²		
(多摩水道橋)		2,450	56,756	世田谷通り	調布3.4.3
(東久留米市境)		3,856	85,302	所沢街道 青梅街道	西東京3.3.3 西東京3.4.8
(東久留米市境) (小平市境)		4,302	58,712	新青梅街道 青梅街道	西東京3.4.8 西東京3.3.3 西東京3.5.4 西東京3.4.7
(主7交差点) (小平市境)		16,801	265,308	井ノ頭通り 五日市街道 新武蔵境通り	武蔵野3.4.10 武蔵野3.4.3 武蔵野3.1.12 武蔵野3.3.6 小金井3.1.6 西東京3.2.6
(主4交点)		2,102	18,861	富士街道	
		4,773	95,780	府中街道 稻城大橋通り	府中3.4.22 府中3.4.7 府中3.4.3
(-119交点)		5,492	71,157	狛江通り 水道道路	調布3.4.18 調布3.4.2 調布3.4.7 調布3.4.4
(主4交点)	三鷹市 武蔵野市	10,016	175,882	武蔵境通り 連雀通り 新武蔵境通り	調布3.2.6 三鷹3.2.6 三鷹3.4.7 武蔵野3.4.22 西東京3.4.20
(主17交点)	調布市 小金井市	11,317	354,747	東八道路	府中3.2.2の1 小金井3.2.2 府中3.2.2の2 三鷹3.2.2
(小平市境)		5,369	67,983	小金井街道	府中3.5.17 小金井3.4.13 小金井3.4.14 府中3.4.18
		4,365	102,953	府中街道 新府中街道	府中3.4.22 府中3.3.8
(関戸橋)		4,583	95,557	鎌倉街道 新府中街道	府中3.3.8 府中3.4.22
		2,785	71,210	鶴川街道	調布3.2.6 調布3.4.4
(府中四谷線)		3,025	86,910	野猿街道	府中3.3.24 府中3.4.3
(埼玉県境) (-234交点)		695	15,295		西東京3.3.14
(埼玉県境)		2,257	31,494		西東京3.4.13
(主25交点)		1,887	18,594		
		86,075	1,672,501		
(主14交点)		10,200	107,674	人見街道 新小金井街道	府中3.4.12 三鷹3.5.4
		3,112	47,089		西東京3.4.11 西東京3.4.20
(主7交点)		1,161	11,891	吉祥寺通り	武蔵野3.4.11
(主3交点)		13,335	180,930	吉祥寺通り 松原通り	三鷹3.4.14 武蔵野3.4.16 三鷹3.4.12 調布3.4.17 調布3.4.4

番号	路線名	管	
		起 点	終
一115	吉祥寺停車場線	武蔵野市吉祥寺本町一丁目(吉祥寺駅)	武蔵野市吉祥寺本町一丁目
一116	関町吉祥寺線	武蔵野市吉祥寺東町二丁目(練馬区境)	武蔵野市吉祥寺東町二丁目
一117	世田谷三鷹線	三鷹市北野四丁目(世田谷区境)	三鷹市新川三丁目
一118	調布経堂停車場線	調布市仙川町二丁目(国道20交点)	調布市若葉町二丁目
一119	北浦上石原線	調布市国領町二丁目(国道20交点)	調布市上石原一丁目
一120	下石原小島線	調布市多摩川五丁目	調布市小島町一丁目
一121	武蔵野調布線	武蔵野市吉祥寺北町四丁目(主7交点)	調布市布田二丁目
一123	境調布線	武蔵野市境四丁目(主7交点)	調布市上石原一丁目
一132	小川山田無線	西東京市芝久保三丁目(小平市境)	西東京市田無町六丁目
一133	小川山府中線	府中市栄町二丁目(国分寺市境)	府中市府中町一丁目
一134	恋ヶ窪新田三鷹線	小金井市貫井北町五丁目(国分寺市境)	三鷹市牟礼三丁目
一135	武蔵小金井停車場線	小金井市本町五丁目(武蔵小金井駅)(一136交点)	小金井市本町五丁目
一136	武蔵小金井停車場貫井線	小金井市本町五丁目(武蔵小金井駅)(一135交点)	小金井市貫井北町五丁目
一145	立川国分寺線	府中市武蔵台三丁目(国分寺市境)	府中市武蔵台三丁目
一229	府中調布線	府中市本宿町二丁目(国道20交点)	調布市下石原一丁目
一233	東大泉田無線	西東京市東町三丁目(練馬区境)	①西東京市田無町一丁目 ②西東京市東伏見五丁目
一234	前沢保谷線	西東京市栄町一丁目(主25交点) 西東京市北町三丁目(埼玉県境)	西東京市富士町二丁目
一245	杉並田無線	西東京市富士町三丁目(練馬区境)	西東京市北原三丁目
一247	府中小金井線	小金井市東町五丁目(一134交点)	小金井市緑町二丁目
一248	府中小平線	府中市是政三丁目(主9交点)	小金井市貫井北町三丁目
一253	保谷狭山自然公園 自 転 車 道 線	西東京市新町四丁目(主7交点)	西東京市向台町六丁目
一 般 都 道 計			25 路 線
都 道 計			42 路 線

点	内			通称道路名	都市計画道路名
	通過点	延長 m	面積 m ²		
(-114交点)		172	2,718		武蔵野3.4.4
(-113交点)		538	5,892	吉祥寺通り	武蔵野3.4.16
(-114交点)		1,813	18,061	吉祥寺通り	
(世田谷区境)		930	5,880		
(-229交点)		2,350	23,786	旧甲州街道	
(-119交点)		1,285	11,139		調布3.4.4
(-119交点)	三鷹市	7,191	106,478	三鷹通り	武蔵野3.5.19 三鷹3.4.17 調布3.4.26
(-229交点)	三鷹市	6,123	93,662	天文台通り	武蔵野3.5.21 武蔵野3.4.24 三鷹3.4.20 武蔵野3.4.7 調布3.4.32
(主5交点)		1,159	8,991		
(-229交点)		1,616	26,389	国分寺街道	府中3.4.21
(-110交点)		8,395	88,899	連雀通り	小金井3.4.1 小金井3.4.4 小金井3.4.3 三鷹3.4.7
(主15交点)		101	1,439		小金井3.4.4
(-134交点)		1,414	21,748		小金井3.4.4
(国分寺市境)		449	7,382	多喜窪通り	
(国道20交点)		7,432	91,236	旧甲州街道	府中3.4.9
(主4交点) (主4交点)		2,856	25,733	伏見通り	西東京3.2.6 西東京3.4.16 西東京3.2.12
(主8交点)		2,941	34,969	伏見通り	西東京3.4.11
(主4交点)		2,328	37,060	新青梅街道	西東京3.5.4
(主7交点)		1,614	29,349		小金井3.4.11 府中3.4.16
(主7交点)		5,217	105,110	新小金井街道	府中3.4.7 小金井3.4.7 府中3.4.3
(小平市境)		1,847	7,554	多摩湖自転車歩行者道	
		85,579	1,101,059		
		171,654	2,773,560		

(3) 管理橋梁調書

① 一般橋

(令和2年4月1日現在)

No.	橋名 フリガナ	路線名	番号	箇所	橋長 (m)	備考	
1	茜屋橋	アキヤハシ	府中小平線	248	小金井市貫井北町3-33	10.5	
2	石原橋(下り)	イハラハシ(クダリ)	町田調布線	19	調布市下石原3	11.3	
3	石原橋(上り)	イハラハシ(ノボリ)	町田調布線	19	調布市下石原3	11.3	
4	和泉高架橋(下り)	イズミウカキョウ(クダリ)	世田谷町田線(調布3・4・3)	3	狛江市東和泉3	69.0	
5	和泉高架橋(上り)	イズミウカキョウ(ノボリ)	世田谷町田線(調布3・4・3)	3	狛江市元和泉3	69.0	
6	いちょう橋	イチヨウハシ	調布田無線(三鷹3・2・6)	12	三鷹市上連雀1丁目	14.0	
7	榎橋	エノキハシ	武蔵野調布線	121	調布市佐須町1-6-16	29.8	
8	大沢橋	オオサワハシ	境調布線	123	三鷹市大沢4-9-1	28.5	
9	御塔坂橋	オウザカハシ	調布田無線	12	調布市深大寺元町1-28	31.5	
10	小野宮橋	オノミヤハシ	府中町田線	18	府中市住吉町1-28	6.7	
11	おらほ橋	オラホハシ	武蔵野狛江線	114	調布市仙川町1-4-4	25.5	
12	上仙川橋	カミセンカワハシ	武蔵野狛江線	114	三鷹市新川3-17	15.1	
13	上連雀一之橋	カミレンジヤクイチノハシ	調布田無線(三鷹3・2・6)	12	三鷹市上連雀5丁目	5.0	
14	櫻橋	ケヤキハシ	武蔵野調布線	121	三鷹市上連雀1-2	9.6	
15	小金井橋	コガネハシ	府中清瀬線	15	小金井市桜町1-15	14.5	
16	是政橋(上り)	コレサハシ	川崎府中線	9	稲城市大丸2258	401.0	
17	是政橋(下り)	コレサハシ	川崎府中線	9	稲城市大丸2258	401.0	
18	是政橋取付高架橋(下り)	コレサトリツクウカキョウ(クダリ)	川崎府中線(府中3・4・7)	9	府中市是政5丁目	85.9	
19	是政橋取付高架橋(上り)	コレサトリツクウカキョウ(ノボリ)	川崎府中線(府中3・4・7)	9	府中市是政5丁目	85.9	
20	境橋	サカイハシ	境調布線	123	武蔵野市桜堤1-6-23	6.7	
21	桜橋	サクラハシ	調布田無線	12	武蔵野市境3	12.0	
22	新稲荷橋	シンイナリハシ	町田調布線	19	調布市下石原3-70	4.8	
23	新川大橋	シンカワオオハシ	新宿国立線	14	三鷹市新川6-773-7	17.9	
24	新前橋	シンマエハシ	府中清瀬線	15	小金井市前原町3-2	26.5	
25	関戸橋(下り)	セキトハシ(クダリ)	府中町田線	18	府中市住吉町2-30-30	375.8	事業中
26	関戸橋(上り)	セキトハシ(ノボリ)	府中町田線	18	府中市住吉町5-22-13	375.8	事業中
27	関野橋	セキノハシ	府中小金井線	247	小金井市緑町2-17-37	10.5	
28	大正橋	タイショウハシ	調布経堂停車場線	118	調布市東つつじヶ丘1-12	10.2	
29	多摩川原橋(下り)	タマカワラハシ(クダリ)	町田調布線	19	調布市多摩川3-19	401.5	
30	多摩川原橋(上り)	タマカワラハシ(ノボリ)	町田調布線	19	調布市多摩川3-19	402.0	
31	多摩川原橋取付高架橋(下り)	タマカワラハシトリツクウカキョウ(クダリ)	町田調布線	19	調布市多摩川3-19	82.5	
32	多摩川原橋取付高架橋(上り)	タマカワラハシトリツクウカキョウ(ノボリ)	町田調布線	19	調布市多摩川3-19	82.5	
33	多摩水道橋(下り)	タマスイドウハシ(クダリ)	世田谷町田線(調布3・4・3)	3	狛江市元和泉3	358.8	
34	多摩水道橋(上り)	タマスイドウハシ(ノボリ)	世田谷町田線(調布3・4・3)	3	狛江市元和泉3	358.8	
35	中川4号橋	ナカガワ4ゴウキョウ	府中町田線	18	府中市分梅町3-50	7.5	
36	長久保三之橋	ナガクボサンノハシ	武蔵野狛江線	114	三鷹市新川6	15.9	
37	西台橋	ニシダイハシ	府中清瀬線	15	小金井市前原町3-18	7.5	
38	貫井大橋	ヌクイオオハシ	府中小平線	248	小金井市貫井南町2-11	23.2	
39	野川大橋	ノガワオオハシ	武蔵野狛江線(調布3・4・17)	114	狛江市西野川1-27	29.1	
40	野川宿橋	ノガワシュクハシ	府中三鷹線	110	三鷹市新川6-27	4.3	
41	東伏見橋	ヒガシフシミハシ	東大泉田無線(西東京3・2・6)	233	西東京市東伏見1丁目	25.2	
42	富士見大橋	フジミオオハシ	新宿国立線	14	三鷹市大沢2-15	30.7	
43	富士見橋	フジミハシ	調布田無線	12	西東京市南町4-8	7.0	
44	無名2号橋	ムメイ2ゴウキョウ	府中町田線	18	府中市本町1-14	7.8	
45	府中本町陸橋	フチュホンマチリツキョウ	府中町田線	18	府中市本町1-14	94.1	
46	府中四谷橋	フチュヨツヤハシ	府中相模原線	20	府中市四谷4	446.0	
47	府中四谷橋取付高架橋	フチュヨツヤハシトリツクウカキョウ	府中相模原線(府中3・3・24)	20	府中市四谷4	75.0	
48	分梅橋	ブンバイハシ	府中町田線	18	府中市分梅町4-5	9.4	
49	堀合北陸橋	ホリアイキタリツキョウ	武蔵野調布線	121	三鷹市上連雀1-1	10.8	
50	堀合南陸橋	ホリアイナミリツキョウ	武蔵野調布線	121	三鷹市下連雀3-45	10.8	
51	本宿陸橋	ホンシュクリツキョウ	府中町田線	18	府中市本宿町1-19	19.5	
52	前橋	マエハシ	府中清瀬線	15	小金井市前原町4-23	4.9	
53	萬助橋	マンスケハシ	武蔵野狛江線	114	武蔵野市御殿山1-19	16.5	
54	御狩野橋	ミカリノハシ	府中三鷹線	110	三鷹市大沢2-15	23.6	
55	水吐橋	ミズハクハシ	調布田無線	12	武蔵野市境3	2.3	
56	明神橋	ミョウジンハシ	武蔵野狛江線	114	調布市入間町2-2	5.0	
57	武蔵野橋	ムサシノハシ	杉並あきる野線	7	武蔵野市八幡町3-8	2.8	
58	無名3号橋	ムメイ3ゴウキョウ	境調布線	123	武蔵野市境4-7	3.0	
59	柳沢橋	ヤナギサワハシ	東京所沢線	4	西東京市柳沢1-11	39.5	
合計						4,772.7	

※ 事業課管理橋梁含む

② 横断歩道橋

(令和2年4月1日現在)

No.	橋 名		路 線 名		簡 所	橋 長	備 考
		フリガナ		番号			
1	泉	イズミ	杉並あきる野線	7	武蔵野市吉祥寺南町3～4	42.0	
2	泉小学校前	イズミショウガクコウマエ	保谷志木線	36	西東京市泉町2～3	57.5	
3	入間	イマ	武蔵野狛江線	114	調布市入間町1～若葉町3	70.9	
4	大沢台	オオサヅタイ	新宿国立線	14	三鷹市大沢2～3	47.6	
5	押立	オシタテ	川崎府中線	9	府中市押立3	529.7	
6	北の台	キタノダイ	武蔵野調布線	121	調布市深大寺東町5～深大寺北町2	40.8	
7	北原	キタハラ	新宿青梅線	5	西東京市本町1、3～北原3	103.2	
8	北原第一	キタハラダイイチ	新宿国立線	14	調布市深大寺東町8	48.6	
9	北原第二	キタハラダイニ	新宿国立線	14	調布市深大寺北町4～深大寺東町8	48.6	
10	北府中駅前	キタフチュウエキマエ	所沢府中線	17	府中市晴見町2	51.5	
11	西蔵院前	サイゾウインマエ	川崎府中線	9	府中市是政3	51.0	
12	坂上	サカウエ	東京所沢線	4	西東京市東伏見4～3	96.1	
13	桜堤	サクラツツミ	杉並あきる野線	7	武蔵野市桜堤2～3	69.1	
14	下保谷ふれあい	シモホリヤフレアイ	東大泉田無線 (西東京3・2・6)	233	西東京市東町2	60.8	
15	深大寺	シンダイジ	武蔵野調布線	121	調布市深大寺南町4～深大寺元町5	34.0	
16	住吉	スミヨシ	府中町田線	18	府中市住吉町2～5	60.8	
17	成蹊前	セイキウマエ	杉並あきる野線	7	武蔵野市吉祥寺本町4～吉祥寺北町3	35.7	
18	千川	センカワ	杉並あきる野線	7	武蔵野市関前4～西東京市新町1	60.5	
19	千駄山ふれあい	センダヤマフレアイ	東大泉田無線 (西東京3・2・6)	233	西東京市東伏見1	118.7	
20	田柄川	タカラガワ	杉並田無線	245	西東京市保谷町6～3	40.7	
21	田無町七丁目	タナシチヨウナナチヨウメ	新宿青梅線	5	西東京市西原町2～田無町7	140.1	
22	多摩川	タマガワ	町田調布線	19	調布市多摩川1～3	69.7	
23	中河原北	ナカガワキタ	府中町田線	18	府中市住吉町1～4	84.1	
24	中河原南	ナカガワミナミ	府中町田線	18	府中市住吉町5～2	158.2	
25	西原	ニシハラ	新宿青梅線	5	西東京市芝久保町5～西原町4	45.5	
26	東伏見	ヒガシフシミ	東京所沢線	4	西東京市東伏見5～6	55.1	
27	富士見	フジミ	武蔵野調布線	121	三鷹市下連雀3～上連雀2	30.2	
28	府中多磨町	フチュウタマチョウ	新宿国立線	14	府中市多磨町4～3	73.0	
29	府中二小前	フチュウニショウマエ	府中清瀬線	15	府中市府中町3～緑町1	42.4	
30	三鷹一小南	ミタカイツショウミナミ	新宿国立線	14	三鷹市新川6～3	124.9	
31	柳沢	ヤギサザ	東京所沢線	4	西東京市柳沢2～1	51.6	
合計						2,542.6	

※ 事業課管理橋梁を含む。

③ 人道橋

(令和2年4月1日現在)

No.	橋 名		路 線 名		簡所	橋長	備 考
		フリガナ		番号			
1	ぎんなん橋	ギンナンシ	調布田無線 (三鷹3・2・6)	12	三鷹市上連雀1	13.5	玉川上水
2	大正橋	ダイショウシ	調布経堂停車場線	118	調布市東つつじヶ丘1-12	46.7	跨線橋
合計						60.2	

※ 事業課管理橋梁を含む。

(4) 立体交差・トンネル調書

(令和2年4月1日現在)

No.	施 設 名		路 線 名		簡 所	備 考
		フリガナ		番号		
1	小柳立体	コヤナギリツタイ	川崎府中線	9	府中市小柳町4	立体交差
2	清水が丘立体	シミズガカウリツタイ	府中小平線 (府中3・4・7)	248	府中市若松町	立体交差
3	貫井立体	クワイリツタイ	府中小平線	248	小金井市貫井北町1	立体交差(JR施設含む)
4	府中栄町立体	フチュウサカエチョウリツタイ	新宿国立線	12	府中市栄町3	立体交差
5	三鷹立体	ミタカリツタイ	武蔵野調布線	121	三鷹市上連雀1	立体交差(JR施設含む)
6	しみず下トンネル	シミズシタトンネル	府中小平線 (府中3・4・7)	248	府中市清水が丘2	トンネル
7	西東京下保谷トンネル	ニシトウキョウシモホリヤトンネル	前沢保谷線 (西東京3・2・6)	234	西東京市下保谷1	トンネル
8	西東京東伏見トンネル	ニシトウキョウヒガシフシミトンネル	東大泉田無線 (西東京3・2・6)	233	西東京市富士町6	トンネル
9	貫井トンネル	クワイトンネル	府中小平線	248	小金井市貫井南町3	トンネル
10	本宿トンネル	ホンシュクトンネル	府中町田線	18	府中市本宿町1	トンネル

※ 事業課管理施設を含む。

(5) 令和2年度路面補修工事等予定箇所別調書

路線番号	施工箇所	規模	工種	摘用
主12	調布市富士見町二丁目～深大寺元町一丁目	1,010	切削 (H=10)	1債務
主4	西東京市南町一丁目～田無町一丁目	400	切削 (H=10)	1債務
主12	西東京市田無町二丁目～三丁目	390	切削 (H=10)	1債務
主11	世田谷区喜多見二丁目～狛江市駒井町二丁目	340	切削 (H=10)	1債務
一110	三鷹市野崎二丁目	130	切削 (H=10)	1債務
一123	三鷹市大沢二丁目	180	歩道改修	1債務
一134	三鷹市井口三丁目～一丁目	440	切削 (H=10)	1債務
主3	狛江市岩戸南三丁目～岩戸北三丁目	600	部打 (H=25)	
主14	府中市栄町三丁目～武蔵台一丁目	620	切削 (H=10)	
主4	西東京市西原町三丁目～五丁目	350	切削 (H=10)	
一121	調布市深大寺南町四丁目～佐須町一丁目	380	切削 (H=10)	
一114	三鷹市下連雀五丁目～新川六丁目	360	切削 (H=10)	
主7	武蔵野市吉祥寺南町三丁目～二丁目	340	切削 (H=10)	
主18	府中市住吉町一丁目～五丁目	400	切削 (H=10)	
主12	西東京市向台町二丁目～一丁目	250	切削 (H=10)	
主15	小金井市本町五丁目～桜町三丁目	820	切削 (H=10)	
一121	調布市深大寺東町七丁目～八丁目	510	切削 (H=10)	
主5	西東京市田無町六丁目～芝久保町四丁目	620	部打 (H=25)	
一121	三鷹市下連雀七丁目～上連雀六丁目	410	部打 (H=25)	2債務
一134	三鷹市牟礼三丁目～六丁目	150	切削 (H=10)	2債務
一114	調布市入間町一丁目	100	擁壁補修	
主15	小金井市前原町三丁目	170	擁壁補修	2債務
主4	西東京市北原町一丁目	8橋	歩道橋塗装、舗装	北原歩道橋
主4	西東京市柳沢二丁目			柳沢歩道橋
主5	西東京市西原町二丁目			田無町七丁目歩道橋
主7	武蔵野市吉祥寺本町四丁目			成蹊前歩道橋
主9	府中市押立町三丁目			押立歩道橋
主14	三鷹市新川六丁目			三鷹一小南歩道橋
主14	調布市深大寺東町四丁目			北原第二歩道橋
主17	府中市晴見町二丁目			北府中歩道橋

(6) 令和元年度路面補修工事等実績箇所別調書

路線番号	施工箇所	規模	工種	摘用
主7	武蔵野市関前四丁目 ～西東京市新町三丁目	320	部打 (H=25) セミフラット	30債務
-134	三鷹市牟礼四丁目～六丁目	200	切削 (H=10)	30債務
-114	調布市仙川町三丁目～若葉町二丁目	840	切削 (H=10) 自転車走行空間	30債務
主5	西東京市芝久保町三丁目 ～小平市花小金井二丁目	700	部打 (H=25)	30債務
-134	武蔵野市境南町五丁目 ～三鷹市井口三丁目	630	部打 (H=25)	30債務
主15	小金井市前原町五丁目～三丁目	500	部打 (H=25)	
-245	西東京市富士町四丁目～一丁目	370	部打 (H=25) セミフラット	
主7	西東京市柳沢三丁目～東伏見五丁目	380	切削 (H=10)	
-123	武蔵野市桜堤一丁目～四丁目	250	切削 (H=10)	
主12	調布市富士見町二丁目 ～深大寺元町一丁目	1,010	切削 (H=10)	1債務
主4	西東京市南町一丁目～田無町一丁目	400	切削 (H=10)	1債務
主12	西東京市田無町二丁目～三丁目	390	切削 (H=10)	1債務
主15	府中市宮町二丁目～緑町一丁目	275	自転車走行空間	30債務
-229	府中市宮西町二丁目～八幡町一丁目	440	切削 (H=10) 自転車走行空間	
-229	府中市若松町一丁目 ～調布市下石原一丁目	2,900	誘導ブロック設置	
主15	小金井市前原町三丁目～中町四丁目	70	擁壁補修	
主5	西東京市西原町四丁目 ～芝久保町五丁目			西原歩道橋
主7	武蔵野市吉祥寺南町三丁目			泉歩道橋
主9	府中市押立町三丁目	5橋	歩道橋塗装	押立歩道橋
-114	調布市入間町一丁目			入間歩道橋
-121	三鷹市下連雀三丁目			富士見歩道橋

(7) 都市計画道路事業認可一覧表

対象 番号	路 線 名		起 終 点 点	延 長 m 幅 員 m	当 初 認 可 日 当 初 認 可 番 号 期 限 年 度
1	武蔵野 3・4・24	西 調 布 境 橋 線	武蔵野市境南四丁目 武蔵野市境二丁目	480 16	平成15年3月5日 第49号 令和3年度末
2	府 中 3・4・7	府 中 清 瀬 線	府中市清水ヶ丘二丁目 府中市若松町一丁目	550 22	平成18年10月30日 第424号 令和2年度末
3	府 中 3・2・2の2 国 立 3・3・2	東 京 八 王 子 線	府中市西原町二丁目 国立市谷保	1,300 36~41	平成23年7月5日 第312号 令和7年度末
4	府 中 3・4・5 国 立 3・4・5 府 中 3・2・2の2	新 奥 多 摩 街 道 線 立 川 青 梅 線 東 京 八 王 子 線	府中市西原町三丁目 国立市富士見台一丁目	360 20	平成25年7月3日 第318号 令和7年度末
5	西東京 3・2・6	調 布 保 谷 線	西東京市富士見町一丁目 西東京市北町三丁目	3,085 36	平成12年11月17日 第2170号 令和2年度末
6	西東京 3・2・6	調 布 保 谷 線	西東京市柳沢一丁目 西東京市富士見町六丁目	800 20~36	平成14年1月10日 第10号 平成26年度末
7	西東京 3・4・9	保 谷 東 村 山 線	西東京市北原町二丁目 西東京市西原町四丁目	1,380 16	平成23年9月28日 第369号 令和5年度末
8	西東京 3・4・9	保 谷 東 村 山 線	西東京市中町六丁目 西東京市北原町二丁目	1,210 16	平成27年1月26日 第24号 令和2年度末
9	西東京 3・4・12 西東京 3・4・16	東 町 線 東 伏 見 保 谷 線	西東京市東町三丁目 練馬区南大泉三丁目	120 16	平成10年7月10日 第1434号 令和3年度末
10	西東京 3・4・13	保 谷 秋 津 線	西東京市ひばりが丘北一丁目 西東京市ひばりが丘北二丁目	190 16	令和元年12月20日 第109号 令和7年度末
11	西東京 3・3・14	新 東 京 所 沢 線	西東京市北町六丁目 西東京市北町二丁目	445 18	平成30年3月22日 第67号 令和6年度末
12	調 布 3・4・11	柴 崎 駅 下 石 原 線	調布市佐須町一丁目 調布市富士見町三丁目	950 16	平成18年11月24日 第439号 令和4年度末
13	調 布 3・4・17	狛 江 仙 川 線	調布市若葉町三丁目 調布市仙川町一丁目	645 16	平成9年11月28日 第1999号 令和3年度末
14	調 布 3・4・17	狛 江 仙 川 線	狛江市元和泉三丁目 狛江市元和泉二丁目	650 16	平成12年1月17日 第48号 令和4年度末
15	調 布 3・4・17 三 鷹 3・4・11	狛 江 仙 川 線 北 野 仙 川 線	調布市仙川町三丁目 三鷹市北野四丁目	1,060 16~16.5	平成28年2月17日 第32号 令和3年度末

対象 番号	路 線 名		起 点 終 点	延 長 m 幅 員 m	当 初 認 可 日 当 初 認 可 番 号 期 限 年 度
16	調 布 3・4・18	狛 江 銀 座 吉 祥 寺 線	調 布 市 八 雲 台 二 丁 目 調 布 市 柴 崎 一 丁 目	840 16	平 成 28 年 2 月 17 日 第 31 号 令 和 3 年 度
17	調 布 3・4・18	狛 江 銀 座 吉 祥 寺 線	調 布 市 柴 崎 一 丁 目 調 布 市 深 大 寺 南 町 三 丁 目	740 12～16	平 成 28 年 12 月 27 日 第 364 号 令 和 4 年 度 末
18	三 鷹 3・2・2	東 京 八 王 子 線	三 鷹 市 牟 礼 一 丁 目 三 鷹 市 牟 礼 五 丁 目	500 30～36	平 成 12 年 3 月 27 日 第 681 号 平 成 20 年 度 末
19	三 鷹 3・2・2	東 京 八 王 子 線	三 鷹 市 牟 礼 一 丁 目 三 鷹 市 牟 礼 一 丁 目	530 30～36	平 成 16 年 5 月 24 日 第 206 号 平 成 23 年 度 末
20	三 鷹 3・4・3	北 野 烏 山 線	三 鷹 市 北 野 三 丁 目 三 鷹 市 北 野 三 丁 目	140 16	平 成 25 年 9 月 26 日 第 407 号 令 和 7 年 度 末
21	三 鷹 3・2・6 武 蔵 野 3・3・6	調 布 保 谷 線	三 鷹 市 野 崎 二 丁 目 武 蔵 野 市 関 町 一 丁 目	3,070 36	平 成 14 年 7 月 3 日 第 266 号 令 和 4 年 度 末
22	三 鷹 3・4・7	三 鷹 国 分 寺 線	三 鷹 市 下 連 雀 五 丁 目 三 鷹 市 下 連 雀 七 丁 目	780 16	平 成 23 年 12 月 1 日 第 435 号 令 和 5 年 度 末
23	三 鷹 3・4・11	北 野 仙 川 線	三 鷹 市 北 野 三 丁 目 三 鷹 市 北 野 四 丁 目	150 16.5	平 成 25 年 9 月 26 日 第 408 号 令 和 7 年 度 末
24	三 鷹 3・4・12	本 村 井 の 頭 公 園 駅 前 線	三 鷹 市 北 野 二 丁 目 三 鷹 市 北 野 三 丁 目	840 16	平 成 24 年 6 月 15 日 第 230 号 令 和 5 年 度 末
25	三 鷹 3・4・12	本 村 井 の 頭 公 園 駅 前 線	三 鷹 市 北 野 四 丁 目 三 鷹 市 北 野 三 丁 目	240 16	平 成 25 年 9 月 26 日 第 409 号 令 和 7 年 度 末
26	小 金 井 3・4・3	新 小 金 井 貫 井 線	小 金 井 市 本 町 六 丁 目 小 金 井 市 貫 井 南 町 三 丁 目	520 16	平 成 9 年 3 月 6 日 第 374 号 平 成 23 年 度 末
27	小 金 井 3・4・11 小 金 井 3・4・16	府 中 東 小 金 井 線 東 小 金 井 駅 北 口 東 西 線	小 金 井 市 中 町 二 丁 目 小 金 井 市 梶 野 町 五 丁 目	420 18	平 成 18 年 9 月 27 日 第 394 号 令 和 5 年 度 末
28	小 金 井 3・4・13	小 金 井 久 留 米 線	小 金 井 市 本 町 五 丁 目 小 金 井 市 本 町 二 丁 目	400 16	平 成 10 年 7 月 10 日 第 1435 号 平 成 22 年 度 末

(8) 第3次交差点すいすいプラン一覧表

	すいすいNo.	交 差 点 名 (路 線)	箇 所
①	【No. 21】	松原 (一114)	狛江市和泉本町一丁目～中和泉二丁目
②	【No. 38】	武蔵野中央 (主7)	武蔵野市中町三丁目～緑町一丁目
③	【No. 41】	吉祥寺北町 (主7)	武蔵野市吉祥寺本町四丁目～吉祥寺北町三丁目
④	【No. 42】	関前三丁目 (主7)	武蔵野市関前三丁目～八幡町三丁目
⑤	【No. 44】	府中刑務所角 (主17)	府中市栄町三丁目～晴見町四丁目
⑥	【No. 45】	府中栄町三丁目 (主17)	府中市栄町三丁目
⑦	【No. 46】	市民球場前 (主17)	府中市壽町二丁目～三丁目
⑧	【No. 55】	四軒寺 (一113)	武蔵野市吉祥寺本町一丁目～吉祥寺北町一丁目
⑨	【No. 56】	下連雀八丁目 (一114)	三鷹市下連雀五丁目～八丁目
⑩	【No. 57】	下布田 (一121)	調布市八雲台一丁目～布田二丁目
⑪	【No. 58】	深大寺五差路 (一121)	調布市深大寺東町五丁目～深大寺元町五丁目
⑫	【No. 72】	保谷小前 (一233)	西東京市泉町三丁目～保谷町六丁目

(9) 令和2年度道路用地取得予定箇所調書

事業名	路線名	箇所	規模	
			用地(m ²)	補償(棟)
道路整備	主 11 (中和泉)	狛江市中和泉五丁目～調布市国領町八丁目	240	1
	都 233 (保谷)	西東京市中町一丁目～泉町三丁目	57	0
	計		297	1
街路整備	三鷹 3・2・6 武蔵野 3・3・6	三鷹市野崎二丁目～武蔵野市関前一丁目	35	0
	三鷹 3・4・7	三鷹市下連雀五丁目～四丁目	467	1
	小金井 3・4・11	小金井市中町二丁目～梶野町五丁目	33	3
	府中 3・2・2の2 国立 3・3・2	府中市西原町一丁目～国立市谷保	504	6
	府中 3・4・5 国立 3・4・5 府中 3・2・2の2	府中市西原町三丁目～国立市富士見町一丁目	1,818	7
	西東京 3・2・6 (I期)	西東京市富士見町一丁目～北町三丁目	0	0
	西東京 3・4・9 (I期)	西東京市北原町三丁目～西原町四丁目	39	1
	西東京 3・4・9 (II期)	西東京市中町六丁目～北原町二丁目	447	8
	西東京 3・4・12 (I期)	西東京市東町三丁目	1,578	0
	西東京 3・3・14 (II期)	西東京市北町六丁目～二丁目	972	2
	西東京 3・4・13	西東京市ひばりが丘二丁目	200	0
	武蔵野 3・4・24 (I期)	武蔵野市境南町四丁目～境二丁目	8	1
	武蔵野 3・4・24 (II期)	武蔵野市境南町五丁目～三丁目	258	4
	調布 3・4・11 (佐須)	調布市佐須町一丁目～富士見町三丁目	295	3
	調布 3・4・17 (緑ヶ丘) 三鷹 3・4・11	調布市仙川三丁目～三鷹市北野四丁目	3,919	5
	調布 3・4・18 (I期)	調布市八雲台二丁目～柴崎一丁目	1,556	2
	調布 3・4・18 (II期)	調布市柴崎一丁目～深大寺南町三丁目	624	0
計		12,753	43	

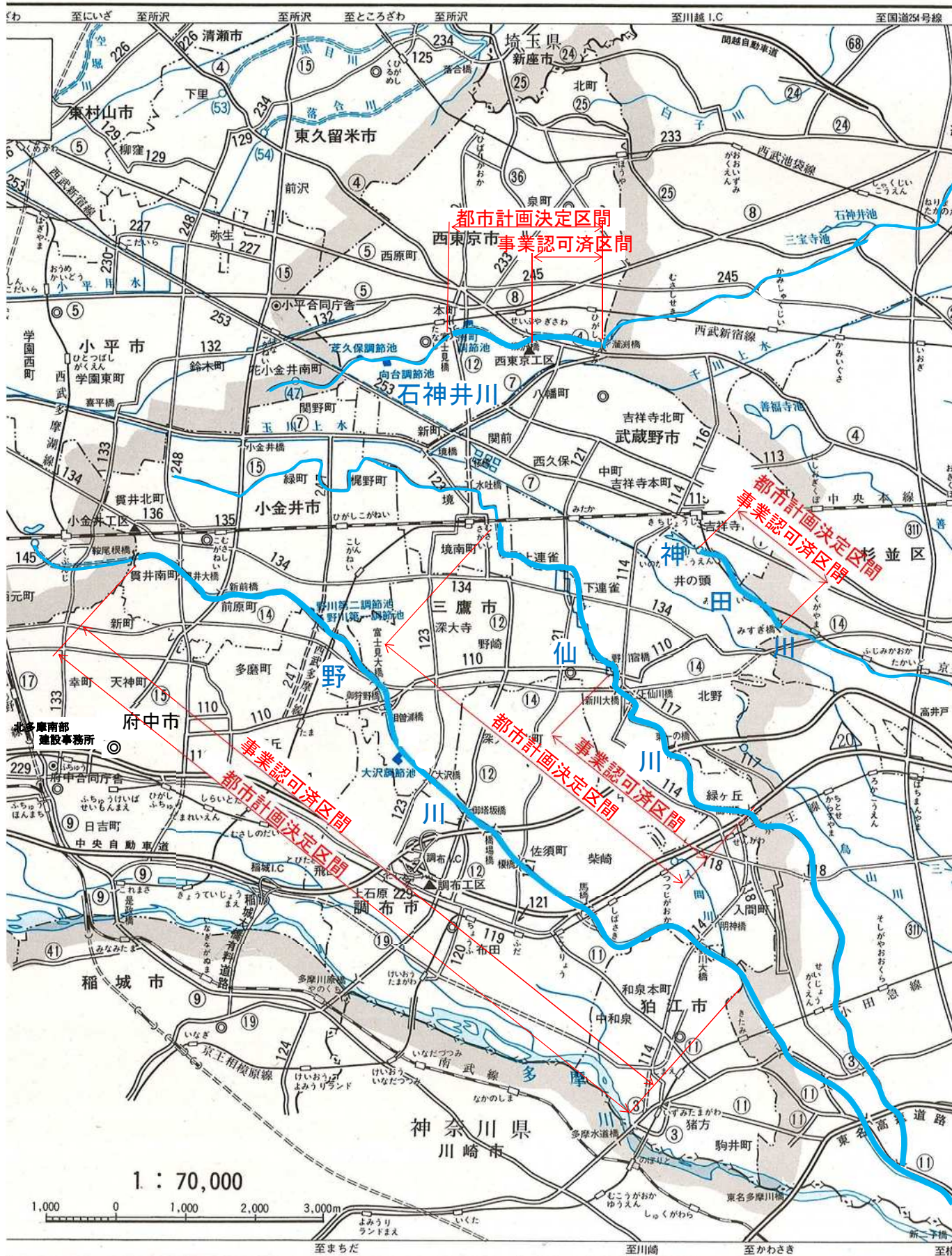
事業名	路線名	箇所	規模	
			用地(m ²)	補償(棟)
交通 安 全 施 設	都 110 人見街道	三鷹市野崎三丁目～二丁目	45	0
	都 114 吉祥寺通り	三鷹市下連雀五丁目～八丁目	192	0
	都 112 ひばりヶ丘停車場線	西東京市谷戸町二丁目～三丁目	48	0
	都 229 旧甲州街道	府中市若松町一丁目	257	0
	都 123 天文台北	三鷹市深大寺二丁目	19	0
	主 15 前原交番前	小金井氏前原町五丁目	556	2
	主 36 栄町二丁目	西東京市ひばりが丘北一丁目～栄町二丁目	16	0
	都 114 松原	狛江市和泉本町一丁目～中和泉二丁目	101	3
	主 7 武蔵野中央	武蔵野市中町三丁目～緑町一丁目	64	2
	主 7 関前三丁目	武蔵野市関前三丁目～八幡町三丁目	25	1
	主 17 府中刑務所角	府中市栄町三丁目～晴見町四丁目	537	0
	主 17 府中栄町三丁目	府中市栄町三丁目	614	0
	都 113 四軒寺	武蔵野市吉祥寺東町一丁目～吉祥寺北町一丁目	91	3
	都 114 下連雀八丁目	三鷹市下連雀五丁目～八丁目	25	1
	都 121 深大寺五差路	調布市深大寺東町五丁目～深大寺元町五丁目	146	2
	主 36 保谷小前	西東京市泉町三丁目～保谷町六丁目	317	1
	計		3,053	15
河川 整備	石神井川（坂下橋～柳沢橋）	西東京市東伏見一丁目～柳沢一丁目	724	7
		計	724	7
公園 整備	東伏見公園	西東京市東伏見一丁目～柳沢一丁目	1,890	8
		計	1,890	8
合 計			18,717	74

(10) 令和元年度道路用地取得箇所調書

事業名	路線名	箇所	規模	
			用地(㎡)	補償(棟)
道路整備	主 11 中和泉	狛江市中和泉五丁目～調布市国領町八丁目	54	0
	一 233 保谷	西東京市中町一丁目～泉町三丁目	0	0
	計		54	0
街路整備	三鷹 3・2・6 武蔵野 3・3・6	三鷹市野崎二丁目～武蔵野市関前一丁目	634	0
	三鷹 3・4・7	三鷹市下連雀五丁目～四丁目	270	0
	小金井 3・4・11	小金井市中町二丁目～梶野町五丁目	591	2
	府中 3・2・2の2 国立 3・3・2	府中市西原町一丁目～国立市谷保	144	3
	府中 3・4・5 国立 3・4・5 府中 3・2・2の2	府中市西原町三丁目～国立市富士見町一丁目	244	2
	西東京 3・2・6 (Ⅰ期)	西東京市富士見町一丁目～北町三丁目	8	0
	西東京 3・4・9 (Ⅰ期)	西東京市北原町三丁目～西原町四丁目	70	0
	西東京 3・4・9 (Ⅱ期)	西東京市中町九丁目～北原町二丁目	447	8
	西東京 3・4・12	西東京市東町三丁目	0	0
	西東京 3・3・14 (Ⅱ期)	西東京市北町六丁目～二丁目	147	0
	武蔵野 3・4・24 (Ⅰ期)	武蔵野市境南町四丁目～境二丁目	0	0
	武蔵野 3・4・24 (Ⅱ期)	武蔵野市境南町五丁目～三丁目	89	1
	調布 3・4・11 (佐須)	調布市佐須町一丁目～富士見町三丁目	48	0
	調布 3・4・17 (若葉町)	調布市若葉町二丁目～三丁目	106	1
	調布 3・4・17 (緑ヶ丘) 調布 3・3・11 (北野四丁目)	調布市仙川三丁目～三鷹市北野四丁目	1,860	7
	調布 3・4・18 (Ⅰ期)	調布市八雲台二丁目～柴崎一丁目	507	3
	調布 3・4・18 (Ⅱ期)	調布市柴崎一丁目～深大寺南町三丁目	156	0
	計		5,321	27

事業名	路線名	箇所	規模	
			用地(m ²)	補償(棟)
交通 安 全 施 設	主 7 武蔵野中央	武蔵野市中町三丁目～緑町一丁目	41	1
	一 113 四軒寺	武蔵野市吉祥寺東町一丁目～吉祥寺北町一丁目	0	0
	都 121 下布田	調布市八雲台一丁目～布田二丁目	245	0
	一 114 下連雀5	三鷹市下連雀五丁目～八丁目	0	0
	主 7 吉祥寺北町	武蔵野市吉祥寺本町四丁目～吉祥寺北町三丁目	95	1
	計		381	2
河川 整備	石神井川（坂下橋～柳沢橋）	西東京市東伏見一丁目～柳沢一丁目	152	2
	計		152	2
公園 整備	東伏見公園	西東京市東伏見一丁目～柳沢一丁目	722	5
	計		722	5
合 計			6,630	36

(11) 都市計画河川事業箇所図

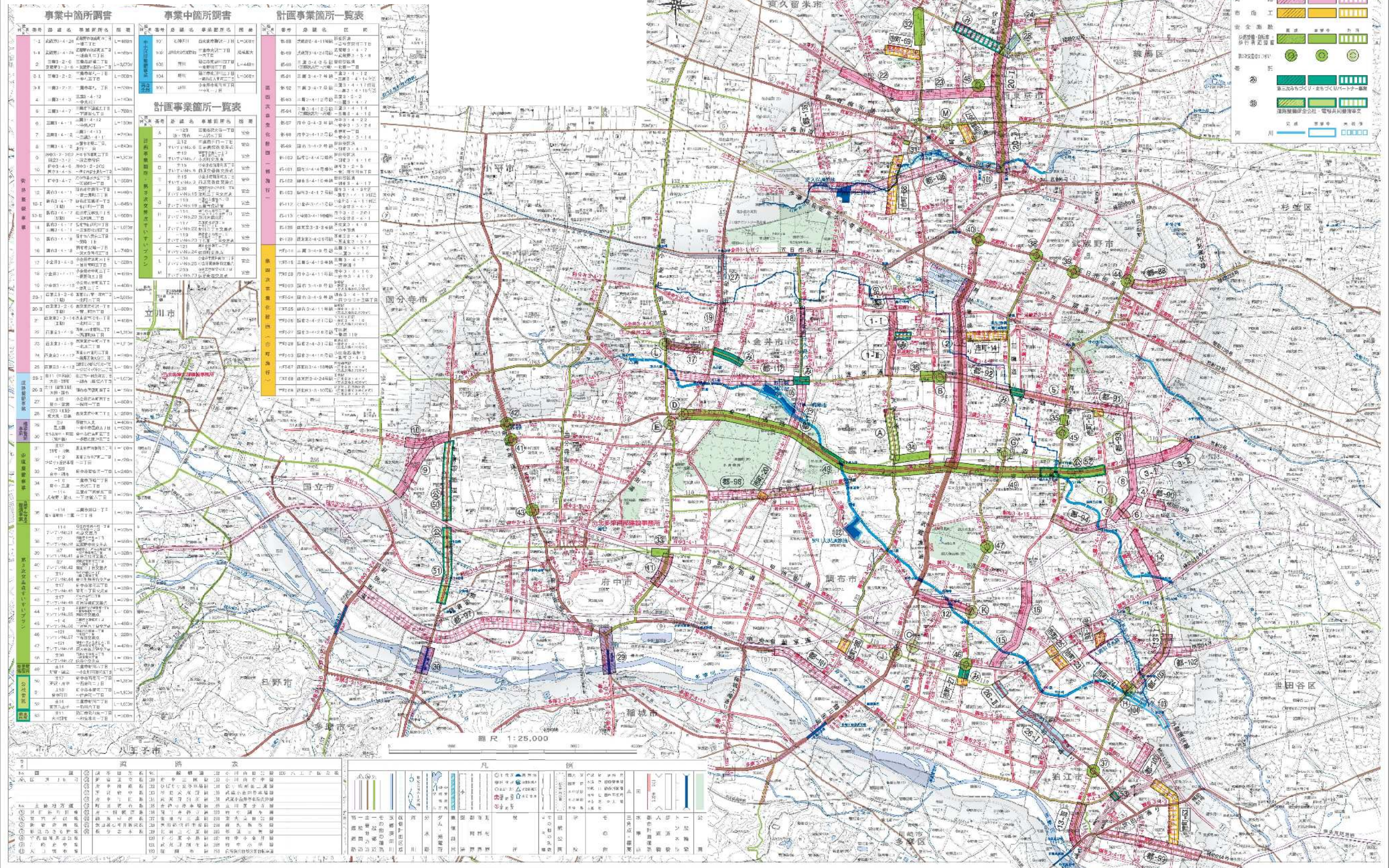


(12) 都市計画河川事業経緯一覧表

区 分	計 画 決 定				延長(m)	
	年月日	告示番号	計 画 決 定 区 域			
野 川	小金井都市計画	36. 3. 29	建告第754号	小金井市貫井南町四丁目(国分寺市境) ～小金井市東町一丁目(三鷹市境)	4,036	
		44. 3. 24	建告第667号	調布市大字下石原飛地1,500番地 ～小金井市貫井南町四丁目(国分寺市境)	4,030	
	三鷹都市計画	36. 3. 29	建告第755号	三鷹市上石原(小金井市境界) ～三鷹市下留(調布市境界)	2,607	
		42. 6. 28	建告第1858号	三鷹市大沢三丁目(小金井市境界) ～三鷹市大沢四丁目(調布市境界)	2,607	
		44. 3. 24	建告第669号	三鷹市大沢四丁目(調布市境界) ～調布市大字下石原飛地	2,600	
	調布都市計画	36. 3. 29	建告第456号	調布市宿(三鷹市境界) ～北多摩郡狛江市覚東(世田谷区境界)	5,143	
		41. 1. 24	建告第77号	調布市深大寺町(三鷹市境界) ～北多摩郡狛江市覚東(世田谷区境界)	5,083	
	仙 川	武蔵野都市計画	35. 4. 7	建告第865号	武蔵野市境(国鉄中央交差点) ～武蔵野市境(三鷹市境界)	500
		三鷹都市計画	35. 4. 7	建告第864号	三鷹市上連雀北(武蔵野市境界) ～三鷹市新川島屋敷(調布市境界)	4,624
			42. 6. 28	建告第1859号	三鷹市上連雀北(武蔵野市境界) ～三鷹市新川島屋敷(調布市境界)	4,620
調布都市計画		35. 4. 7	建告第866号	調布市仙川町(三鷹市境界) ～調布市仙川町(世田谷区境界)	1,670	
		42. 6. 28	建告第1860号	調布市緑ヶ丘一丁目(三鷹市境) ～調布市緑ヶ丘二丁目(世田谷区境)	1,730	
石神井川	田無都市計画	42. 4. 21	建告第1471号	西東京市南町三丁目(富士見橋下流) ～西東京市南町一丁目(旧保谷市境界)	794	
	保谷都市計画	44. 3. 4	建告第451号	西東京市東伏見三丁目(練馬区境界) ～西東京市柳沢五丁目(旧田無市境界)	1,630	
	西東京都市計画	16. 4. 22	建告第724号	西東京市東伏見三丁目(練馬区境界) ～西東京市南町三丁目(富士見橋下流)	2,420	
神 田 川	三鷹都市計画	35. 4. 7	建告第864号	三鷹市牟礼(井の頭公園入口) ～三鷹市神田川通南(杉並区境)	1,840	
		43. 9. 3	建告第2501号	三鷹市井の頭一丁目1番地先(杉並区境) ～三鷹市井の頭三千代梅12番地(井の頭池水門下)	1,630	

(12) 区 対象番号	事業				事業認可区間
	年月日	告示番号	事業施行期間	延長(m)	
①	44. 3. 24	建告第667号	43 ~ 47	2,590	調布市大字下石原飛地1,500番地 ~小金井市前原町三丁目2番地 (前橋上流端)
	48. 3. 24	建告第614号	43 ~ 50	2,590	〃
	51. 3. 27	建告第510号	43 ~ 52	2,590	〃
	53. 3. 18	建告第378号	43 ~ 53	2,590	〃
	2. 5. 10	建告第1063号	2 ~ 7	510	小金井市前原町三丁目、前原町五丁目及び貫井南町二丁目 各地内 (新小金井街道上流)
	6. 2. 22	建告第323号	5 ~ 9	550	小金井市貫井南町四丁目 (坂下橋) ~小金井市貫井南町四丁目 (鞍尾根橋)
	10. 3. 24	建告第843号	5 ~ 12	550	〃
	13. 3. 15	関東地方整備局 告示第48号	5 ~ 15	550	〃
②	42. 6. 28	建告第1858号	42 ~ 43	1,980	三鷹市大沢二丁目 (曾根浦橋上流端) ~調布市境
	44. 3. 24	建告第669号	43 ~ 44	620	三鷹市大沢二丁目 (曾根浦橋上流端) 調布市大字下石原飛地
	45. 3. 23	建告第429号	43 ~ 45	620	〃
	45. 3. 23	建告第431号	45 ~ 46	230	三鷹市大沢五丁目 ~三鷹市大沢五丁目
③	37. 12. 22	建告第3184号	37 ~ 41	5,163	調布市宿 (三鷹市境界) ~北多摩郡狛江町覚東 (世田谷区境界)
	41. 1. 24	建告第77号	37 ~ 42	5,082	調布市深大寺町 (三鷹市境界) ~北多摩郡狛江町覚東 (世田谷区境界)
	43. 3. 30	建告第696号	37 ~ 43	5,082	〃
④					
⑤	42. 6. 28	建告第1859号	42 ~ 44	1,710	三鷹市新川町(主14号) ~三鷹市新川町 (調布市境)
	45. 3. 23	建告第428号	42 ~ 47	1,710	〃
⑥					
	42. 6. 28	建告第1860号	42 ~ 43	1,730	調布市緑ヶ丘一丁目 (三鷹市境) ~調布市緑ヶ丘二丁目 (世田谷区境)
⑦	44. 3. 4	建告第451号	43 ~ 45	210	保谷市柳沢二丁目110 (上柳沢橋下流) ~保谷市柳沢一丁目345 (無名橋上流)
	9. 2. 20	建告第227号	8 ~ 12	590	西東京市東伏見三丁目 (溜漕橋上流) ~西東京市東伏見六丁目 (弥生橋上流)
	13. 3. 15	関東地方整備局 告示第43号	8 ~ 15	590	〃
	15. 1. 14	関東地方整備局 告示第8号	14 ~ 16	100	西東京市東伏見一丁目 (東伏見橋下流) ~西東京市東伏見六丁目 (坂下橋下流)
	17. 3. 28	関東地方整備局 告示第156号	14 ~ 19	100	〃
	19. 9. 26	関東地方整備局 告示第308号	19 ~ 22	150	西東京市東伏見六丁目、 東伏見二丁目及び東伏見一丁目地内
	25. 3. 15	関東地方整備局 告示第84号	25 ~ R5	300	西東京市東伏見一丁目、 東伏見六丁目及び柳沢一丁目地内
⑧	43. 9. 3	建告第2501号	43 ~ 48	1,630	三鷹市井の頭一丁目1番地先 (杉並区境) ~三鷹市井の頭三丁目123番地先 (井の頭池水門下)
	49. 3. 20	建告第369号	43 ~ 51	1,630	〃
	52. 3. 24	建告第372号	43 ~ 56	1,630	〃

(13) 令和2年度事業箇所図



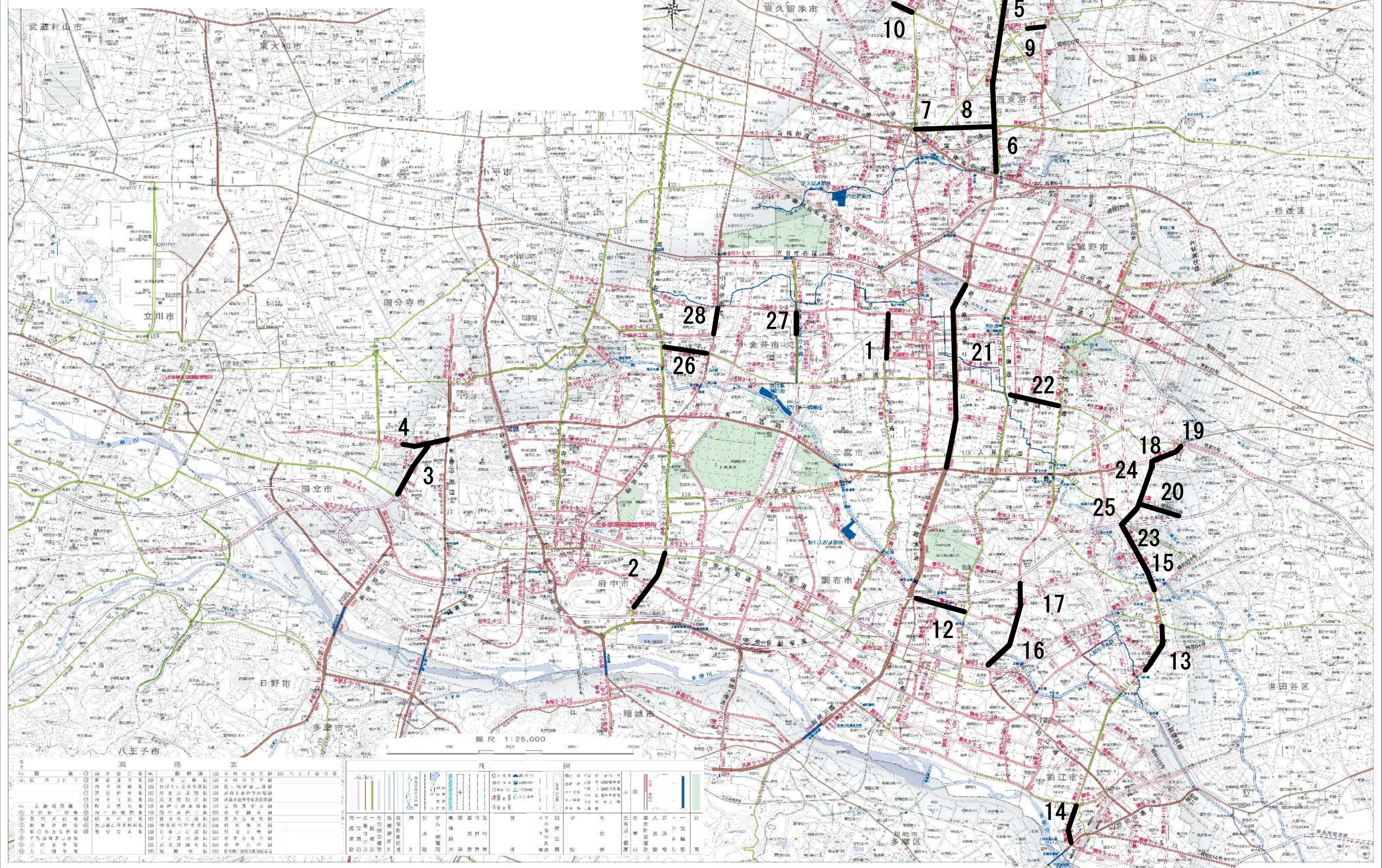
事業箇所調査表

事業箇所番号	事業箇所名称	事業箇所所在地	事業箇所種別	事業箇所規模
1	立川市立川一丁目	立川市立川一丁目	道路	L=1000
2	立川市立川二丁目	立川市立川二丁目	道路	L=1000
3	立川市立川三丁目	立川市立川三丁目	道路	L=1000
4	立川市立川四丁目	立川市立川四丁目	道路	L=1000
5	立川市立川五丁目	立川市立川五丁目	道路	L=1000
6	立川市立川六丁目	立川市立川六丁目	道路	L=1000
7	立川市立川七丁目	立川市立川七丁目	道路	L=1000
8	立川市立川八丁目	立川市立川八丁目	道路	L=1000
9	立川市立川九丁目	立川市立川九丁目	道路	L=1000
10	立川市立川十丁目	立川市立川十丁目	道路	L=1000
11	立川市立川十一丁目	立川市立川十一丁目	道路	L=1000
12	立川市立川十二丁目	立川市立川十二丁目	道路	L=1000
13	立川市立川十三丁目	立川市立川十三丁目	道路	L=1000
14	立川市立川十四丁目	立川市立川十四丁目	道路	L=1000
15	立川市立川十五丁目	立川市立川十五丁目	道路	L=1000
16	立川市立川十六丁目	立川市立川十六丁目	道路	L=1000
17	立川市立川十七丁目	立川市立川十七丁目	道路	L=1000
18	立川市立川十八丁目	立川市立川十八丁目	道路	L=1000
19	立川市立川十九丁目	立川市立川十九丁目	道路	L=1000
20	立川市立川二十丁目	立川市立川二十丁目	道路	L=1000
21	立川市立川二十一丁目	立川市立川二十一丁目	道路	L=1000
22	立川市立川二十二丁目	立川市立川二十二丁目	道路	L=1000
23	立川市立川二十三丁目	立川市立川二十三丁目	道路	L=1000
24	立川市立川二十四丁目	立川市立川二十四丁目	道路	L=1000
25	立川市立川二十五丁目	立川市立川二十五丁目	道路	L=1000
26	立川市立川二十六丁目	立川市立川二十六丁目	道路	L=1000
27	立川市立川二十七丁目	立川市立川二十七丁目	道路	L=1000
28	立川市立川二十八丁目	立川市立川二十八丁目	道路	L=1000
29	立川市立川二十九丁目	立川市立川二十九丁目	道路	L=1000
30	立川市立川三十丁目	立川市立川三十丁目	道路	L=1000
31	立川市立川三十一丁目	立川市立川三十一丁目	道路	L=1000
32	立川市立川三十二丁目	立川市立川三十二丁目	道路	L=1000
33	立川市立川三十三丁目	立川市立川三十三丁目	道路	L=1000
34	立川市立川三十四丁目	立川市立川三十四丁目	道路	L=1000
35	立川市立川三十五丁目	立川市立川三十五丁目	道路	L=1000
36	立川市立川三十六丁目	立川市立川三十六丁目	道路	L=1000
37	立川市立川三十七丁目	立川市立川三十七丁目	道路	L=1000
38	立川市立川三十八丁目	立川市立川三十八丁目	道路	L=1000
39	立川市立川三十九丁目	立川市立川三十九丁目	道路	L=1000
40	立川市立川四十丁目	立川市立川四十丁目	道路	L=1000
41	立川市立川四十一丁目	立川市立川四十一丁目	道路	L=1000
42	立川市立川四十二丁目	立川市立川四十二丁目	道路	L=1000
43	立川市立川四十三丁目	立川市立川四十三丁目	道路	L=1000
44	立川市立川四十四丁目	立川市立川四十四丁目	道路	L=1000
45	立川市立川四十五丁目	立川市立川四十五丁目	道路	L=1000
46	立川市立川四十六丁目	立川市立川四十六丁目	道路	L=1000
47	立川市立川四十七丁目	立川市立川四十七丁目	道路	L=1000
48	立川市立川四十八丁目	立川市立川四十八丁目	道路	L=1000
49	立川市立川四十九丁目	立川市立川四十九丁目	道路	L=1000
50	立川市立川五十丁目	立川市立川五十丁目	道路	L=1000

凡例

凡例	説明
道路	道路
橋	橋
市街地	市街地
安全施設	安全施設
その他	その他

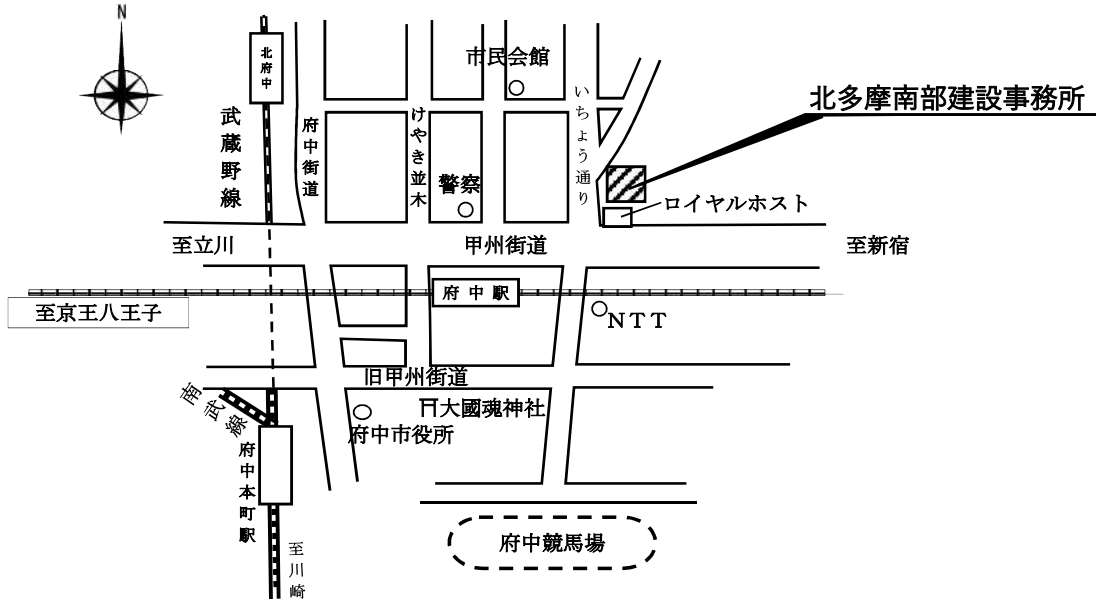
(14) 都市計画道路事業認可箇所図



(15) 事務所・工区案内図

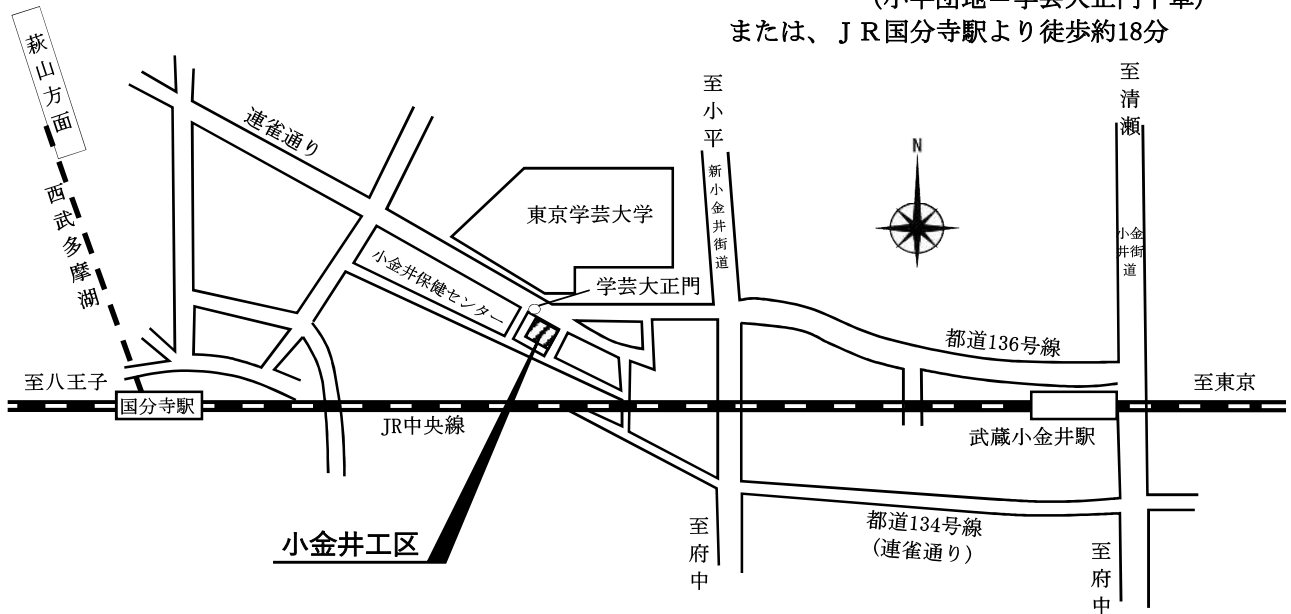
北多摩南部建設事務所

所在地 〒183-0003 府中市緑町1-27-1
 電話 042-330-1802 FAX 042-369-3890(庶務課)
 042-365-2501(補修課)
 交通機関 京王線府中駅より徒歩約7分



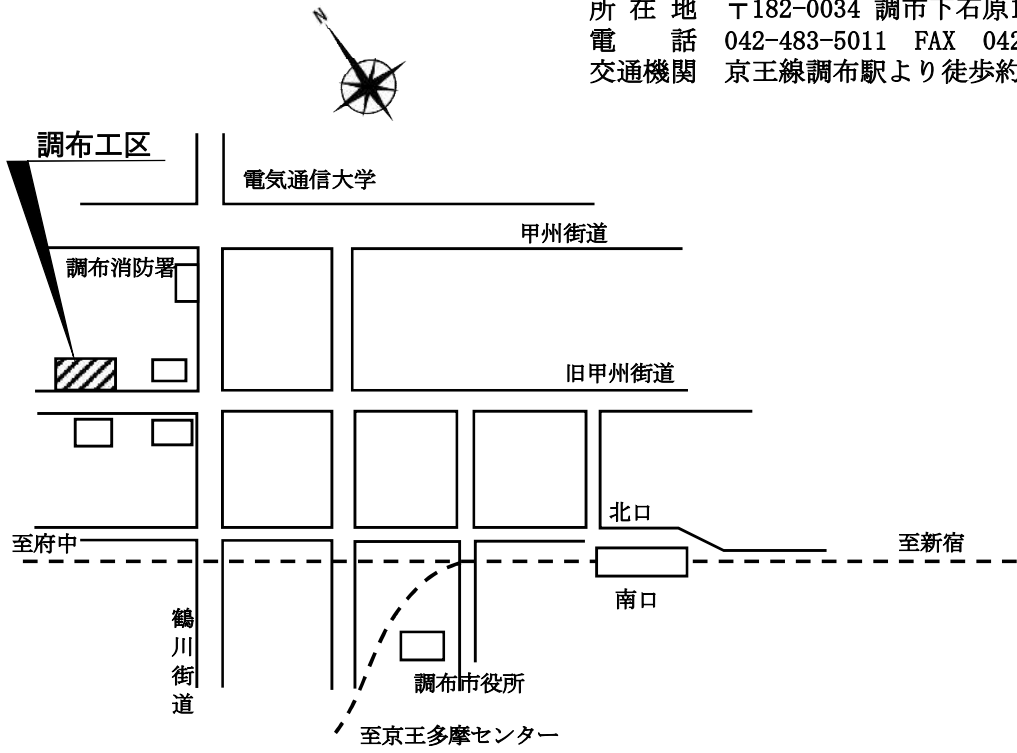
北多摩南部建設事務所 小金井工区

所在地 〒184-0015 小金井市貫井北町5-18-18
 電話 042-326-8862 FAX 042-326-8864
 交通機関 JR中央線小金井駅よりバス
 (小平団地＝学芸大正門下車)
 または、JR国分寺駅より徒歩約18分



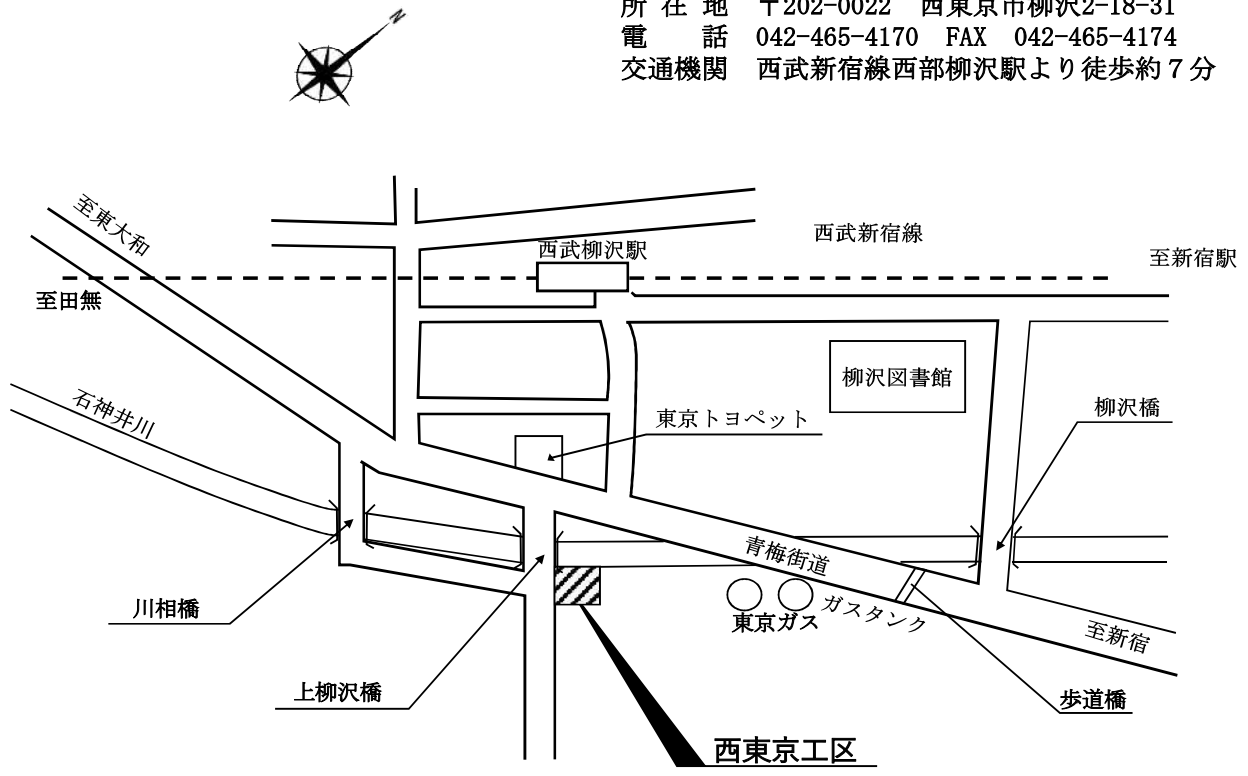
北多摩南部建設事務所 調布工区

所在地 〒182-0034 調布市下石原1-19-4
 電話 042-483-5011 FAX 042-483-5016
 交通機関 京王線調布駅より徒歩約10分



北多摩南部建設事務所 西東京工区

所在地 〒202-0022 西東京市柳沢2-18-31
 電話 042-465-4170 FAX 042-465-4174
 交通機関 西武新宿線西部柳沢駅より徒歩約7分



東京都北多摩南部建設事務所 事業概要
令和2年版

登録番号 (02)2

令和2年10月発行

編集・発行 東京都北多摩南部建設事務所
東京都府中市緑町一丁目27番1
電話 042-330-1802

印刷所



古紙パルプ配合100%
白色度10%再生紙を使用しています
(ただし色上質を除く)



ミライトワ
MIRAITOWA

ソメイティ
SOMEITY

© Tokyo 2020



東京都

東京都建設局は、東京2020大会の成功に向け取り組んでいます。